千曲川にて，アユ釣りをする矢口先生。

ツンという軽い振幅が竿先をはじいたとたん、グンと重量が加わった。不審に思ったボクは、とにかく竿を立ててオトリを引きよせようとした。と、その瞬間、ボクのオトリが一尾の白い魚体をひきつれて水面に舞った。とたんにボクの心臓は、轟音を発してバクハツした。「やった！」

（「あとがき」より）

（カバーデザイン
日本ヘリエールアートセンター）

釣りキチ三平

第1集 アユ釣り編

矢口高雄

KCSP
157

釣りキチ三平
第1集
アユ釣り編
矢口高雄
講談社
P640
**

雑誌 45423-57
ISBN4-06-101157-X
C0379 P640E (2)
講談社 定価640円
(本体621円)

KCスペシャル
釣りキチ三平
1 アユ釣り編
2 フナ釣り編
3 イワナ釣り編
4 コイ釣り編
5 おもしろ釣り編
6 ヤマメ釣り編
7 謎の魚釣り編Ⅰ
8 謎の魚釣り編Ⅱ
9 イシダイ釣り編
10 コイ釣り編Ⅱ
11 ニジマス釣り編
12 ライギョ釣り編
13 イトウ釣り編Ⅰ
14 イトウ釣り編Ⅱ
15 イトウ釣り編Ⅲ
16 おもしろ釣り編Ⅱ
17 ムツゴロウ釣り編Ⅰ
18 ムツゴロウ釣り編Ⅱ
19 秘伝アユ漁編Ⅰ
20 秘伝アユ漁編Ⅱ
21 渓流釣り編
22 アカメ釣り編
23・24 フライフィッシング編Ⅰ・Ⅱ
25 怪魚釣り編
26・27・28 サーモン・ダービー編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
29・30 マス釣り編Ⅰ・Ⅱ
31・32・33 ブルーマーリン編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
34・35 キャスティング編Ⅰ・Ⅱ
36 ヘラブナ釣り編
37 アユ釣り編Ⅱ
大好評発売中!

釣りキチ三平

第1集　アユ釣り編

矢口高雄

釣りキチ三平〈第1集〉アユ釣り編

もくじ

水のプリンセスの巻…… 6
ゴロ引きゴンベの巻…… 206
鮎の夏 PART 1 土用がくれの巻…… 257
PART 2 驟雨のオトリアユの巻…… 286
少年の夏…… 309
あとがき…… 350

釣りキチ三平

第1集 アユ釣り編

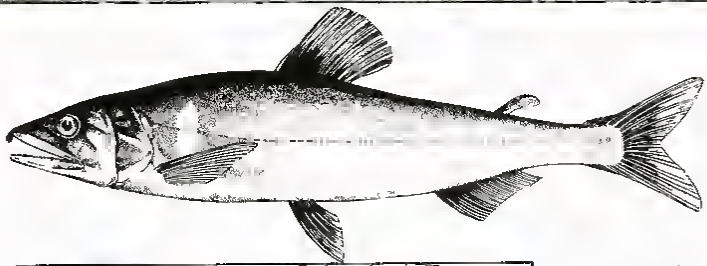
矢口高雄

夢中で泳いだ
あの川

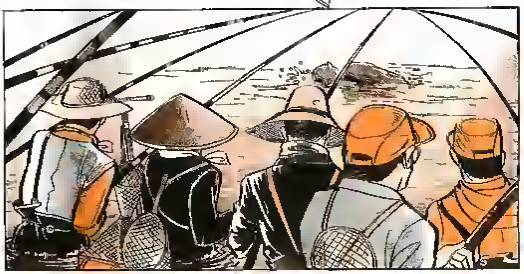
釣りキチ三平

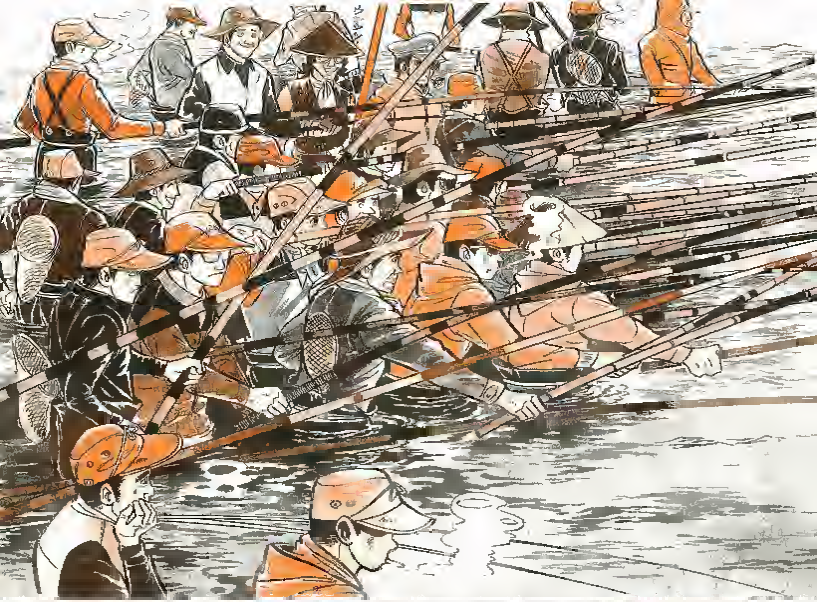
水のプリンセスの巻

夏がきた!!
若鮎のおどる夏がきた!!
鮎解禁の夏がきた!!
ドノとくりだした
鮎キチたちの
するどい目・目・目
林立する竿・竿・竿



鮎…・夏のシンボルであるこの魚
ほど　もかしから
あおくの「釣りキチ」の心を
とりこにしてきた魚はいない・…
そのっつくしい姿を　「釣りキチ」
たちは「水のプリンセス」とよぶ

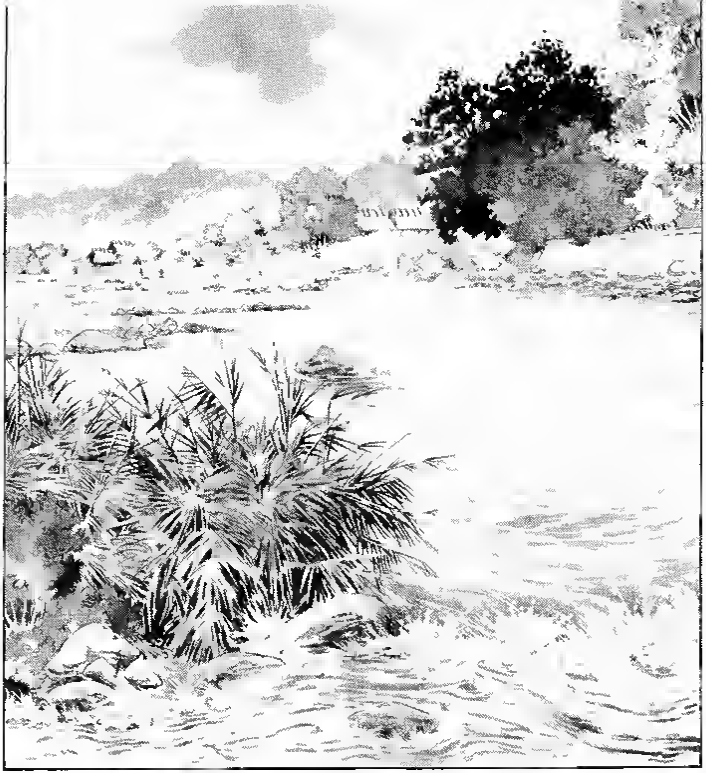




告
本日 恒例により
鮎まつり全県鮎釣り大会
の開催につき 大会参
加者以外の釣り人は
左記の区域内での釣りを
ご遠慮願います
記
M橋より上流千m
時間午前八時三十分
漁業組合

大会本部

鮎の川として
知られるY川は
恒例の鮎まつりで
にぎわっていた



全県鮎釣大会本
ことしはとくに盛会ですなあウホン
そうですなあ・・・
会費だス
みなさんそろそろしめきりですよ
東商府
受付

去年より会費があがったな
諸物価もあがってることだしやむをえねえて
フェーッこしも会費あたい釣れるかな
優勝すれば冷蔵庫がもらえるぞ

ばかに参加者がおおいみたいだが何人ですか
現在のところ三百名をこしています
カクッ
トホッこれじゃあこしも賞品にありつけないや・・・

つめたいお飲みものはいかがですか
こりゃあどうもどうも
賞品

みなさん
なかなか
はりきって
いますなあ
…
ぼくのように
年がら年じゅう
国会ぐらしを
していると
一年一回の
魚まつりに
まねかれるのが
たのしみですわ
国会議員も
つらいもの
ですね
ハハハ

みなさん
集合して
ください
開会式を
おこない
まーす

ことしは
だれが
優勝します
かねぇ…
県知事杯
県西連杯
天口杯

おっ
はじまる
ぞっ

ガヤガヤ
ワイワイ
オラ
みなさんたいへんお待たせいたしました

遠路のところ当漁業組合恒例の鮎まつりにご参加くださいましてありがとうございました
また本日はおいそがしい中を国会議員のヤグチ先生はじめトミタ町長ハヤセ漁業組合長においでいただきまして まことにありがとうございます

それではただいまよりヤグチ杯 県知事杯 町長杯 県水面漁連杯 争奪 全県鮎釣り大会を開催いたします

前年度優勝者 ——!!
優勝カップ返還!!

去年の優勝者ってだれだスか……？
おめえことしはじめての参加か……まあ見てろいま出てくるさ
ハイごめんなさいとおしてください
みなさん優勝者に道をあけてください
ハイハイすまんです……

釣り大会
でるのにネクタイしてるバカ
あれが去年優勝した人ですか
んだ

なーんだよぼよぼの老人じゃねえか
なにいうだ年よりだとてバカにするな鮎を釣らせたらあの人にかなうものはこの川にはいめえ
ここんところ十回のうち六回優勝してる
ボソ
こしもまずあの人の優勝はかたいな

前年度優勝者をたたえる拍手がつづく……しかし
見つめる目はいちだんときびしい……
ことしこそはおれが優勝をかっさらってやるぜ!!
……と
ばかり……
県下各市町村より参加した腕じまんの釣りキチたちの目は光る!!

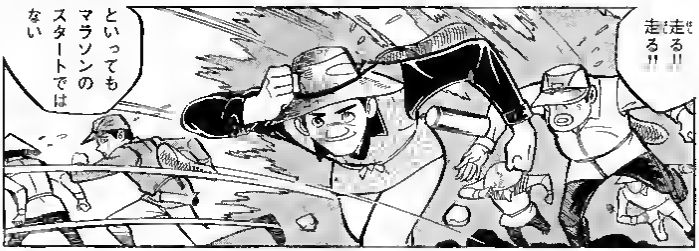
式次第はすすむ
漁業組合長あいさつ
失礼
エー本日は県内各地よりかくも多数のご参加をあおぎ
まことにありがとうございますおかげさまにてわが漁業組合は年々発展の一途をたどり……
つづいて来賓祝辞
優勝杯寄贈の地元出身代議士ヤグチ先生
ウホン
いまやわが国における釣りは健全娯楽として
選挙がちかいぞゲシン
負けじと町長が熱弁をふるう……
一瞬の漁信に夢をたくす釣りはまさに日本人の心のふるさとです
ファ～～～ッ
毎年きまってエライかたがたのナガーイあいさつ

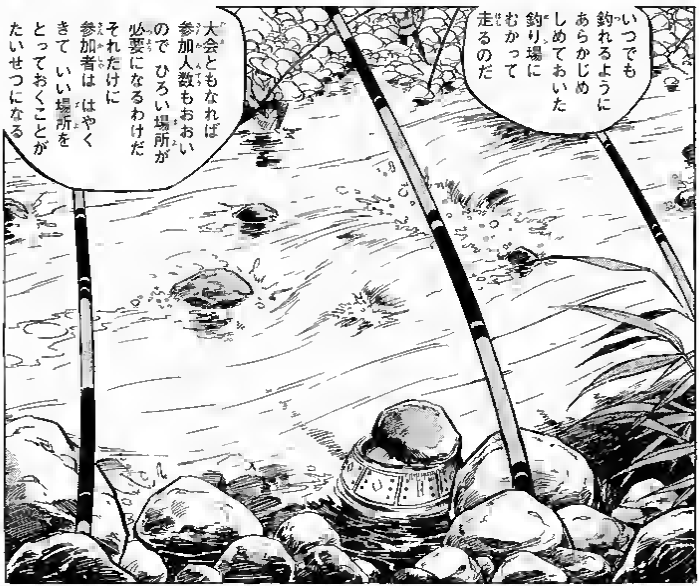
そして本部役員による大会運営説明とつづく
エー本年度の大会参加人員は最終しめきりの結果…
三百六十五名となりました
ではひきつづき大会のルール説明を審判部長のほうから…

大会ルールを説明いたします
ルールは例年とかわりはありません
大会開始八時三十分!!
終了十一時三十分!!
開始と終了時は花火をうちあげますのでその音を合い図におこなうこと
釣り場はM橋より上流T橋までの区間を制限区域とする

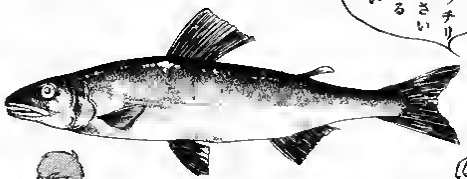
対象魚は鮎にかぎります
釣り法トモ釣り
順位は釣ったひき数により決定!!
以上ルールに違反したものはただちに失格です

では 諸君(しょくん)の
健闘(けんとう)を 祈(いの)る!!
スタート!!

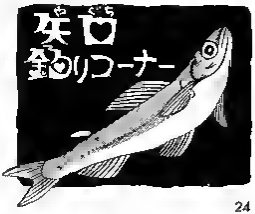

走る!!
走る!!
といっても
マラソンの
スタートでは
ない

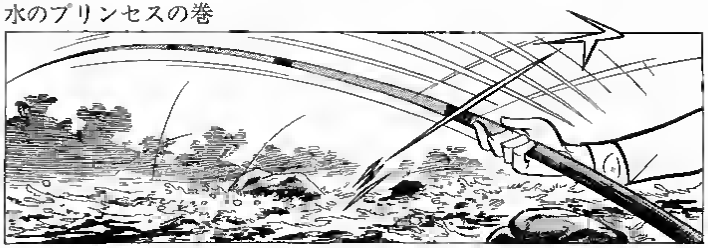

いつでも
釣れるように
あらかじめ
しめておいた
釣り場に
むかって
走るのだ
大会ともなれば
参加人数もおおい
ので ひろい場所が
必要になるわけだ
それだけに
参加者は はやく
きて いい場所を
とっておくことが
たいせつになる

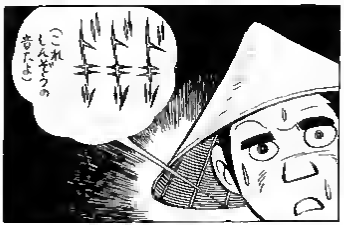
鮎のトモ釣り編

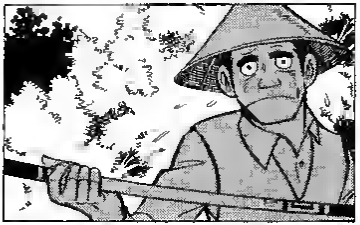


鮎という魚はとってもかわった習性をもってる魚で その習性を利用して釣るのが「トモ釣り」という方法なんだ…… 一見むずかしそうな釣りと思うだろうが習性を知ってしまえば意外とかんたんにおぼえられるぞ







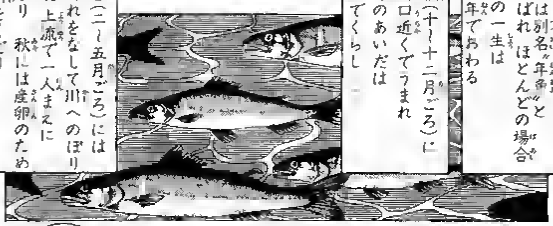


鮎の習性

鮎は別名"年魚"とよばれ ほとんどの場合その一生は一年であわる

秋(十~十二月ごろ)に河口近くでうまれ冬のあいだは海でくらし

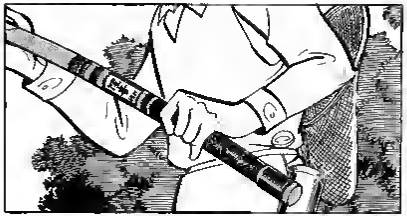
春(二~五月ごろ)には群れをなして川へのぼり夏上流で一人まえになり 秋には産卵のため川をくだり卵をうみあえてみじかい一生をとじる

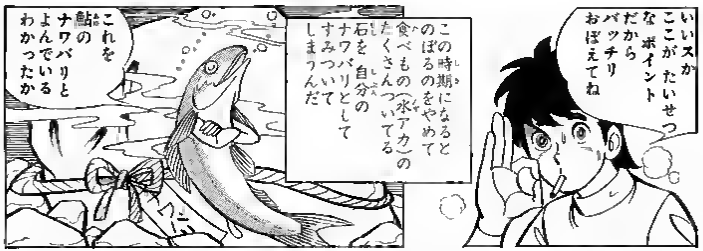


鮎がほかの魚とちがった習性をあらわすのは一人まえにたった夏(六~八月)だ

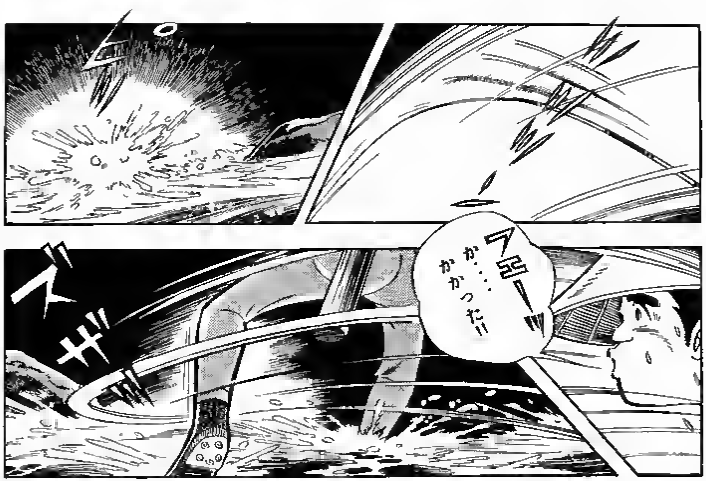
一人まえに成長した鮎は川虫や昆虫などのエサは ほとんど食べないで川底の石についた水アカ(ケイ藻やラン藻)を主食にするのだ

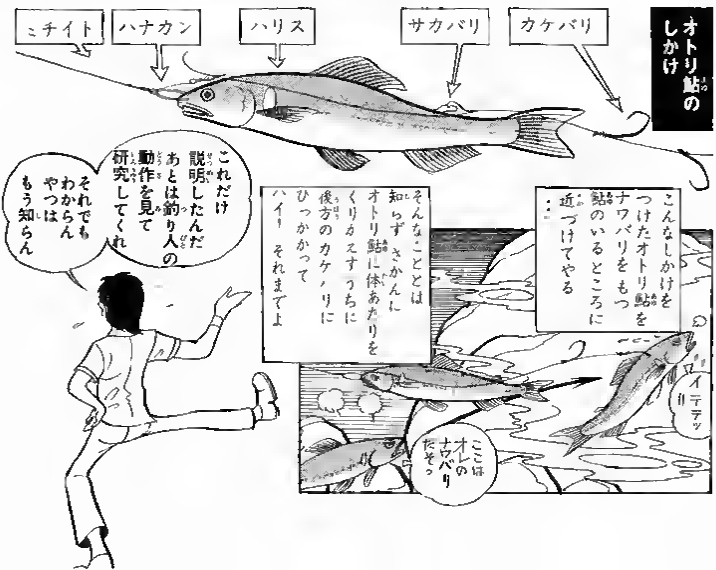
あの大石がいいポイントだ……
うまくおよいでくれよオトリ鮎くん

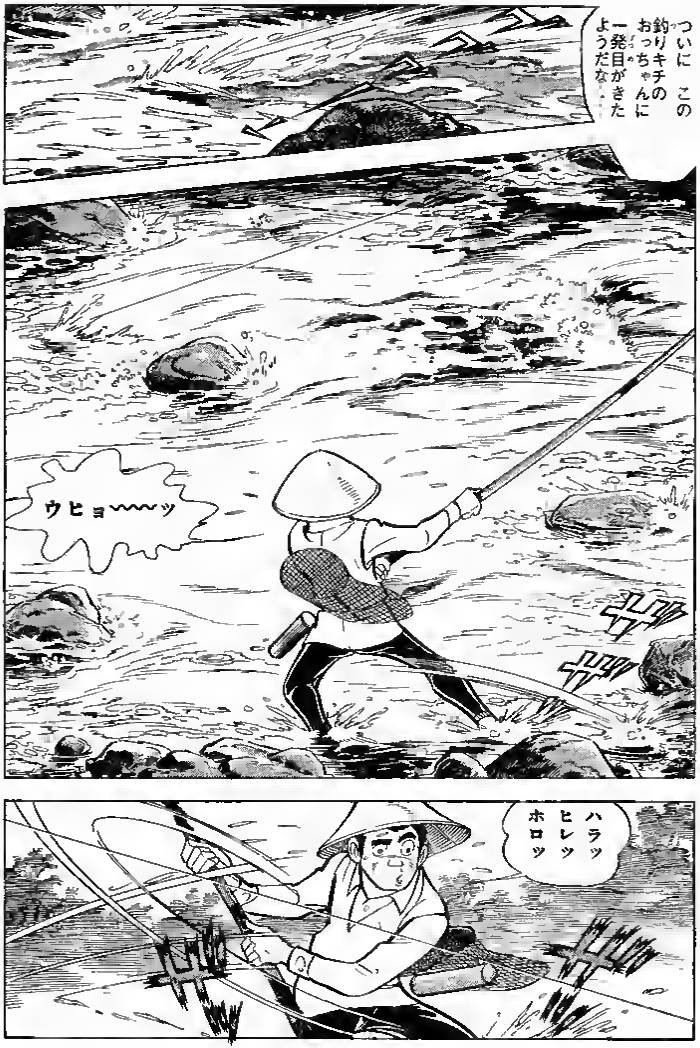

オトリ鮎が弱らないうちにはやく一ぴき釣れてくれよ
ハリのぐあいはだいじょうぶかな……


いいスかここがたいせつなポイントだからバッチリおぼえてね
この時期になるとのぼるのをやめて食べもの(水アカ)のたくさんついてる石を自分のナワバリとしてすみついてしまうんだ
これを鮎のナワバリとよんでいるわかったか

もし ほかの鮎がこのナワバリに近づこうものならもうぜんと体あたりで追いはらう習性があるんだ
オトリアー ここはわいのナワバリやでーっ!!
イテッ
あっそーいやーっ!!
この習性を利用して生きているほんものの オトリ鮎をつかって釣るのが
鮎のトモ釣りだ……

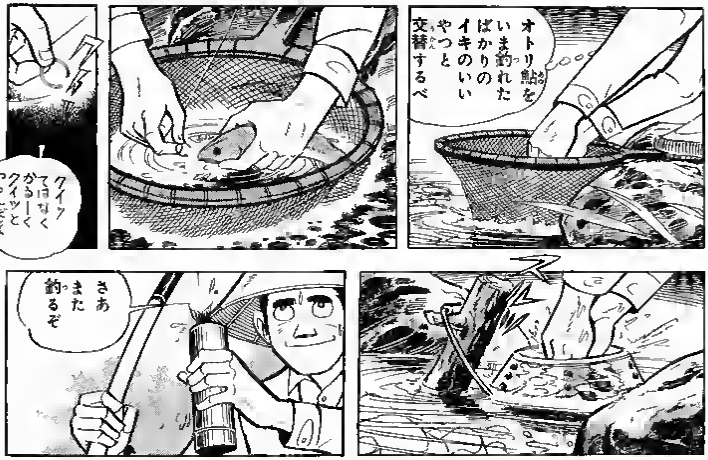

ズギ
アワセ
か…かかった!!


オトリ鮎のしかけ
ミチイト
ハナカン
ハリス
サカバリ
カケバリ
こんなしかけをつけたオトリ鮎をナワバリをもつ鮎のいるところに近づけてやる…
そんなことは知らず きかんにオトリ鮎に体あたりをくりかえすうちに後方のカケバリにひっかかってハイ! それまでよ
ここはオレのナワバリだぞっ
イテテッ
これだけ説明したんだあとは釣り人の動作を見て研究してくれ
それでもわからんやつはもう知らん


ついに この釣りキチのおっちゃんに一発目がきたようだな…
ウヒョ〰〰ッ
ハラッ
ヒレッ
ホロッ

ハァ
ヒィ!!
フヒョッ

ヒロ
ザバ
クソオやったな
フーッ
よーし!!
きょうは贔屓子エエゾ

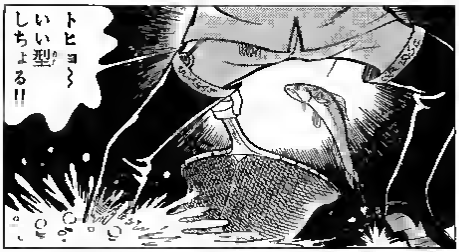

オトリ鮎をいま釣れたばかりのイキのいいやつと交替するべ
クイックてはなくかるーくクイッとやるんだぞ
さあまた釣るぞ

このおっちゃんに釣りあげるまでのひととおりの動作を見せてもらったが
みなさんわかったかな…？
マガジンに出演できるなんてオラしあわせだナア
つまり…鮎のトモ釣りはエサに食いついた魚を釣るのとちがってハリにひっかけて釣るということだ
だから使用するハリもほそくてするどくかかりやすいようにカエシのない鮎かけ専用のハリを使用するんだ
鮎カケバリ（1つのハリ）
そのう……ハリにカエシがないもんだからかかった鮎がはずれやすいんだス
そんなもんでゴボウぬきにひきあげないで水のなかをしずかにひきよせて玉網に入れるんだス
チョーシにのってこのう!!

おい 矢口!!
ン!?
なーんだ だれかと思ったら 少年マガジンの ぼくの担当の Y記者じゃないスか
なんか用?
こまるなあ… 連載開始早々から説明が長すぎるんだよ
もう二ページ半もやってんだよ
ハア でも まだ使用する道具の説明がおわってないんですが
いいかげんにしてストーリーのほうをすすめろー
ウヒョーッ
竿 自分の体力と川はばにあったものをえらぶ 5つう7.2~7.5メートル
糸 ナイロン 日よけのため あったほうがいい
オトリ入れ 釣れた魚やオトリを生かしておくため流れにそってしずめておく
移動筒 ポイントを移動するときオトリ魚を入れる
とをない魚のためかっこ網がかりこ
玉かと

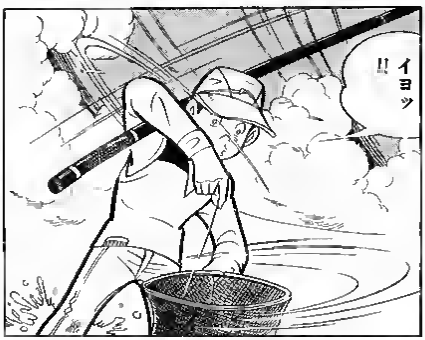
開始三十分——
あちこちで釣れはじめています
釣りキチたちの顔は真剣そのものです
なにしろヤグチ杯と冷蔵庫の賞品がかかっていますから
ウ!!
とっとっとっ!!
ヒョーッ

クソオ
あいつ
三びきめ
だな


トヒョ〜
いい型
しちょる!!

ホラ
きた!!
こっち
だって
まけて
いられ
ねえて
へへへ

監視


イヨッ
!!

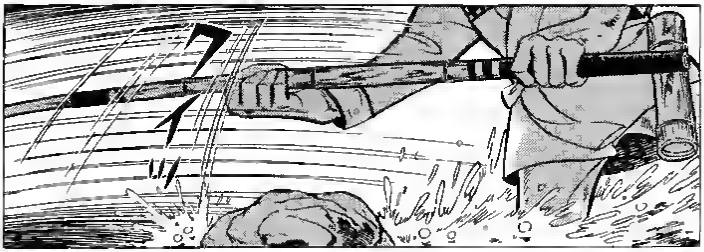
みんなたのしそうにやってるというのに主催者側はつらいよ
おれも釣りてぇなあ
助力はつらいヌよ
へんなところに出てくるな
それっがんばれおとう
オラがついてるだ!!
冷蔵庫だぞ冷蔵庫!!
あれをとらねば暁メシ食わせねえぞっ
それいけ冷蔵庫!!
いやちがうそれいけっおとう!!
たいこはやめてください釣りのしゃまになります

森の中
へんなところさ出てくるでねえ
冷蔵庫ーっ
ウギッ
ヒョエーッ
おっかあきたぞ!!
ガハッかかったかおとう
トヒョ〜ッ

イヨーッ
あらっ

ヒタン
ダダ
ヤ!!
このオタンコナス!!
マヌケのゴクツブシのヤドロクーッ!!
ボカッ
テッ
かかり鮎をはずしたばかりか オトリ鮎を死なせるしもう…
おっかあにゃなぐられるしおらあついてねえクーッ
こういうこともあるからオトリ鮎はたくさんもっているほうが有利だし…
釣れたての鮎はイキがいいからオトリとしては最適だということもおぼえといたほうがいいぞ
矢ローっ!!
Y記者だーっ

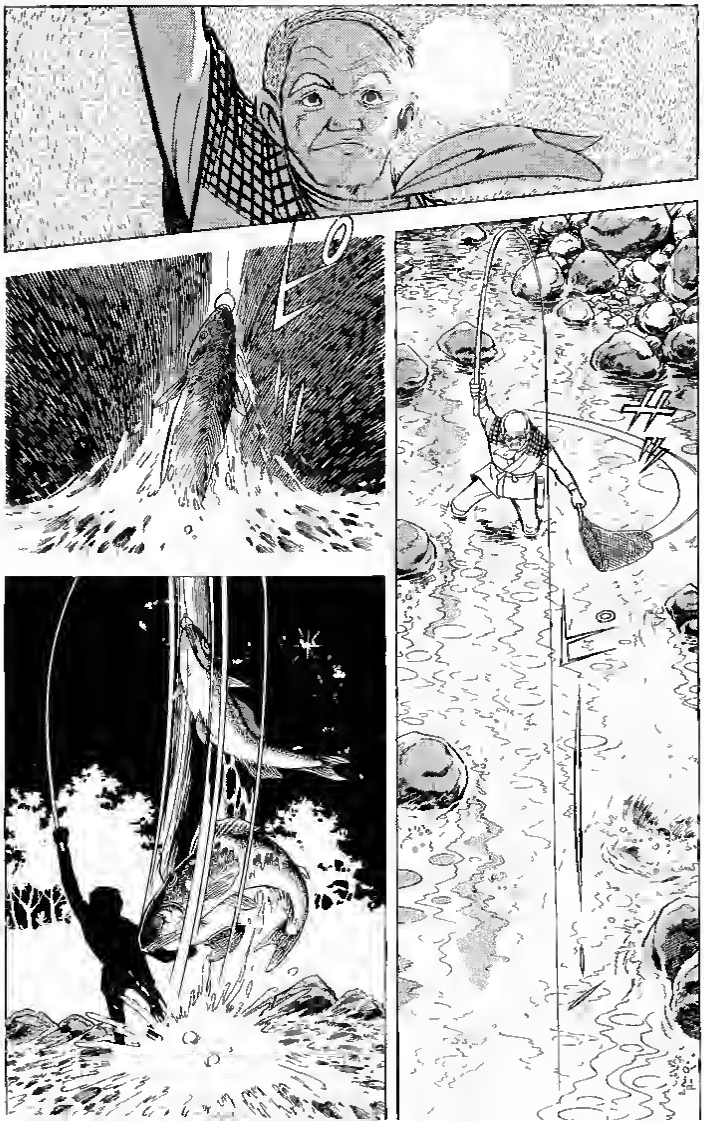
黒っぽくてヌルヌルした石が最高のポイントだ!!
マガジンのY記者が追ってくる失礼!!
糸を見うしなわないように水鳥の羽根で目じるしをつけるとよい
くそう逃げ足のはやいやつだ



やっぱりわれわれなんか問題じゃねえ

すすげえ

またかかりおった!!
!!



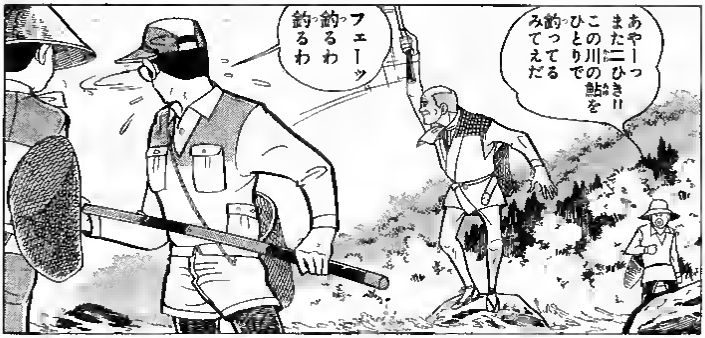
カーッ
あいかわらず
あざやかな
もんだなあ
一平じいさーん
もう かれこれ
四十ぴきの
大台に
のせたべえ

フフフ
もう
そのぐれえ
いったがな
おらあ
いちいち
かそえて
ねえだ
フエーッ
こっちは
十ぴきも
釣れてねえと
いうのに
まだ
ハハハ
だいそれた
考えはすてて
ひとやすみ
したほうが
いい

一平じいさんに
挑戦する
なんて
おろかな
ことだ……
どうしたんです
さっきから
ボケーッと
腰かけたまま
一ぴきも釣って
ないなんて
……
きょうは
年に一度の
釣り大会
ですよ

フフフ
ボケーッとなんか
してねえて
こうやって
一平じいさんの
釣る姿に
見とれて
いるのよ
大会なんか
問題じゃ
ねえ
それも
そうだな
とっても
われわれが
歯のたつ
相手じゃ
ない……

一平じいさんの
釣りは
まさに
芸術じゃ
トモ釣りは
ふつう
ゴボウぬきに
ひきあげないと
いう常識を
あっさりやぶり
空中で玉網に
うけとめる
あの名人の
技を
あの呼吸を
おれはぬすみ
たい……


あやーっ
また二ひき!!
この川の鮎を
ひとりで
釣ってる
みてえだ
フェーッ
釣るわ
釣るわ

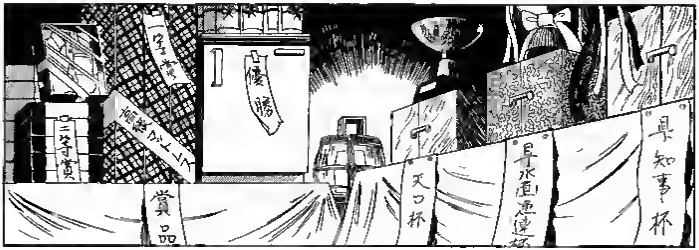
みごとと
いうほか
ないねえ
ことしも
優勝は
一平じいさん
にまちがい
あるめえ

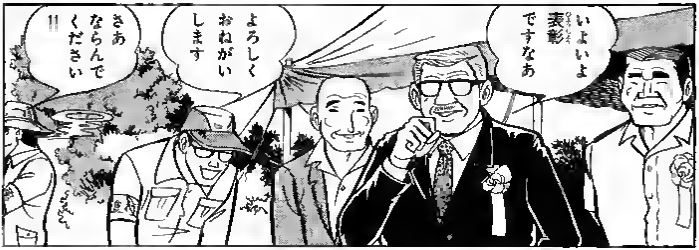
もう
七十歳を
こしたん
じゃ
ないのか
あいかわ
らず
元気だ

これで
カップと
冷蔵庫は
一平じいさんの
ものだ
あいさ
やるまえから
きまってるじゃ
ねえか
そんなこと

ボーン
午前十一時三十分
ふたたび号砲がなり
わたり釣り大会の
終了をつげる
竿をおさめて
釣った鮎を
本部に持ち
よる
釣りキチ
たち…
おらあ
三十三
びき
釣ったが
おめえは
…？
フェーッ
十六ぴき
しか
釣れねえ
や
このヤドロク
たった三びき
とは なに
ごとだー
おっかあ
ゆるして
けれ
～～～っ
ハイ
おさないで
ならんで
ください
計量は
順番
です

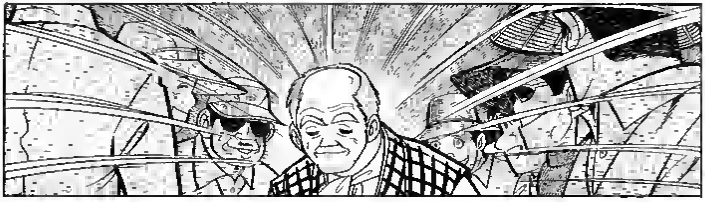
ハイーッ
三十八番
十二ひき!!
つぎっ
三十九番
全員鮎釣
ことしは
なかなか
豊漁の
ようです
な
いやーっ
おかげさまで
ぶじにおわり
そうです
きみきみ
いま現在
だれが
トップ
かな
やっぱり
一平じいさんが
だんぜん
トップですよ
一平じいさん
が五十ぴきで
二位は
三十二ひき
ですから
グーンとひらき
がありますな
なんと
五十ぴきも
さすがは
一平じいさん
じゃのう
制限時間が
三時間ですから一ぴき
釣るのに
四分かかって
ませんなあ
ヘェーッ
五十ぴきも!!
やっぱり
一平じいさんの
優勝は
かたいな
あいさ
二位以下は
問題じゃ
ねえよ


県知事杯
県水連連盟杯
天口杯
優勝
賞品
三等賞

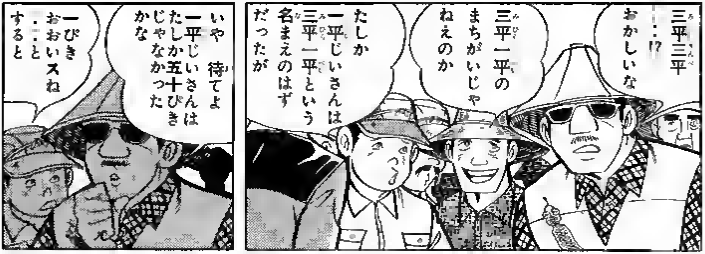

いよいよ表彰ですなあ
よろしくおねがいします
さあならんでください!!

それではただいまより表彰式をおこないまーす

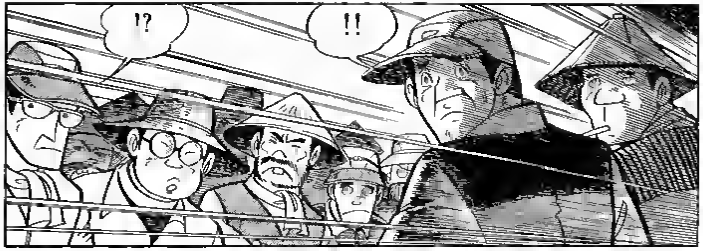
本年度鮎まつり全県鮎釣り大会!!
優勝者!!



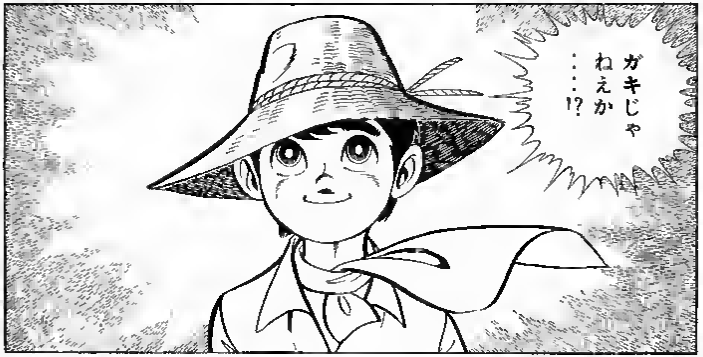
釣りあげ
ひき数
五十一ぴき
!!
三平
三平
くーん
!!


三平三平
…!?
おかしいな
三平一平の
まちがいじゃ
ねえのか
たしか
一平じいさんは
三平一平という
名まえのはず
だったが
いや 待てよ
一平じいさんは
たしか五十ぴき
じゃなかった
かな
一ぴき
おおいスね
…と
すると

ごせいしゅくに
ねがいます
キャー
アー
優勝者
三平三平
くんに
拍手を
おおくり
ください
ガヤガヤ
ワイワイ
ブツブツ
ヒソヒソ
!?
!?
ハーハーハー


!?
!!

ホウおめえか
なんと三平三平ってのは……!!


ガキじゃねえか……!?

こ このガキが本年度の優勝者だってえのけえ
タハーッそんなアホな…!!
よく見りゃあガキもガキハナタレ小僧じゃねえか…!?
ガヤガヤ
ヒソヒソ

こんな
バカな
なんかの
まちがいに
ちげえねえ
て…
本部の
集計ミスじゃ
ねえのか
あんなガキが
五十一ぴきも
釣りあげた
なんて おらあ
信じられねえ

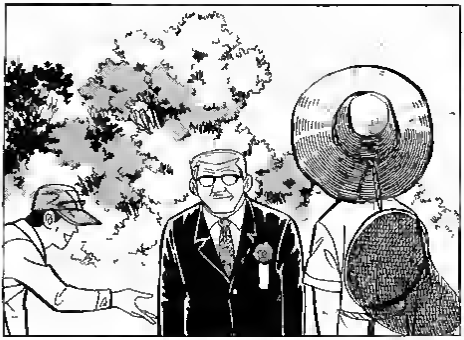
五十ぴき釣った
一平じいさんを
一ぴきでも
うわまわるって
ことは
えらい
こっちゃ
あいさ
この大会で
六年連続優勝の
一平じいさんを
一ぴきでも
ぬいたという
ことは
事件じゃて
おそらく
大会史上
最年少の
優勝者
だろうな
ボン

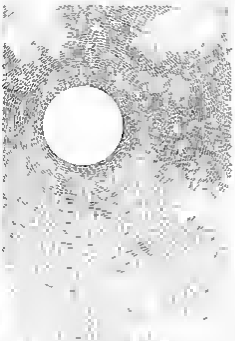
一平じいさん
なにを
ニタニタ
してるんだ
おめえさんの
七連勝は
はばまれ
たんだぜ
三平三平とか
いうガキ
に・・・
フフフ

おらみてえな
ボンコツが
いつまでも
のさばってる
よりは
けっこうな
ことじゃ
ねえか
フフフ
さあ
優勝者に
拍手を
おくるべえ
!?
!?
ハーイ
みなさーん
三平三平くんに
拍手ーっ
ホホッ

こいつ優勝したくせにてれてやがる
こらっ!! もっと胸をはっていばってあるかんか顔をあげろ
ケヘヘッ
ピク
やったなこいつうおめでとう
へへへ・・・
おうえたちなにしてるだ拍手じゃ拍手ーっ!!
!?

チクニウ!!
フボ而てフテクサレ奴!!
あゆえニニクくうきたねっ
ウヒョ~~ッ大統領!!
たれだべこたのコ!!
アイクサ
フソスル?





フォー

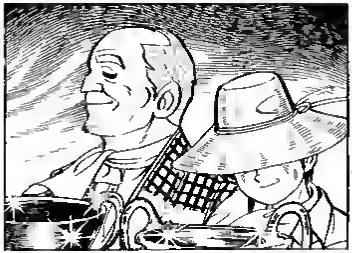
ズズッ
表彰状
優勝!!
三平三平殿!!
あなたは
当漁業組合
主催の
鮎まつり
全県鮎釣り
大会において・・
頭書の
成績を
おさめられました
よって ここに
その栄誉を
たたえ
賞します

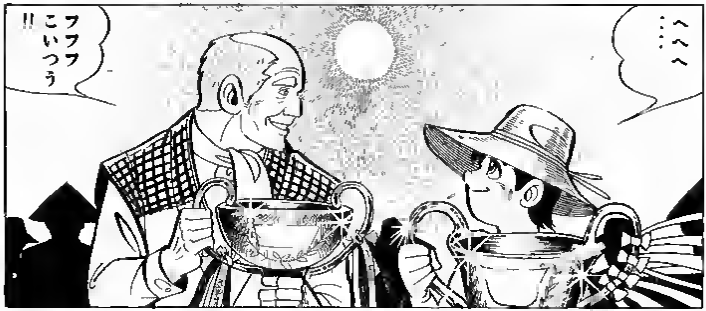
つづきまして
優勝カップ
ヤグチ杯が
おくられます
おめでとう
三平くん
三平
ちゃーん
でかした
ぞーっ
ギェ

おっかあ!!
どこさいく
みっともねえ
から やめて
けれ～～～っ
ドドドドド
なにっ このヤドロクーッ
たった三びき
しか釣れねえ
くせして
あひっ
この子は
おらの
家の
となりの
むすこ
だべ
その子の
優勝を
祝福して
やるのは
トウゼンだべ
～～～
おら
なして
こんな
めに
ピロロ
あわねば
ならねえ
教えでけれ
教えでけれ
三平ちゃん
よく
やったぞ
えがった
えがった
トホッ
!?
!!
ぎゃっ

ク
ク
ッ
ッ
なーにが
おかしいだ
このう
てめえ!!
ぐすっ
三平ちゃんに
拍手だ
拍手だーっ
!!

つづいて
準優勝の
表彰に
うつります
準優勝!!
釣りあげひき数
五十ぴきーっ!!
三平一平
さーん!!

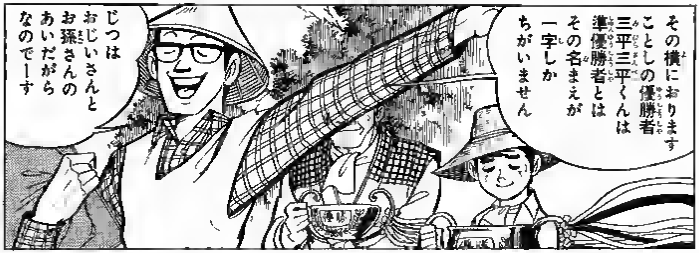



へへへ……
フフフ
こいつう!!

みなさん
表彰式の
とちゅうでは
ありますが
こうしてならんだ
おふたりを見て
なにか
お気づきでは
ございませんか

!?

準優勝の三平一平さんは
もうすでに 本大会に
おいて 過去十回のうち
六回も優勝という
この川では あまりにも
有名なかたですが

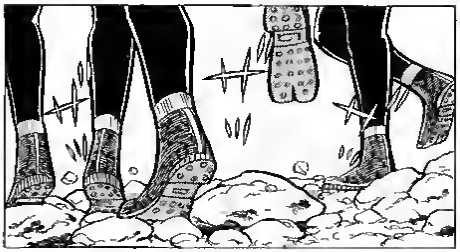

その横におります
ことしの優勝者
三平三平くんは
準優勝者とは
その名まえが
一字しか
ちがいません
じつは
おじいさんと
お孫さんの
あいだがら
なのでーす

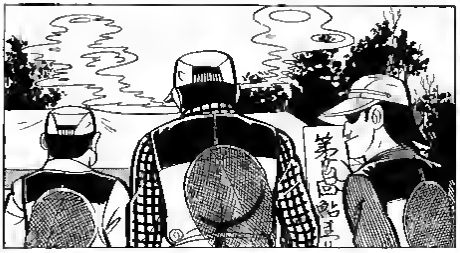
えっ
なーるほど
どうも
おかしいと
思ってたが
・・・
やっぱり
血は
あらそえん
もんじゃて
あの年で
優勝するん
だから
一平じいさんに
そうとう
しごかれたに
ちげぇねえな

とにかく みなさん
おじいさんと
そのお孫さんが
こうして
優勝と準優勝に
かがやいたことは
当漁業組合
はじまって
いらいの
ことです
表彰式の
とちゅうですが
もう一度
おふたりに拍手を
おくってください
ズパーン
ズパーン

こんなぐあいに表彰式は順調にすすみつぎつぎと表彰台にあがるものがふえていく…
けっきょくのところ第三位にM町の会社員
第四位は日植の農家のかた
第五位にはA市のお菓子屋さんが入賞
閉会式はとどこおりなくおわった
つづいて本日の呼び物「鮎まつり」である…
参加者に三デンリットルの視酒がくばられいま釣れたばかりの鮎の塩焼きに舌つづみをうつことになっていた…

トラフルが
おきたのは
そのときだった!!




第1回戦まも

やれやれ
これで
ことしの大会も
ぶじに
おわりました
ね
うんにゃ
組合長
これから
です よ
わたしは
鮎まつりの鮎を
食べないと
夏負けします
からなあ ハハハ

組合長!!
ちょっとお話がありますが……
!?

なんだね

われわれはきょうの大会に異議を申し立てにきました
役員のかたもあつめてください

なにごとですかきみたち
そんなに真剣な顔をして
!?

役員のかた大至急本部にあつまってくださーい

とにかく役員全員をあつめてください
話はそれからします

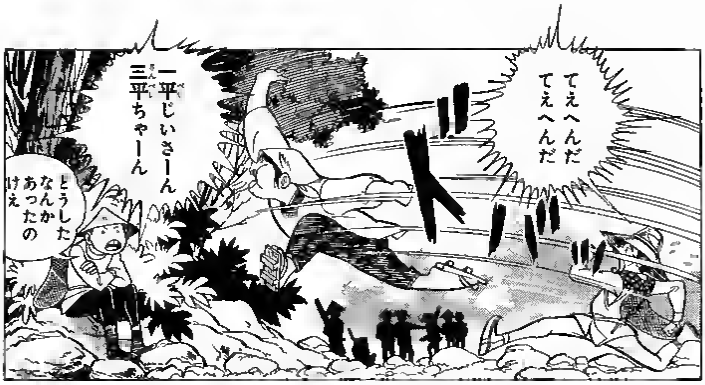
な
なんだって
失格
だって
!!

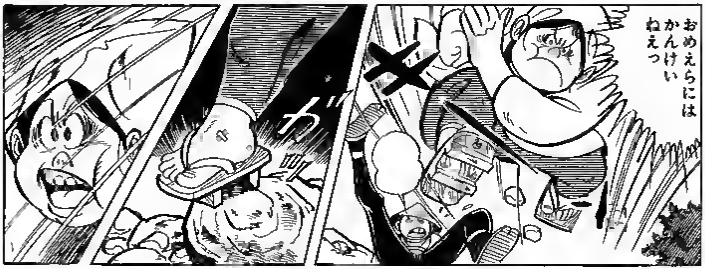
そうです
失格に
すべき
です!!

じょう
だんは
いわないで
くれ
おれは
監視役として
厳重に見て
まわったが
ルール違反は
これっぽっちも
なかったぜ

まあまあ
そう
興奮しないで
この人たちの
いうことを
よく聞きなさい
ハァ
しかし

さあ
三平三平くんを
失格だとする
理由をいって
みて
ください

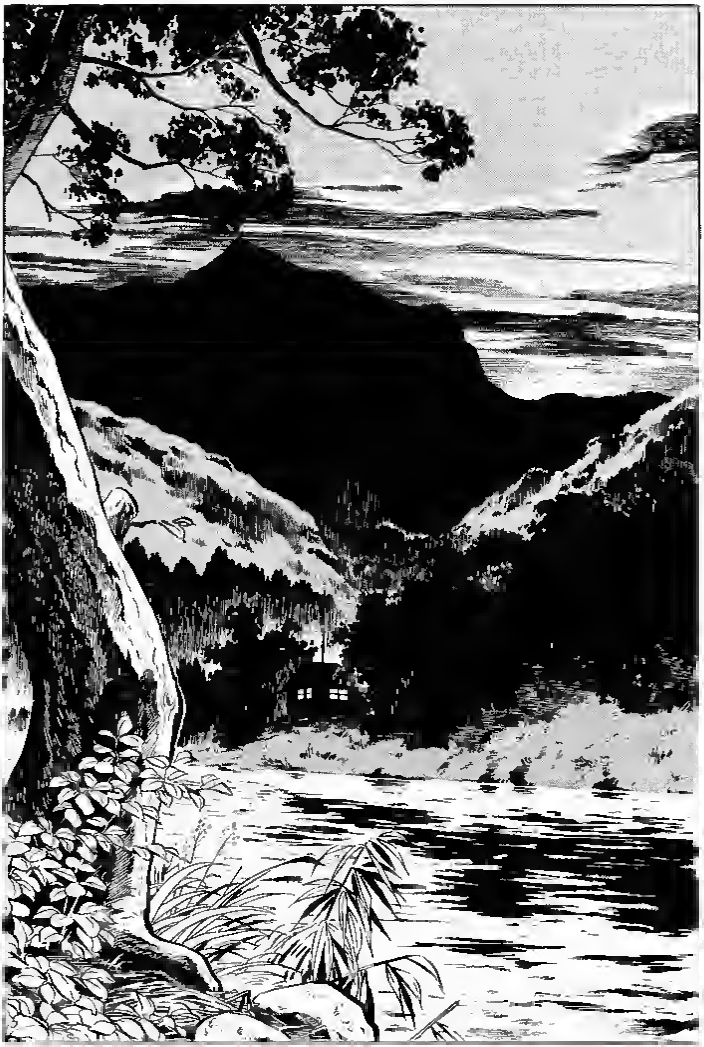

てえへんだ
てえへんだ
一平(いっぺい)ちゃーん
三平(さんぺい)ちゃーん
どうしたなんかあったのけえ


おめえらにはかんけいねえっ
ガ

ホイットスんっれい
クぅ〜〜ッおとうやったな

ムギュ

なにあわてているだ安さんタカさん
ハハハハどうしただもうそろそろ鮎まつりがはじまるぞ
おおっかあごめんしてけれ～～～っ
それがえれえことになってるだ
あのな……
なんだと!?
三平の優勝を取り消しにしろとぬかしてるやつがいるだと!?
!?



さあおっしゃってみてください
優勝者の三平三平くんが失格だとする理由を・・・・

カッコなんかつけねえではっきりいったらどうなんでえ
それとも子どもに優勝をさらわれたんで頭にきたのとちがうか
まあまあきみたちはすぐ興奮するからいかんよ
まずひとの話はじっくり聞いてからな……
ししかし組合長
亀の甲より年の功っていうが
さすが組合長だけにハゲてはおらんようだな……
ク～ッ
されば……
組合規約
なんじゃそれは
当漁業組合の規約じゃねえか……!?

ホホウ
知ってるん
ですか…！
これが
この川の
漁業組合の
規約だって
ことを…！
ふしぎな
ことも
あるもん
ですなあ
……

フフフ
ほんとうに
知って
いなさるん
ですね…

からかうのも
いいかげんに
してくれっ!!
組合規定も
知らねえで
役員が
つとまるとでも
思ってるのか
ヘッヘッヘッ

カーッ
あったりまえじゃ
ないスか
いまごろ
規約なんか
もちだして
こいつら
頭が
のぼせたのと
ちがうか
話に
ならん
フフフ
……

そんじゃあんたに聞きてぇ
この規約の第二十七条にどんなことが規定されているかいってみろ
うっ

おい ここ ここに規約があるぜ
あ ありがてぇ……どれどれ

そ そんな
なんぼなんでも条文の字句までいちいち暗記はしてねえだ
規約持ってきたぜ

エエト……第二十七条……
釣り大会参加資格についてて……
組合憲約

おやおや虎の巻が出てきましたなあ
なんと書いてありますかな

読みあげてくれねえか

本大会の参加資格者は左のとおりとする……
男女のべつ 熟練者 初心者を問わない
釣り愛好者でありかつ 当組合所定の入漁料を支払う者にかぎる

入漁料を
支払う者に
かぎる
ということに
まちがいない
ですな

はあ
そ そう
書いて
あります

それじゃあ
聞くが
入漁料を
支払う者の
なかに
ガキが
はいるんですか

まさか
ガキから
大金をとる
組合員とも
思えんがのう

受付で
見てたんだが
あのガキは
はらって
ませんでしたよ

うっ

そ
そう
いえば
!!

矢口
釣りコーナー

今回の
釣りコーナーは
漁業法という
法律について
ふれてみよう
すこし
めんどうくさいが
これを知らないと
たいへんなことに
なるぞ

釣りのできる
全国のほとんどの
河川・湖・沼などは
"漁業法"という法律
によって まもられて
おり それにもとづき
地元の漁業協同組合に
よって
管理 運営されている

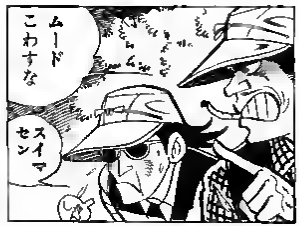
フフフ
やっぱり
あの場合
子どもですから
お金はとれない
ですよ
だいいち
大会に
子どもが
参加するなんて
はじめてのこと
ですからな
それが
まさか
優勝するなんて
思っても
みなかっただ

組合の人たちは
健全な釣りを
たのしんでもらう
ために釣り場を
きれいにしたり
魚を放流したり
そのほか
さまざまの
事業を
おこなっている
ので
釣りをするときは
かならず「入漁料」を
はらってから
することだ
これはマナーを
おもんじる
釣り人としては
あたりまえのことだ
日釣り券
(一日かぎり)
年券(一年かぎり)
1989
なかったら
日釣り券か
年券を
もとめて
から
釣るべし
監視
ごまかす
気か!!
待てーっ
このヤロー
そんなこと
すると
罰金か
ブタばこに
ぶちこんで
やるぞーっ
ニョーン

どうしたんだい
はっきり
せんかい
シジミ汁
みてえな
まねは
やめろ
シジミ汁
だと!?
な
なんじゃ
そりゃあ

シジミ汁が
煮だってくると
ナベのなかで
ガチャガチャ
グツグツ
うるさい
じゃろう
おめえたちが
そうやって
しりむけて
ボソボソやってんの
のが ちょうど
シジミ汁みてえ
だってことよ…
ワカル
この
ジョーク

おれって
頭がいいなあ
自分で自分が
いやんなっちゃう
ホケー
♪

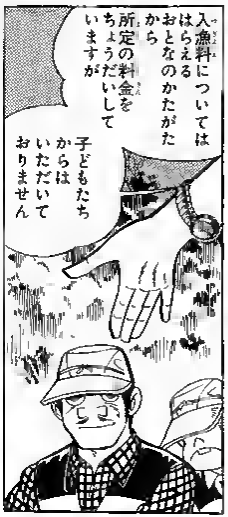

ムード
こわすな
スイマセン

どうなんじゃい
入漁料も
はらわんガキが
大会に参加できる
資格があるって
のかい
はっきりと
説明して
もらおう!!

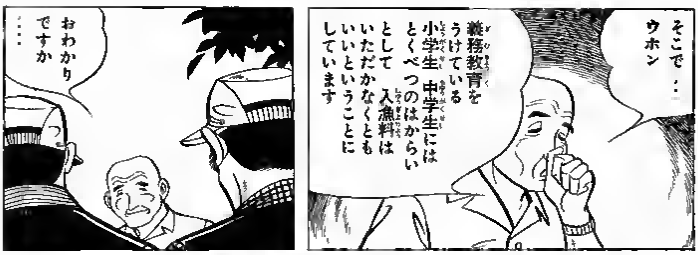
ううっ
それは
そのう

当組合では
みなさんに
たのしい釣りを
していただく
ために
いろいろと
配慮をして
ございます
ハイ

それについては
わしから
ご説明
いたしましょう
く
組合長
!!


入漁料については
はらえる
おとなのかたが
から
所定の料金を
ちょうだいして
いますが
子どもたち
からは
いただいて
おりません

だからといって
子どもたちに
この川で魚釣りを
しては いかんと
いうわけには
いきません
ケヘヘ
たすかった
むしろ
健全な精神と
健全な
からだづくりの
意味からも
どしどしと釣りを
たのしんでほしいと
思っています
そうだ
そうだ

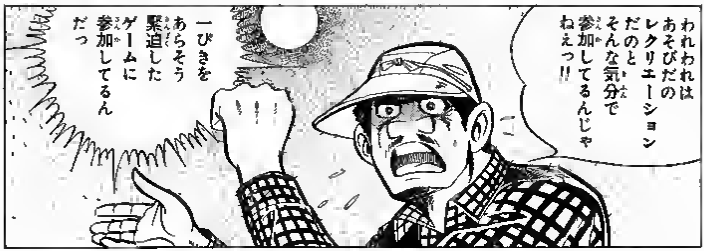

そこで…
ウホン
義務教育を
うけている
小学生 中学生には
とくべつのはからい
として 入漁料は
いただかなくともよい
ということに
しています
おわかりですか
……

フフフ
さすがは
組合長さんだ
うまく
逃げおったな
フフフ
……
フフフ
そうであれば
むしろ
われわれの
異議申し立ては
ただしい
はずだ

組合長さんよ
いやしくも
全県釣り大会と
銘をうった
げんしゅくなる
大会に
世間から
あまやかされ
保護されている
ガキどもに
参加資格が
あるはずはねえ

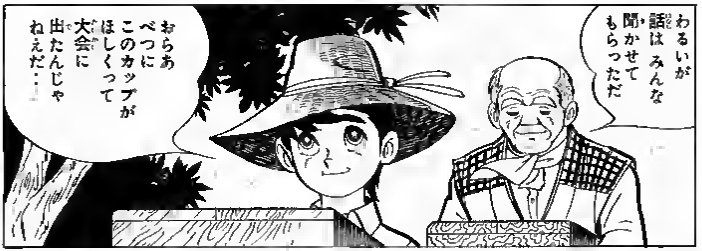
組合規定を無視し
参加資格のないものの
参加をみとめた
組合本部役員に
重大なミスが
あったのだ
優勝したガキを
ただちに
失格にすべきだ!!
責任を
とれ!!

まあまあ
あなたたちの
いうことは
わかります
が
しかし
鮎まつりは
年に一度の
たのしい
おまつりで
すからね
そうだ
レクリエー
ションの
ひとつなんだから
そんなに
かたくるしく
考えんでも……


われわれは
あそびだの
レクリエーション
だのと
そんな気分で
参加してるんじゃ
ねえっ!!
一ぴきを
あらそう
緊迫した
ゲームに
参加してるん
だっ

ただちに
優勝を
取り消せ!!
カップも
冷蔵庫も
取りあげろ!!
そうしねえと
われわれは
ひきさがらん
ぞ

おじさんたち
これ…
かえすよ
ムッ


わるいが
話は みんな
聞かせて
もらっただ
おらあ
べつに
このカップが
ほしくって
大会に
出たんじゃ
ねえだ…

ただ
鮎釣りが
したかった
だけだ
だから
これ
いらねえよ
かえすよ
それで
いいべ

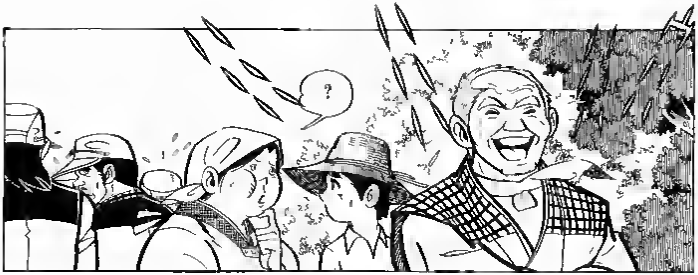
ごめいわくばかけたなみなさん
いえねこいつあまだごらんのとおりのガキじゃがわしに似て大の釣りキチでのう大会にはわしが参加をすすめたんじゃ
まさか そんなめんどくせえキマリがあるなんてちっとも知らなかったもんで
ほんとにごめいわくばかけただ

あんたはたしか…一平さんといいましたな…
そうじゃが…それがどうかしましたか

われわれは釣り愛好者のひとりとしてあんたの名人技にたいしていつも尊敬しております
はからずも今回は あんたのお孫さんの優勝に ケチをつけるようなかたちになりましたが…
われわれとしてはそんなつもりはけっしてありません…
ただ 規約がある以上は規約どおりに大会を運営すべきだとぞんじまして…

わしも三平もべつにこういうものがほしくて参加したんじゃねえだ
んだ!!おらもじいさまもただやたらと釣りがすきなだけだ
組合長さんひとまずこれはおかえししますだ
な なにも そ そんなに
失格なんてきまったわけじゃないんですよ
この人たちはちょっと規約の解釈がちがっているだけなんですから
いいですよ
みなさんでゆっくりそうだんしてきめてください
ニタ
さあ 三平まだ日はたけえもっと釣るべ
うん
ウヒョ〜〜〜ッカッコいい!!

やいっ
このう
てめえ!!
なにガタガタ
ぬかしてる
だ
そこの
うしろ
むいてる
デッパ
ちょっくら
顔見せろ
??
お
おれか
てめえ
たしか
三平ちゃんが
失格になれば
いちやく
五位に入賞
するそうだ
な……
どうして
どうして
それを
あっ
そういえば
この人は
一ぴきちがいで
おしくも入賞
できなかった
んだ
のう
……
……
いや……
そのう……
べつに……
おれは
……
そんなことで
異議を
申し立てた
じゃねえや
……
なにいってる
そうに
きまってるべ
顔に
書いて
あるだ
どうも
おかしいと
思ったが
やっぱり
そうだった
か
おい
かえろう
か……
そう
するべ


？

おめえたち
そんなことまで
して 賞を
とってみた
ところで
なんになるだ
まずしいことを
考えるなって
釣りってやつは
そんなもんじゃ
ねえ
もっともっと
たのしんで
やるもん
じゃて

そんなことを
考えるヒマが
あったら
もっともっと
眺をみがけ
大のおとなが
三百五十六人も
かかって
こんなガキや
オイボレに優勝を
さらわれることの
ほうが
よっぽど
どうかしてるぞ
規約がどうの
参加資格が
どうの
なんてことは
二のつぎだべえ

さあ三平
いくべえ
うん
大会では
じいさまより
一ぴきおおく
釣ったけんど
昼からも
負けんぞ
こいつう
ハハハ
くくそう
こんな
トラブルは
あったものの
鮎まつりは
ぶじに
おわった

祝宴がおわると
帰宅する
人もいるし
そのままのこって
午後からも
釣ってかえる
人もいる
一平じいさーん
三平ちゃーん
あいつらの
申し立ては
本部で　とり
さげられた
ぞーっ
だから
カップと
賞品は
もとどおり
ふたりの
もんだーっ
どう
する
ーっ

そうか
そんなら
すまんが
おらの家さ
はこんで
おいて
くれんか
よしきた
!!
まかし
とけ
〜〜〜っ
!!
こらっ
しっかり
はこばねえか
!!
あ
それっ
それっ
ハア
ヒイ
クゥ〜〜ッ
ホイッ
きたぞ
イヨッ
こっちだって
負けねえぞ

ヒョッと
へへへ……
ン!?
こんなガキに負けたとあっちゃ腹のムシがおさまらん
こぞうわれわれとサシで勝負をしようじゃねえか

サンペイ サンペイで
三平(さんぺい)三平か…
だれがつけた
名まえか知らんが
まったく ふざけた
名まえだぜ
とにかく
おれたちは
ガキが五十一ぴきも
釣りあげたなんて
ハナっから
信じるわけにゃ
いかねえんだ
目の前で
腕まえのほどを
見せてもらわん
ことにはな

ニコッ
ヌルッ
このガキめ
しぶとい
ガキだな
ウンとか
スンとか
ぬかしたら
どうなん
でえ

プ〜
パッパッ
おいっ
どうなん
だいっ
われわれと
勝負を
するのか
しねえのか
!!
おじさんたち
おもしれえ
ひとたちだな
ガ〜ン
な
なんだと
!?
勝負だなんて
ケンカみてえ
だなや
んだども
わざわざ
そんなこと
しなくても
おらのとなりで
釣ってみたら
わかるごとだべ

サシで勝負だなんて
へへへ……
おーい三平
どうしただ

じいさまこいつらがサシで勝負をしてえんだってさ
こいつらだとっクゥ〜〜ッ
こ、このガキぁ

サシで勝負？
なんのこっちゃいそりゃ

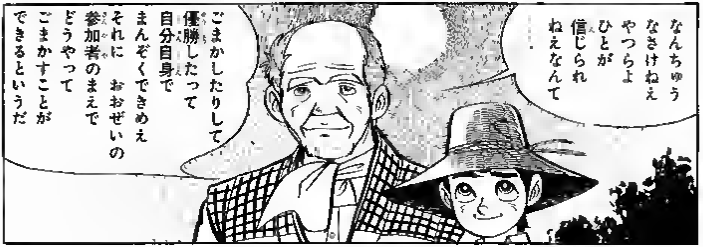
待っとれいまいくから

なんだ
おめえたち
さっきの
れんじゅう
じゃ
ねえか
性こりも
ねえ
やつらだ
まだ なんか
文句が
あるのけえ

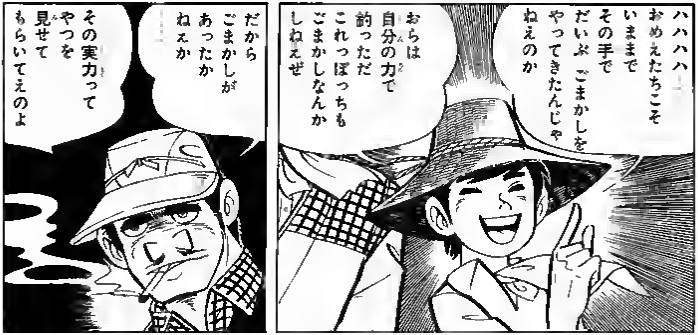
あんたの
お孫さん
・・・いや
釣り大会の
優勝者
三平三平くんの
バケの皮を
はがしてやるため
サシで勝負が
してえのよ

バケの皮
だと!?
そりゃまた
どういう
意味かな

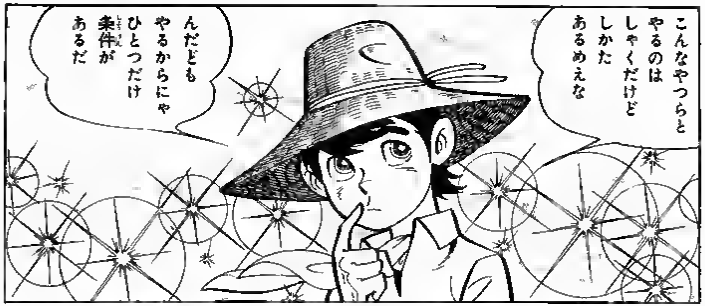
こいつらは
おらが きょうの
釣り大会で
ごまかしを
やった・・・
というんだ
なるほど
・・・


なんちゅう
なさけねえ
やつらよ
ひとが
信じられ
ねえなんて
・・・
ごまかしたりして
優勝したって
自分自身で
まんぞくできめえ
それに おおぜいの
参加者のまえで
どうやって
ごまかすことが
できるというだ

フフフ
そうかな
：
まぇの日に
釣った鮎を
オトリカンに
入れて
川にしずめて
おいて
そいつを
知らんふり
して 計量に
持ちこむって
手があるぜ


ハハハハ
おめえたちこそ
いままで
その手で
だいぶ ごまかしを
やってきたんじゃ
ねえのか
おらは
自分の力で
釣っただ
これっぽっちも
ごまかしなんか
しねえぜ
だから
ごまかしが
あったか
ねぇか
その実力って
やつを
見せて
もらいてえのよ

こいつらの
バカさかげんは
頭に注射しても
なおりそうに
ねえな
じいさま
うん
どうする
三平


こんなやつらとやるのはしゃくだけどしかたあるめえな
んだどもやるからにゃひとつだけ条件があるだ

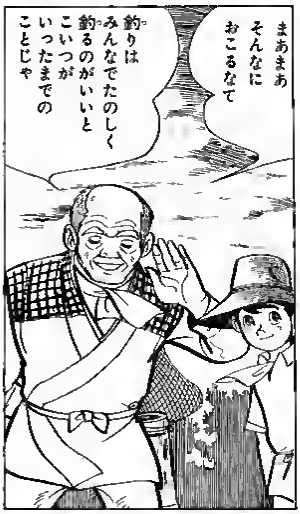
このガキあだまって聞いていればいい気になって
まあよせ
おもしれえじゃねえか…
その条件とやらをいってみろ

もしおらが勝ったら二度とこの川にこねえでほしい
勝負だけにこだわるようなやつらにはきてもらってもめいわくさ
ぬかしたなこのガキあそっちがそうならこっちも条件をつけよう

おれたちが勝ったときにゃおめえの釣り竿をちょうだいしようもっともちょうだいした以上へシ折ろうが燃やそうがこちらの勝手ということになろうがな…それでどうでえああそんなとこでいいべな

よし!!そうときまったらさっそくはじめようかおれがこっちの代表だ

代表だなんてめんどうくせえなみんなせっかく釣りにきたんだ三人いっしょに釣ったらいいべそのうちでいちばん おおく釣った人とおらが勝負ということでいいじゃないの


まあまあそんなにおこるなて釣りはみんなでたのしく釣るのがいいとこいつがいったまでのことじゃ

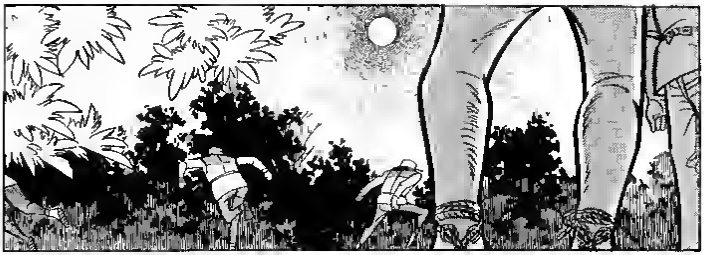
なんだとこいつわれわれをコケにする気か!?ポロ

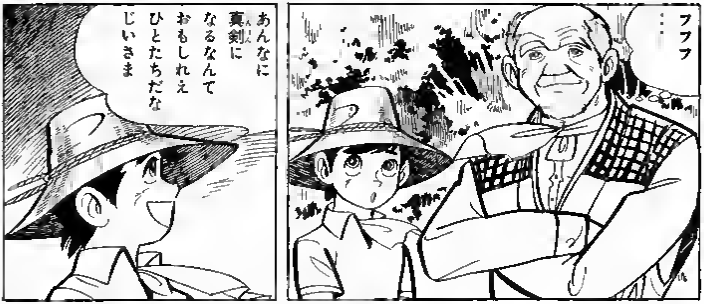
おたがいが釣りくらべをしょうちした以上 みんなくわわって戦うこっちゃな……
わしは年じゃからえんりょさせてもらうがそのかわりこの勝負の監視と審判をひきうけるべ
なるほど理屈だなようしあんたの顔をたてよう

釣りくらべというからにゃあたりめえの方法じゃおもしろくねえ
かわった方法にするべ
どんな方法だそれは

オトリ鮎をひとり一ぴきに制限し競っても死んでも交換することは禁止する
どうじゃなたった一ぴきのオトリ鮎でどれだけおおくの鮎を釣るか……
これこそ釣りくらべ腕くらべにゃかっこうの方法じゃろ

な なるほどわかったぜ
おもしれえ方法じゃねえか
それでいこう文句はねえ
へへへ…
ほんじゃしたくはいいな!!
ウムッ!!
はしめーっ!!
それっ!!




フフフ……
あんなに真剣になるなんておもしれえひとたちだなじいさま

あいつら振っからの悪人じゃあるめえ
ただ釣りについての考えかたがまちがっとるんじゃろう……
あいつらの釣りはなんでもかんでもおおく釣ればいいという釣りなんじゃ

そりゃあたくさん釣れるにこしたことはねえが……
釣りちゅうもんはガバガバ釣ることが目的じゃねえ
また じいさまの口ぐせがはじまったな

ハハハ
そうかそうか
これが わしの
口ぐせじゃったなあ
もう耳に
タコが
できているだ

ン?
どうしただ
三平

見りゃあ
わかるだろう
半分のこして
おいた
昼メシを
食ってるだ
ハラが
へってはいくさはできん
ポリ

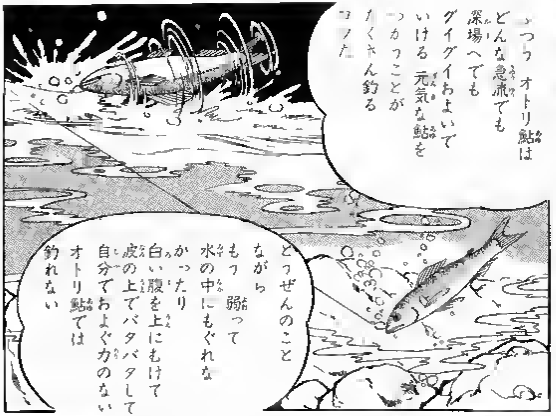
そんじゃあ
あいつらとの
勝負は
どうするだ

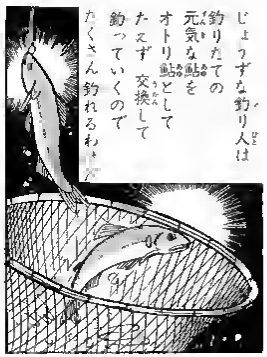
あわてるこじきは
もらいが
すくないって
いうじゃねえか
時間は
三十分あれば
じゅうぶんさ
オトリ鮎が
たったの
一ぴきしか
つかえんからな

なにか
考えてるな
こいつう

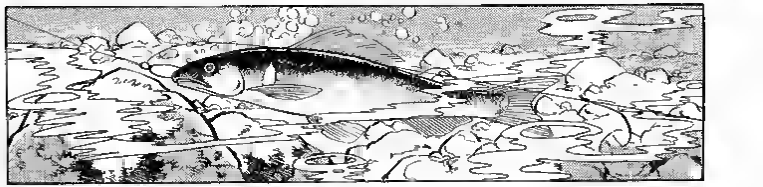
クソオ
!!
よーし
釣るぞっ

ウーム
オトリ鮎が
一ぴきしか
つかえんとは
えれえ
こったぜ
こりゃあ
…
よっぽど
注意して
オトリ操作を
しねえと
弱らせたり
死なせでも
したら
それっきり
しめえじゃ
こりゃあ
えれえ
こったぜ
これは
ほんとうに
たいへんな
ことだ
オトリ鮎を
交換せずに
たった
一ぴきをつかって
どれだけおおくの
鮎を釣るか
…
ということは


矢口釣りコーナー
つつっ オトリ鮎は
どんな急流でも
深場へでも
グイグイおよいで
いける 元気な鮎を
つかうことが
たくさん釣る
コツだ
どうぜんのこと
ながら
もっ 弱って
水の中にもぐれな
かったり
白い腹を上にもけて
皮の上でバタバタして
自分でおよぐ力のない
オトリ鮎では
釣れない


じょうずな釣り人は
釣りたての
元気な鮎を
オトリ鮎として
たえず 交換して
釣っていくので
たくさん釣れるわけ

三平対三人組の
釣りくらべは
そのオトリ鮎を
交換することが
禁じられ
はじめから
おわりまで
一ぴきのオトリ鮎で
とおして釣ると
いうルールだ
もし 不幸にして
オトリ鮎が弱ったり
死んでしまったら
いくら時間があまっても
それ以上 釣りは不可能
ということになる
だから
えれえ
こったぜ



うひょ〜〜っ
クワ〜
ガサガサ
それっ
三びきめ
だ!!
よし
おれも
がんばるぞ
さあ
食うものも
食ったし
やつらも ボチボチ
釣れてるようだし
ここらで おらも
ボチボチ いくか
イヨーッ
さ 三平
おめえ
ハダカになって
どこさいく
ちょっくら
水あびば
やってくるだ
アホレ イケッ
ニイサ

やあ
みなさん
だいぶ釣れてる
ようスな
がんばって
くださーい
なにしろ
ことしは
鮎がおおい
ですからなあ
クッ

おい
あのガキあ
気がくるったと
ちがうか？
フルチンで
どっかへ
いくよ

ヒヒヒやっぱり
あいつは
鮎なんか
ロクに
釣れんのさ
これで
バケの皮は
ひんむいたも
おなじだせ

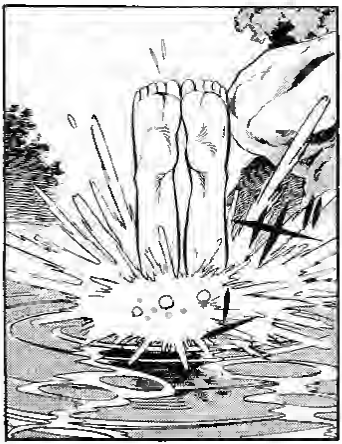
だがよ
勝負は
勝負だ
手かげんは
するな!!

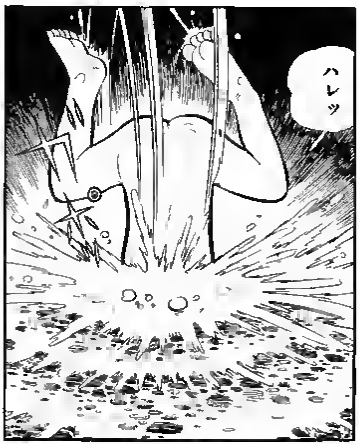
ウッ!?

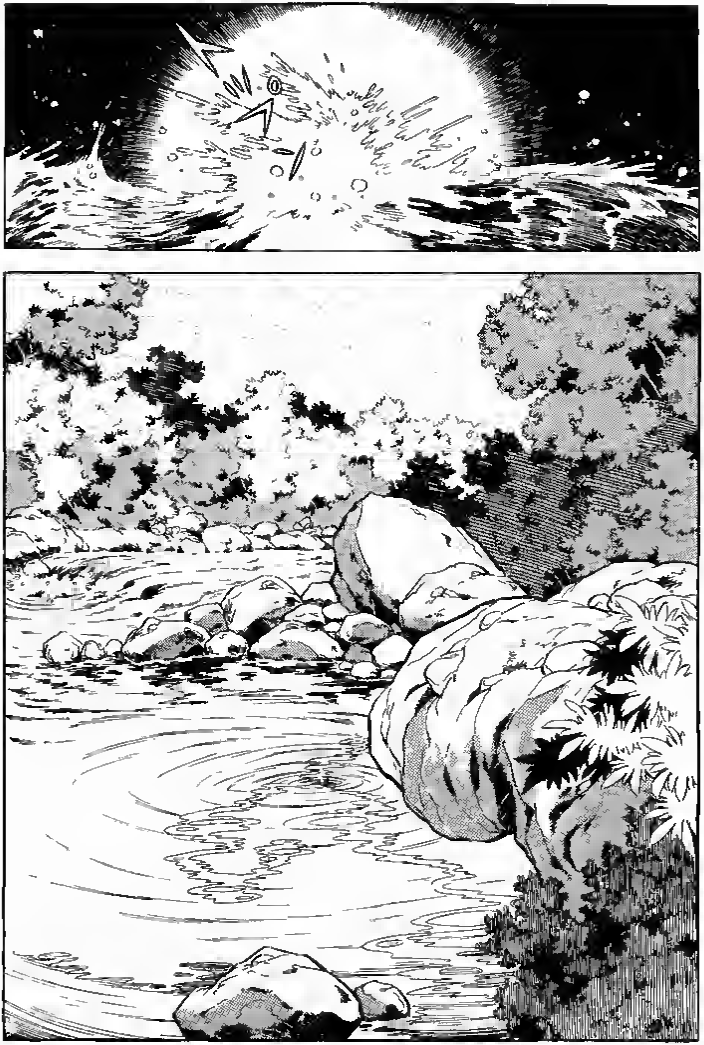
な なんでえ
あいつ
ヒャッホー
ビヒー
上流の
淵で
水泳なんか
おっぱじめたぜ
!!

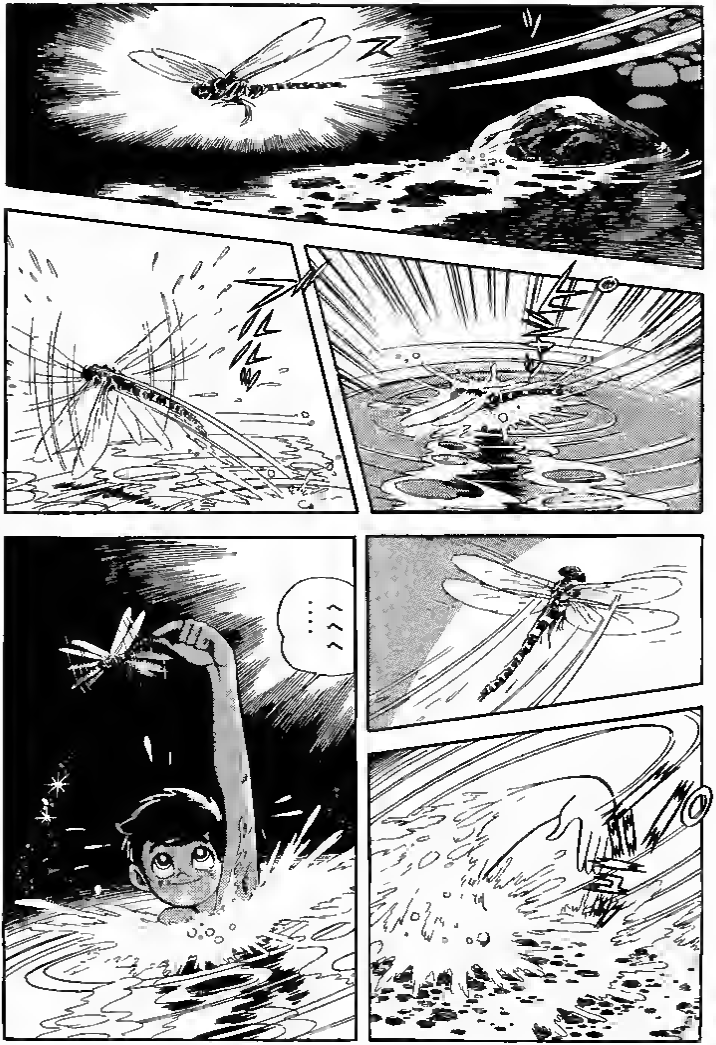
へへへ……
いまにあいつらをあっといわせてやるぜ
ほほう三平のやつ考えたな……
おとりはたったの一ぴき……しかも交換なしのこの勝負に勝つための釣りをするつもりじゃな

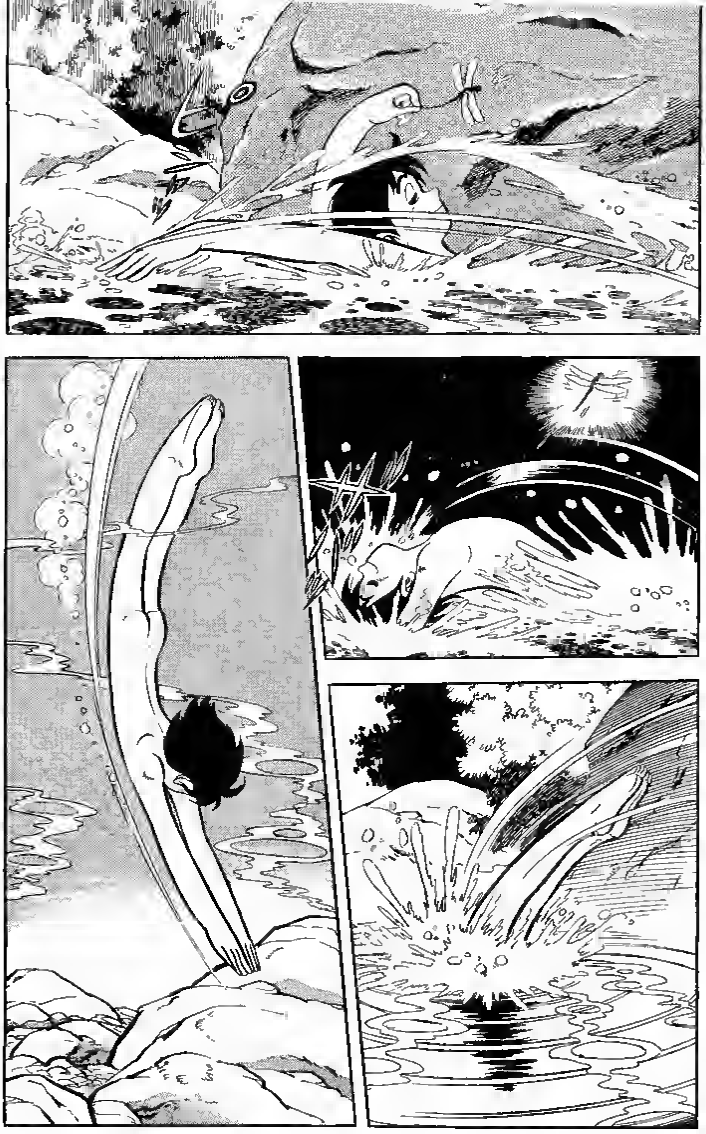
ウヒョッ




ハレッ

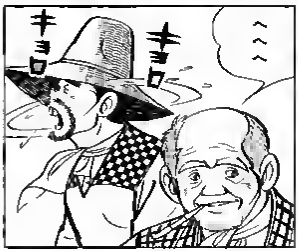



……
へへへ

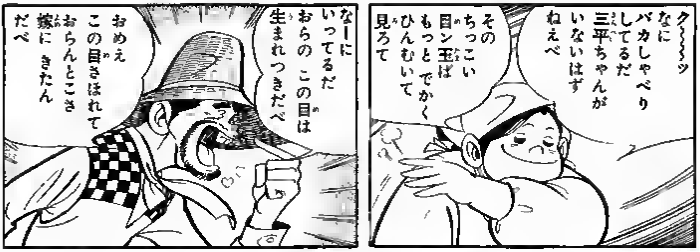


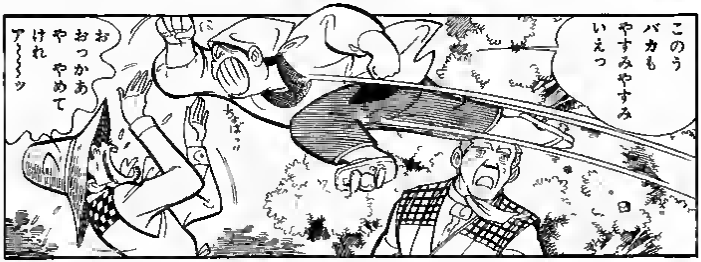
な なんちゅうたが
一平じいさん
三平ちゃんが
あのイチャモン三人組と
釣りくらべを
おっぱじめただと
……!?
んだ
もう
はじまって
三十分……いや
四十分はたつべ

まあ 三平ちゃんの
こったから だれと
競争しようが
ヒケとることも
あんめえ
大船に乗った
つもりで
見物するべ
ガハハハ
ホッ
トゥ
ス〜ン


へへへ
キョロ
キョロ

一平じいさん
おかしいで
ねえか
三平ちゃん
どこで
釣りを
してるだ


ク～～～ッ
なにバカしゃべりしてるだ三平ちゃんがいないはずねえべ
そのちっこい目ン玉ばもっとでかくひんむいて見ろて
なーにいってるだおらのこの目は生まれつきだべ
おめえこの目きほれておらんとこさ嫁にきたんだべ


このうバカもやすみやすみいえっ
おっかあやめてけれア～～～ッ

ホレッおらのとくい技逆エビがためをうけてみろ!!
フフフふたりとも毎度なかのいいこったな
ドドドドドドドド

三平ならほうれあすこじゃ

なんだありゃあなにしてるだ・・・

まあ これから やるつもり じゃろうな……
み 水あび してるでねえか かんじんの 釣りくらべの ほうは どうしただ
そ そんな アホな 制限時間は 何時間じゃ
三時からはじめ 村役場の五時の サイレンがなる まで二時間じゃ
に 二時間!!
といったら あと一時間と ちょっとしか 時間がねえぞ そんな のんきな ことしてて いいのけえ!!

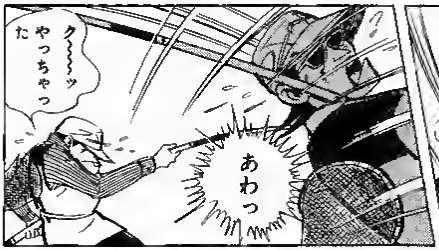
見れ
あの
イチャモン
三人組
なんか
ガバガバ
釣ってるで
ねえか
ハレッ
ホレッ
ウヒョ〜〜〜ッ
まあまあ
へんな手出し
しねえで
だまって
見ててくれ
三平にゃ
三平の老ぇ
ちゅうもんが
あるじゃろ
カーッ
水あびしてて
魚釣りが
できるなんて
そんなバカな
あれっ
また釣った
ク〜〜〜
三平ちゃん
なに
ボヤボヤ
してるだ
トトト
それっ

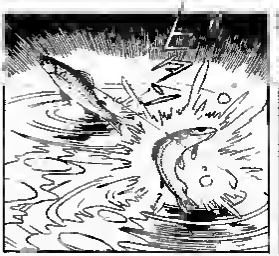
ケヘヘヘッ
おっ
そっちも
きたなっ
オトリ鮎は
だいじょうぶ
かっ
六ぴきめを
釣ったら
もう だいぶ
弱ってる
きた
イヨッ
トホホッ
きたぞ
きたぞっ
ウム

おっ
トトトト
おちつけ――っ
バカッ
なに
あわくってる
しんちょうに
しんちょうに
ハッ
ハッ

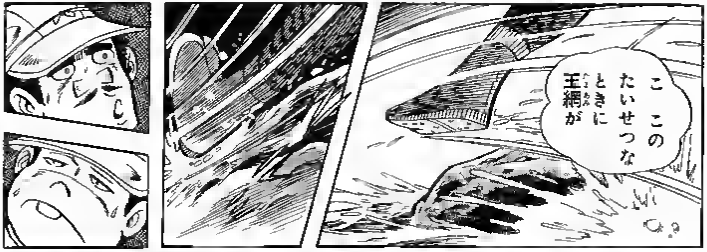
そ そんなに強くひいちゃあオトリ鮎の鼻がかけるぜ
もっと波の弱い岸のほうをよせろ!!
ハア ヒイ

バカもっと岸によせろ!!

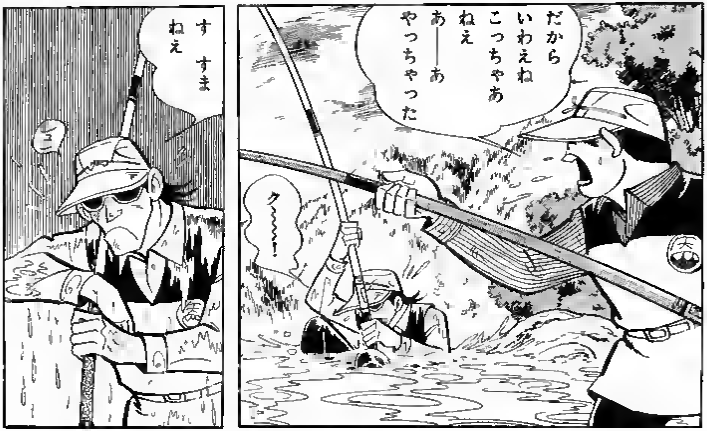

クーーーッやっちゃった
あわっ



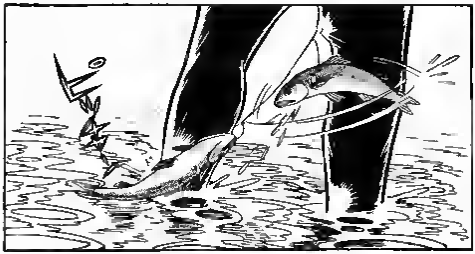
ホラ
みろっ
だから
おちつけと
いったじゃ
ねえかっ
ま まだ
バレて
(ハリから
はずれて)
ません!!
ー
た 玉網
タマアミ
!!
クソオ
ク
こ
このう
!!
ク〜〜〜ッ
チクショ
ウ〜〜〜

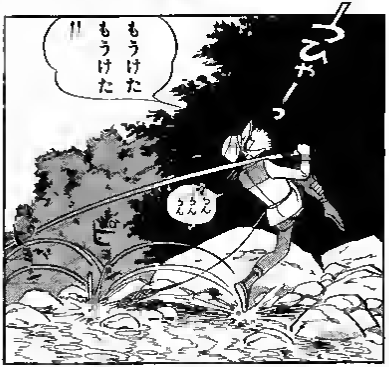

こ　このたいせつなときに王網が

わわっ


だからいわえねこっちゃあねえあ――あやっちゃった
クッ……！
す　すまねえ

クソオ
ちくしょうめ
ヒュー
ウグッ
ゴムヒモでむすんであったんだっけ…
トホホッ
しょげるな 安心しろ おれたちがおめえのぶんまでがんばるからな!!
すまねえ お おれはやっぱりだめだなあ

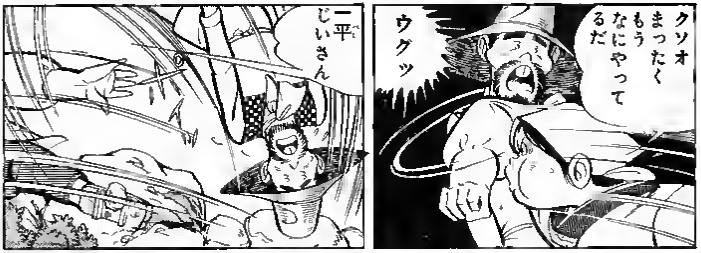

ン

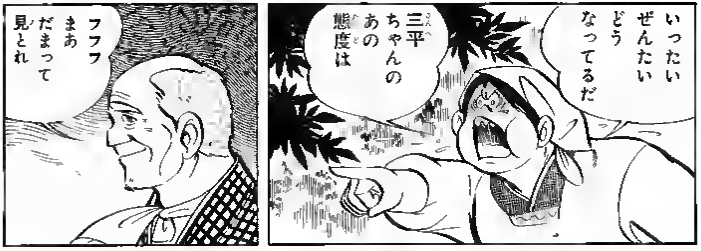

おい
み 見ろ!!
鮎のヤツ
こんな
ところに
ついて
やがるぜ
ヒョイッ!
もうけた
もうけた
!!
うえん
うえん

フフフ
これで
ひとりは
脱落じゃ
な…

バーカ
なに
よろこんでる
オトリ鮎が
死んでるじゃ
ねえか
いずれに
しろ
おめえは
これで
おわりじゃ
そうスネ
スイマセン

おっかあ
おら
もう
だめだ
三平ちゃんに
なんの考えが
あるか
知らんが
見ちゃあ
おれんて


クソオ
まったく
もう
なにやって
るだ
ウグッ
一平
じいさん


いったい
ぜんたい
どう
なってるだ
三平
ちゃんの
あの
態度は
フフフ
まあ
だまって
見とれ

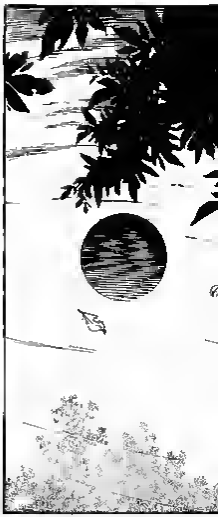
バカ
ほどほどに
しろ!!
水あびが
おわったと
思ったら
こんどは
岩の上で
昼寝してるで
ねえか!!

あんなことしてて
魚が釣れる
もんなら
おら ヘソで
お茶を
わかすどころか
鼻のアナから
ラーメン
食って見せる
て

おい
おかしいと
思わねえか
あのガキの
すること
ウム
おれも
気にしてた
ところだ

メシを食ってた
と思ったら
潜って水泳だ…
それが おわったと
思ったとたん
こんどは昼寝
ときてる…
釣り竿には
目もくれて
ねえ…
いったい どう
なってんだい

制限時間の
五時までにゃ
あと四十五分
しかねえと
いうのに



勝負開始から
一時間以上
たっているのに
なんだ
あのザマは

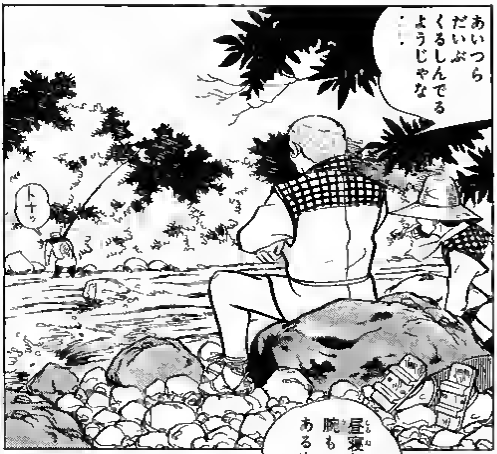
制限時間は
のこり
四十五分を
きってると
いうのに
ウーム

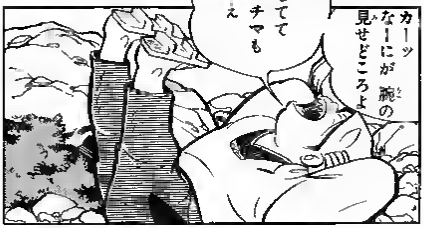
おれは
いまのところ
十二ひき
釣ってるが
おめえは
どのぐれえ
いってる？

十ぴきだ
だが もう オトリ鮎が 弱ってて これ以上は あんまし 期待できん
おれのほうも そうとう 弱ってる すこし やすめないと いかん
オトリ鮎一ぴきで うまくやって せいぜい 五六ぴき 釣れば いいほうだが
倍以上釣ってる から 弱るのも しかたねえこった これは えれえ 勝負だな
フエーッ こりゃあ もう よれよれだあ
おい ひょっとしたら あのガキ なにか どえらい 作戦でも考えて いるんじゃねえ のかな……
おたおたするな どんな作戦が あるかは 知らんが
やつは まだ 一ぴきも釣っちゃあ いねえ!!

こりゃあいかんよ
オトリ鮎の鼻がかけそうになってるだ
ク～～～ッ
強情をはくなっこっちだって条件はおなじだ
オトリ鮎をだましながら一ぴきでもおおく釣るこった
し しかしそれにしてもいかんなあ

じゃが 頑った
オトリ鮎を
うめえこと ひいて
釣るのも
この勝負の
腕の見せどころよ
フフフ
しかし

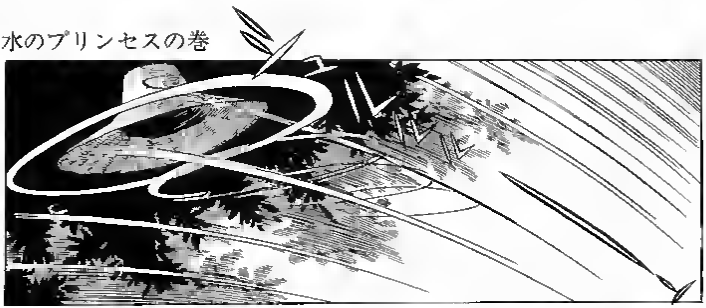

あいつら
だいぶ
くるしんでる
ようじゃな
トナッ
昼寝してて
腕もヘチマも
あるめえ

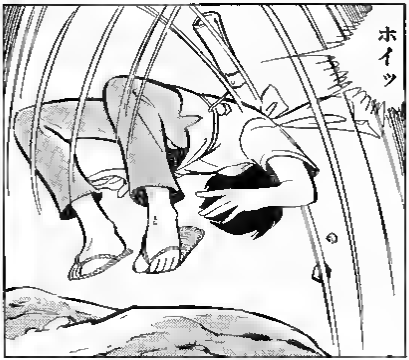

カーッ
なーにが 腕の
見せどころよ

おい
ヤドロク
家さいって
ラーメン
持ってこい
はあ?

きょうの勝負で
三平ちゃんが
勝ったら
おらあ
約束どおり
鼻から
ラーメン食って
見せるぞオ
フフフ

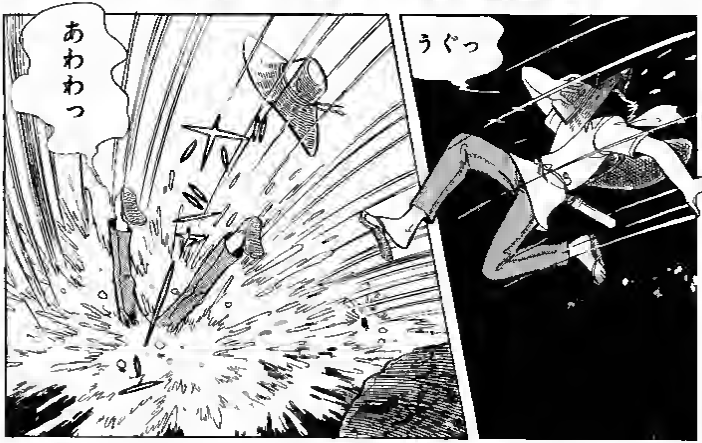
?
おい!!
ン!?
おおっ!! さ三平ちゃん!!
ナヌ!!
ガバッ
ワウ



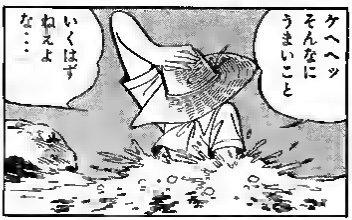

ホイッ

ワ
ワ

うひょ〰〰っ

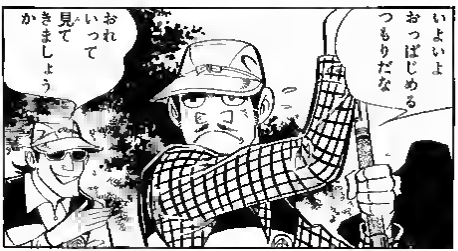

あわわっ
うぐっ

ホイ
ホイ
ホイッ……と


ケヘヘッ
そんなに
うまいこと
いくはずねえよな……

へへへ

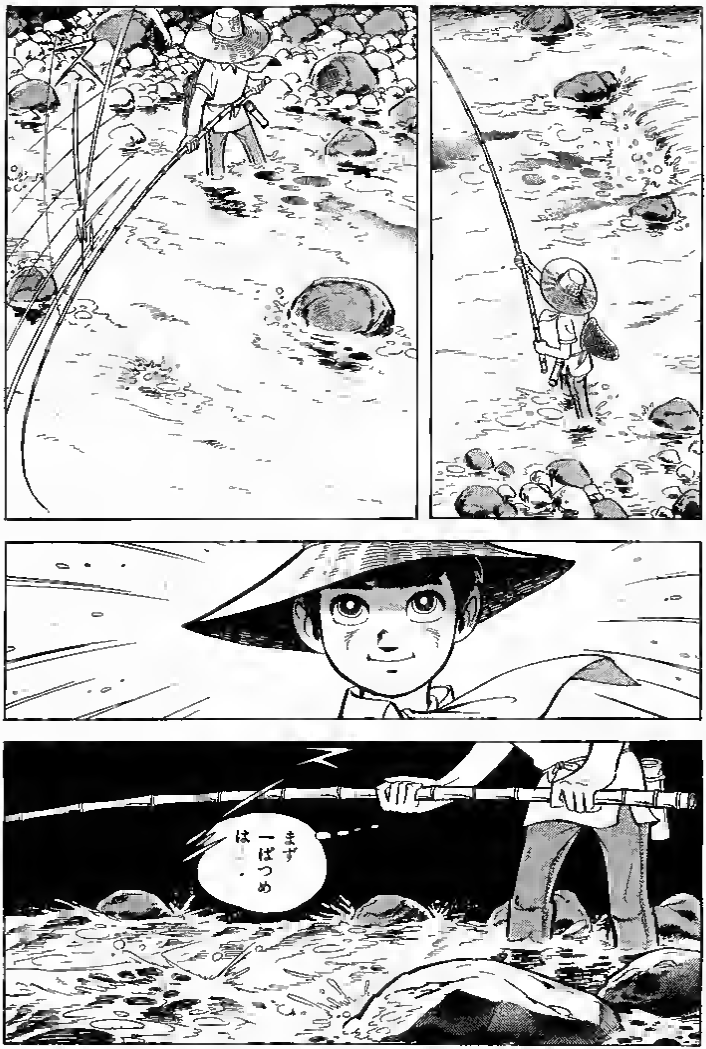
おい
うのガキめ
とびおきたと
思ったら
上流のほうへ
スッとんで
いくぜ


いよいよ
おっぱじめる
つもりだな
おれ
いって
見て
きましょう
か

いや
おれたちも
いく

オトリ鮎が弱ってしまってすこしやすませようと思っていたところだ
ヒヒヒやっとあのガキの釣りが見られますな
フフフ時間はあと三十分しかのこっていねえ……
これから釣ったところではたしてどれだけのことができるかな

よしっ 元気だなっ
このへんからせめるぞ


まず
一ぱつめ
は…

あの大石がポイントだ!!
そらきた!!

いっちょう
あがりっと
……
はやい
……!!
ホッ
ホッ
ホソ
オトリを入れて
ものの三十秒も
たたないうちに
たちまち
一ぴき
釣った……

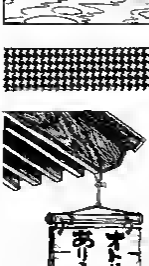
笑口釣りコーナー

「釣りキチ三平」はおもしろくてためになる漫画ですひとつ質問があります――鮎のトモ釣りをするとき オトリ鮎が必要たそうですがいちばんはじめのオトリ鮎はどうやってもとめるのでしょうか

長野県塩尻市 吉沢速人

答え(1)

漁業組合では釣り人のために養殖鮎や前日川で釣れた鮎などをオトリ鮎として売っているのでそこで買うことだ一ぴき五〇〇円ていどである

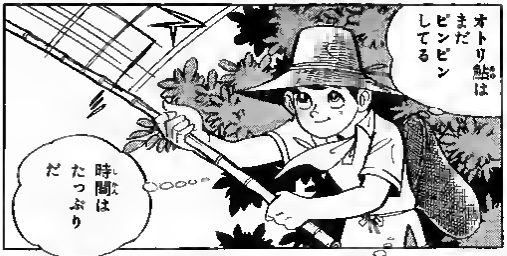


答え(2)

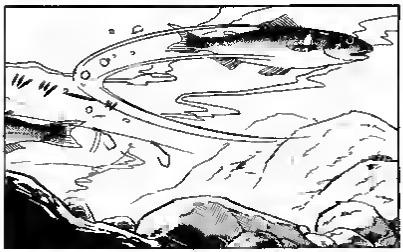
川ではやくかっきている釣り人にたのんでゆずってもらうことだからかならずゆずってくれるしんせつ ゆずってもらったらそうとうのお礼をすることだ

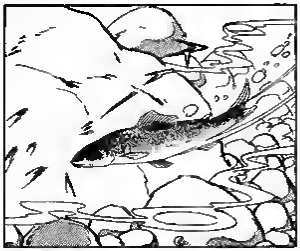
ホイッ
おき竿にきたなっ
へへへもうけたもうけた

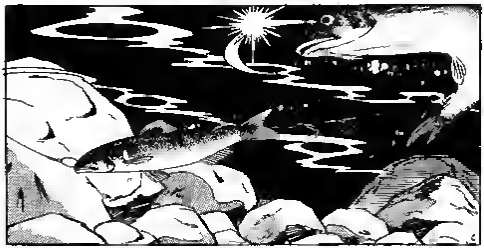
ひょっ
!!
とっ
とっ
とっ
イヨッ
釣れた鮎をオトリカンに入れているあいだにおいていた竿にかかってる…
そ そんなばかな
あ あれも作戦のうちか……!?
フフフ三平のやつ思ったとおりのことをやっとるわい
一平じいさんやってますねえ


オトリ鮎はまだピンピンしてる
時間はたっぷりだ

あの石はアカがよくついてる……





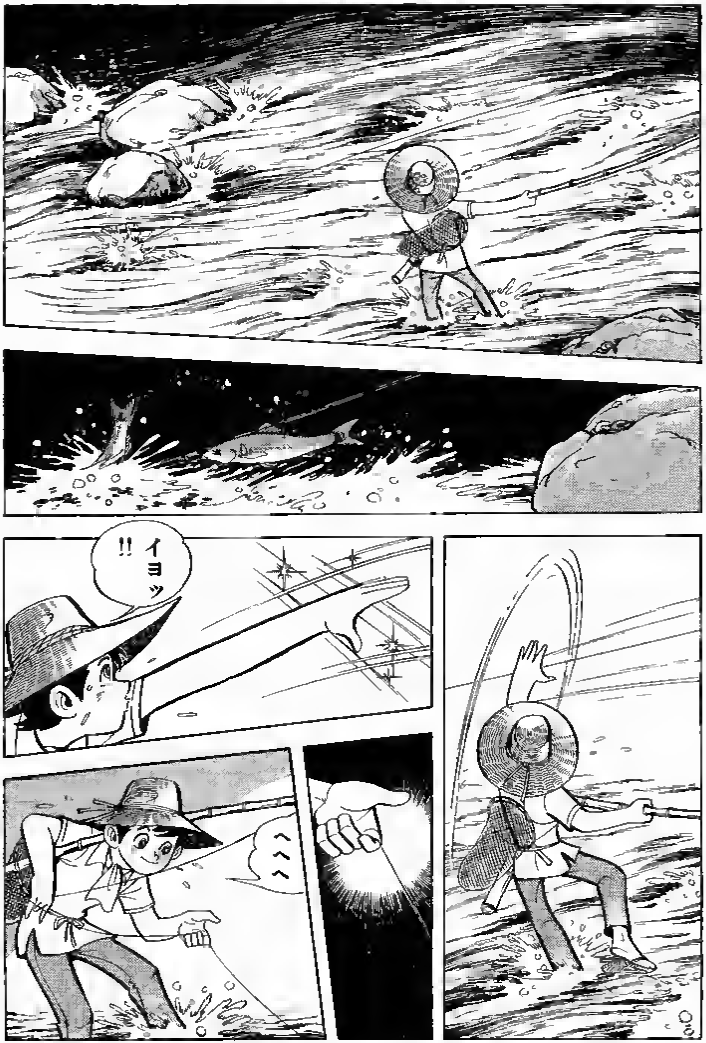


!?

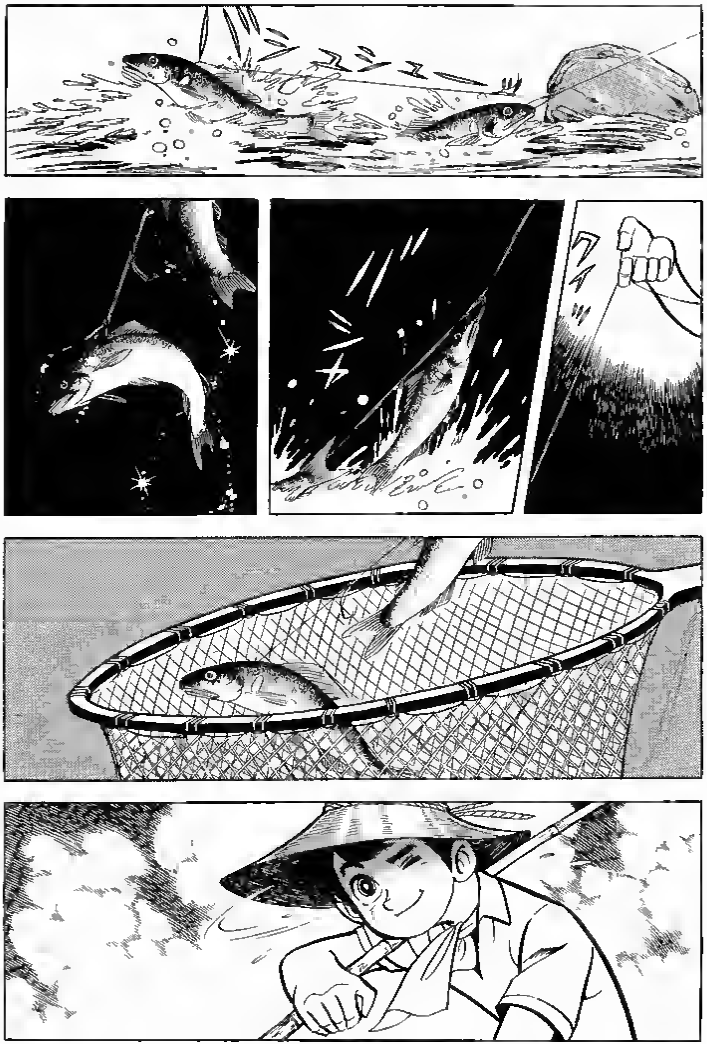
ホイッ
八びきめ
だーっ

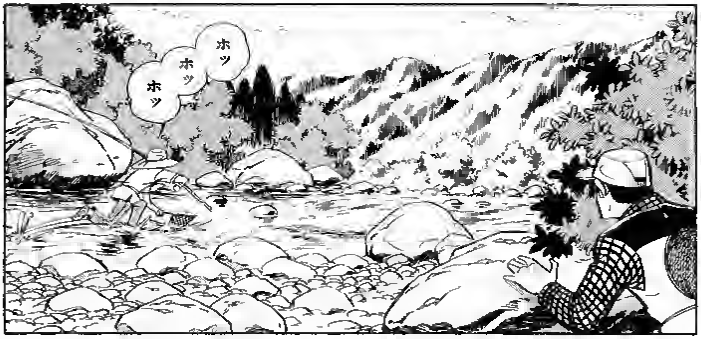
どうやら
水あびと
昼寝の
きまめが
でてきたようじゃ
のう・・・三平

ウヒョ〜〜〜ッ


!! イョッ
へへへ

ホイ
いいコちゃん
そんなに
あばれるで
ねえよ


ニュニュ
ニュ
フィ!!


ホッ
ホッ
ホッ

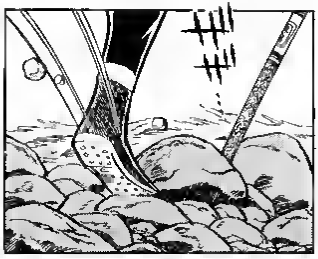
は…
八びきめを
釣った…
いまのを
釣るまでに
十分と
かかっちゃあ
いねえぜ

いや そうじゃねえ
あのガキの
動作を見ろ
オトリ鮎を
弱らせない
ために
細心の注意を
はらって
釣ってるぜ

そ それに
やつのオトリ鮎と
きたら
ちっとも
弱らねえで
ピンピン
してるぜ
そ そりゃあ
釣りはじめてから
まだ わずかの
時間しか たって
いないからじゃ
ないか

鮎ってやつはかかると下流にむかってどんどんひいていくもんだ
そいつをムリにひきよせようとすればものすごい水の抵抗がかかる
ハナカンをつけられたオトリ鮎が弱る原因はここにある
場合によってはかかり鮎の身が切れてはすれてしまうことさえある
あのガキはその水の抵抗を最小限にくいとめるために
自分みずからすごいはやさで下流へ移動している
なるほどそういえばふつうにあるいてもまるで鉛玉でもひきずってあるくような重い水の中を
ま まるで水すましみてえなすばしっこさで移動してる
やっぱりあのガキはただもんじゃねえ
釣り大会に優勝したのも実力で優勝したのかもしれん

おいっ うかうか 敵の釣るのを 見物してる 場合じゃ ねえぞ
うん おれは 十ぴきしか 釣ってねえから あと二ひきで 追いつかれて しまう
そ そうです はやく いって 釣ってください おれは見はりを してるから
おれだって 十二ひき だから やっとの差は 四ひきしか ねえ
これは ヤバイ
ま また かかった
イヨ ホーッ
うーむ いま四時四十二分 ……
はじめてから 十二分しか たってねえのに もう 九ひきめ とは……
ふしぎだ……!?
いかに オトリ鮎が 元気だからと いって どうして こんなに みじかい時間に 数おおく 釣れるんだろう……
ふしぎだ……
わからん……



どうだ
オトリ鮎の
ぐあいは
すこし
やすませたんで
だいぶ元気に
なってる

よーし
釣るぞ

あんなガキに
負けて
たまるか
…

クソオ

のこり時間はあと十五分……
あいつが一ぴき釣ったらこっちも一ぴき釣ってやる
それでこっちの勝ちさ……フフフ
サラ
サラ
ズガ
?

うっ
どうした？
ない
オトリ鮎がない!!
なんだと!?
クーーーッ
カッコつけてくわえタバコなんかするからだよ

フフフ
また
ひとり
脱落か
これで
三平の相手は
たった ひとりに
なってしもうた
わけだ

んだども
あいつの
オトリ鮎は
半分
死んでるだ
こりゃあ
勝ったも
どうぜん
です
一平じいさん
ウキキッ

そんただこと
あったりめえ
じゃねえか
だいいち
三平ちゃんが
負ける
はずがねえ

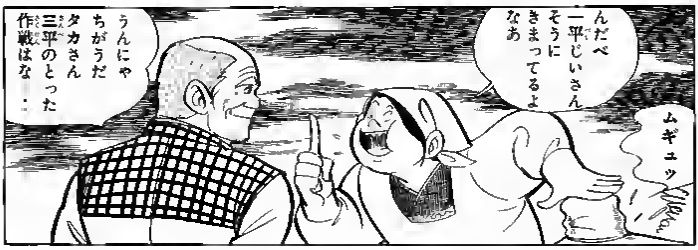
ホウ
また
かかり
おったな
十ぴきめ
か……

!! よよっっ
!! ヒョッ

いま 三平ちゃんが
釣ってる場所は
釣り大会で
さんざん
あらされた
ポイントの
はずだが
それが なして
あんなに
ガバガバ
釣れるべえ
しかし
一平じいさんよ
おらあ
さっきから
ふしぎに
思っとるだがよ
・・・

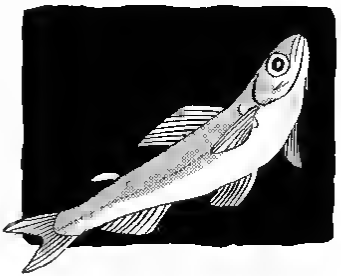
ホホーッ
なんど
おなごこと
聞いてるだ
あれは
三平ちゃんの
水あびと
昼寝作戦の
おかげだと
一平じいさんが
いってるてねえか
んだ・・・
水あびと昼寝の
おかげで
あんなに
うめえこと
釣れてるだ
ホレ
みろ!!

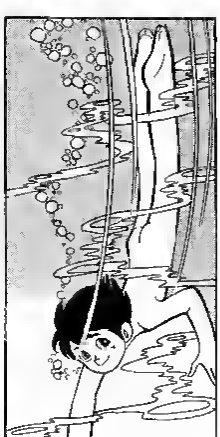
それが おら
わからねえだ
・・・なして
水あびして
昼寝すれば
鮎がガバガバ
釣れるだ
フーッ
目ン玉も
しょぼくれてる
けど
脳ミソも
しょぼくれて
けつかる
水あびして
からだを
きれいにし
昼寝して
やすんだから
よく 釣れるに
きまってるべ


ムギュッ
んだべ
一平じいさん
そうに
きまってるよ
なあ
うんにゃ
ちがうだ
タカさん
三平のとった
作戦はな・・・

三平のやつ
ゆっくりと
腹ごしらえ
したあとで
扁に
とびこんで
水あびば
はじめただ

オトリ鮎一ぴきしか
つかえない
この勝負に
勝つためには
オトリ鮎が
弱らないうちに
短時間で
数おおく釣る
ことだ……と
考えたに
ちげえねえ
そんため
二時間に
きめられた
制限時間の
最後の三十分を
全力で
釣ってるのだ





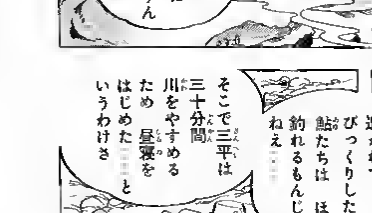
あの淵は
底が岩盤に
なってて
おいしいコケが
いっぱいついてる
だから
たくさんの鮎が
すみついて
いるんじゃ

三平は
その淵を
メチャクチャに
およぎまわって
そこにいる鮎に
おっぱらいを
かけたんじゃ

追われた鮎は
とうぜんながら
淵の上手の瀬に
逃げざるを
えめえ…

そして
瀬の底石に
身をかくすんじゃ！

三平の
水あび作戦により
淵の上手の瀬は
無数の鮎の群れが
すみつく結果と
なったが…
すぐ
サオをおろしても
追われて
びっくりした
鮎たちは
ほとんど
釣れるもんじゃ
ねえ…


そこで三平は
三十分間
川をやすめる
ため
昼寝を
はじめた…
というわけさ

一ぴき釣るのに二分とかからんはやさで釣りまくっているちゅうわけだ

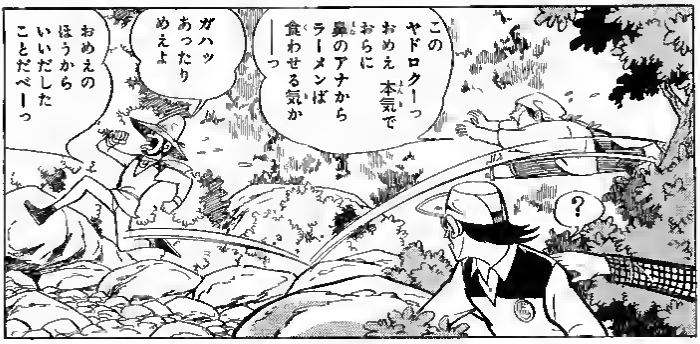
あとはごらんのとおりとびおきるやいなや

なるほどこれは理屈だな
さすが一平じいさんの孫だけのことはある

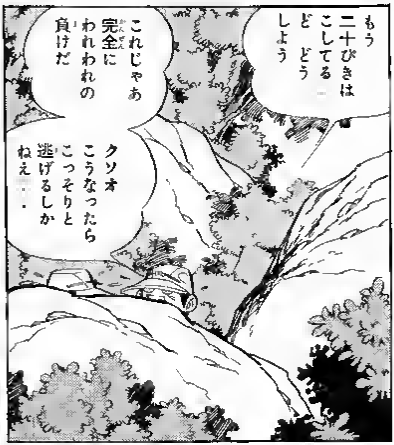
勝負あったな十六ぴきめか
安さんそろそろ家さいってラーメンでもつくってきたらどうでえ
ナヌ

ああまた釣れた

そういえば三平ちゃんが勝ったら鼻のアナからラーメン食ってみせるなんていった人がいたっけ


このヤドロクーっ
おめえ本気でおらに
鼻のアナからラーメンば
食わせる気か
――っ
ガハッ
あったり
めえよ
おめえの
ほうから
いいだした
ことだべーっ
?

おおい
あのガキ
いったい
どうなってる
んだ
わ わからん
と とにかく
すげえ


もう
二十ぴきは
こしてる
ど どう
しよう
これじゃあ
完全に
われわれの
負けだ
クソオ
こうなったら
こっそりと
逃げるしか
ねえ…

待ちやがれ〜〜〜っ
ガハハ 追いつけるもんなら追いついてみろて
そんただにくまれ口たたくなら地獄の底まで追っていくぞーっ
ホホーッ

あと五分で村役場の五時のサイレンがなる…
そのサイレンの音を合い図におれたちとあのガキの釣りくらべはおわることになってる

グズグズしてるヒマはねえ逃げるんならいまのうちだ
し しかしそれじゃあんまり……

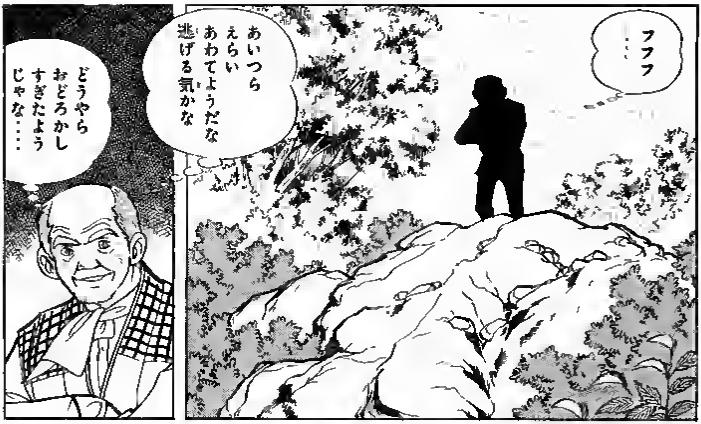
それをいうなって
もとはといえばあのガキの優勝が取り消しになればおれたちの仲間が五位入賞になるんでしくんだことじゃねえか

バカなにをいってるいまさらカッコつけてみたところで赤っぱじをかくのがせきのやまだ
だ だからおれはあんな子どもに挑戦するのはやめようっていったんだぜ

あの場合 男のメンツにかけても ひきさがれねえ 状態だったぜ
そ それはわかるけどままさかこんなことになるとはな
もうしゃべるなっ
おれのほうこそ目ン玉が とびだして腰がぬけるほど おどろいているんだ
あの三平三平とかぬかすガキの腕に……
おいっ!!
イヨーッあれから三びきも釣ったぞ
だからオトリ鮎はクタクタだあ
もう時間がほとんどのこってないがガキのほうはどんなもんだい
なになにのんきなことをいってる
やつはもう二十ぴきをこしてるぜ

な なんだと
そりゃあ
ほんとうか
もし二十分で
二十ひき以上
釣ったとなれば
一ひき釣るのに
一分三十秒と
かかっていない
ことになるぞ
そ そんな
バカな
ことが
あるのか
おれだって
信じられねえ
だが 現実に
この目で
見たんだ
おそろしい
ガキだ
おれが十三ひき
おめえが
十二ひき
メガネが六ひき
完全に
負けだな
しゃくだが
こうなった以上
ぐずぐずしてる
ヒマはねえ
はやいとこ
ズラかろう
そうだな
こんなこっちゃあ
どのツラさげても
あのガキや
オイボレに
あわす顔が
ねえ!!
ひきょうと
いわれようが
しかたねえ
こった
おーい
はやく
はやく

ウ
五時のサイレンだ
やつらに見つからんようにはやくしろっ


フフフ……
あいつらえらいあわてようだな逃げる気かな
どうやらおどろかしすぎたようじゃな……

じゃが逃げたところでそれですむってもんでもねえで
この決着をどうつけるかな三平……

おーい待ってくれよーっ
バーカでっけえ声を出すなっ!!

おれたちは
いま あいつらに
気づかれない
うちに
ズラかろうと
してるんだぞ
それなのに
大声を出す
バカがあるかっ

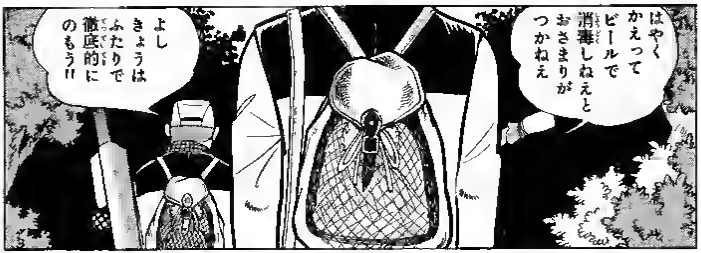
す すまん
でも
おめえたちが
どんどん
さきに
いっちまう
もんだから
ついつい…

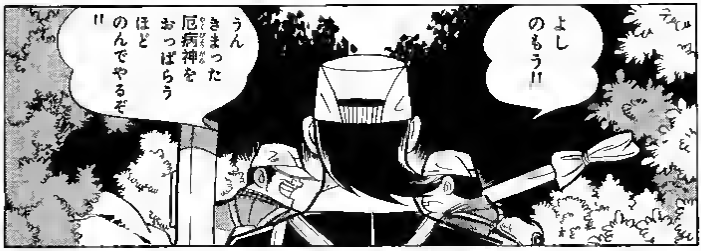
なーにいうだ
おめえが
ノロマだから
じゃねえか
まったく
あきれ
けえった
やつだよ
おめえって
やつは…

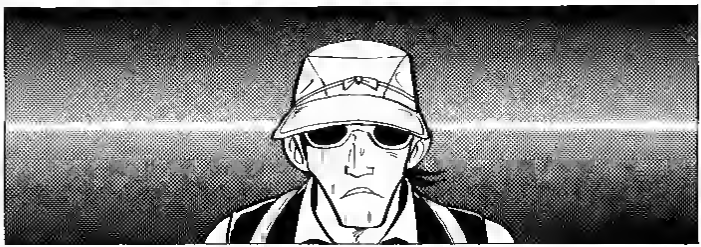
バカのマヌケの
オソチョコチョイ
でおまけにノロマときている
腕が
未熟なため
ロクに
釣れんのは
いいとしても
われわれの
じゃまになる
ことばっかり
してけつかる

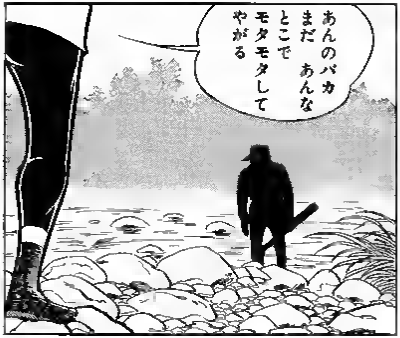
こんごも
こんな
足手まといに
なるようだと
おめえと
いっしょに
釣りをやるのも
考えもんだ

あいさ
せっかくの
たのしい釣りにきて
ハラクソわるくして
かえることも
ねえよな
まったく
もう…
最後の最後に
きて ケッタクソ
わるいて!!


はやく
かえって
ビールで
消毒しねえと
おさまりが
つかねえ
よし
きょうは
ふたりで
徹底的に
のもう!!


よし
のもう!!
うん
きまった
厄病神を
おっぱらう
ほど
のんでやるぞ
!!




あんのバカ
まだ あんな
とこで
モタモタして
やがる

ン!?

なーに
してるだ!!
はやくこい!!
日が
くれちまうぞ
バーカ

どうした
フフフ
なんだそのツラは
おだやかじゃねえな
おだやかなツラでなくてわるかったな……
おいおめえなんかあったのか

バカの
マヌケの
オッチョコ
チョイの
ノロマの
厄病神で
わるかった
なっ

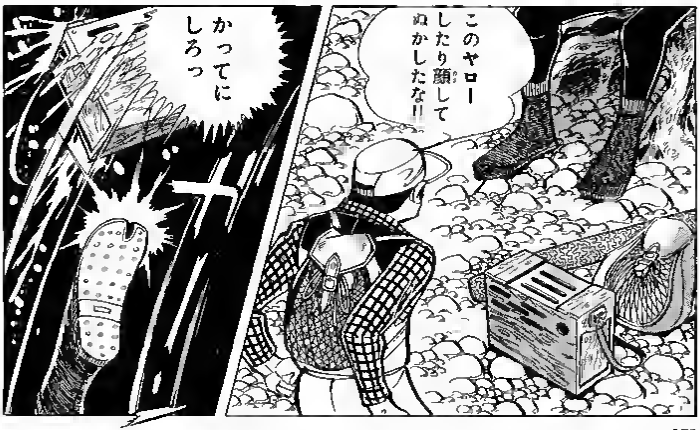
そんなに
おれが
じゃまなら
釣り仲間から
はずしても
いいよ
へつに
おめえたちの仲間に
ならなくたって
釣り場がなくなる
わけでもあるめえ
ニヤニヤ
おれなんかに
かまわずに
とっとと
逃げかえっ
たら
どうだい

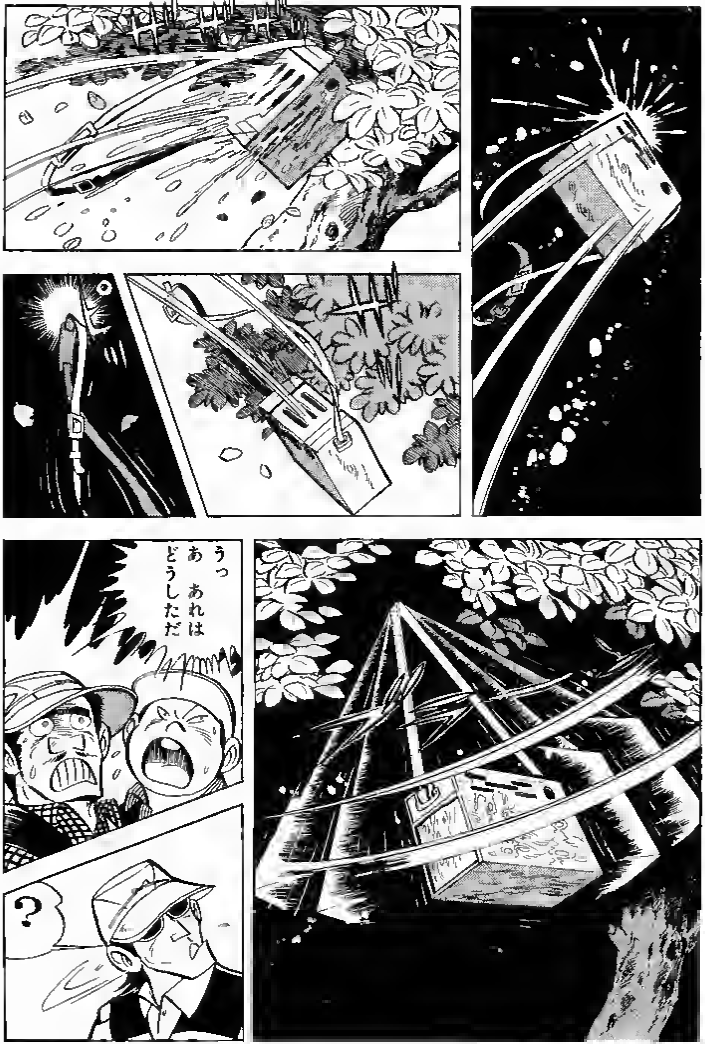
おい
いきなり
なんてことを
いうんだ

大のおとなが
子どもに挑戦して
見るも無残に
負けて
負けた
はらいせに
仲間を
クソミソに
なじって
……
そんなヤツらと
つきあうのは
こっちのほうから
ねがいさげだ

おい
おれたちは
なにも
そんな
つもりで
・・・
そうだ
ちょっと
いいすぎた
きらいは
あるが
・・・
虫のいどころが
わるかった
んだ
さあ
きげんなおして
いっしょに
かえろう

よくも まあ
そう調子よく
コロコロ
かわるもんだ
なあ
まあ
おれのことは
かまわねえで
さっさと
かえったほうが
いいて・・・
負け犬の
ように
ノコノコとな
おれは そんな
ひきょうな
マネは
したくねえ・・・
これから
ひきかえして
一平じいさんと
三平くんに会って
すなおに敗北を
みとめるつもりだ


このヤロー
したり顔して
ぬかしたな!!
かってに
しろっ


うっ
あ あれは
どうしただ
?

おおめえはっ!!
三平くん!!
へへへへ……

いかん
あのガキだっ
はやく
はやく
ズラかれ
おう
フフフ
逃げる気
だな!!

車に乗ったらメガネのヤツなんかにかまわずに走るぞっ
おう
うっ

釣りばりで
ぼうしを
ひっかけた

す
すまねえ
おれ
たちは
そそのう

おじさんたち
仲間われしたり
人との約束を
やぶったり
するのは
よく
ねえだ

おら
約束の
時間内に
二十四ひき
釣っただが
おじさんたちは
なんびき釣っただ

さ 三平くん すまん
おれは 六ぴきで
あとは 十三ぴきと 十二ひきだ
あぢ

ほんじゃ おらの勝ちだな…

は はあ おれたちの完敗です
おらが勝ったときの条件があったはずだが
なんだっけかな…

ウウッ
に 二度と
二度とこの川にくるな
…だ

おかしいな…
おら そんな条件をつけたおぼえはねえぞ
おじさんたち 聞きちがいをしたんじゃねえか？

そ そうです われわれが負けたときは二度とこの川で釣りをしない約束でした
ン？

ううう
そ
そんな

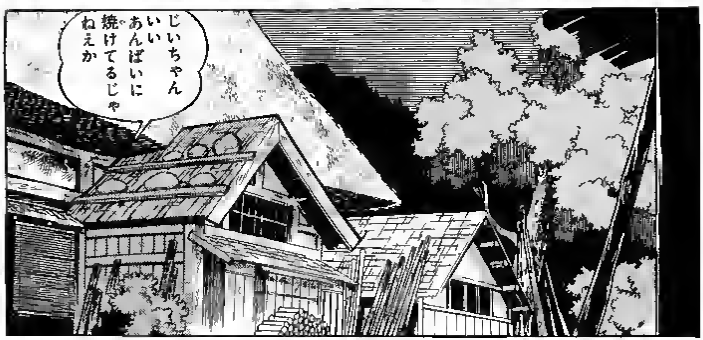
おらの条件は
・・たしか
この川で
釣りをするときは
おたがいに
ゆずりあって
なかよく
たのしい釣りを
すること・・
だった
はずだがな

おちつけ!
そんな
むちゃな条件を
三平が出す
わけが
ねえ!!

さ 三平くん
勝ったのをいいことに
そんな おとなを
からかうようなことを
いっちゃあ
いけねえぜ
二度とこの川に
くるな!!
これが条件だった
ざんねんだが
約束は約束だ

おじさんたち
きょうは
たのしかったよ
せっかく
釣り友だちに
なったんだ
おらの家さ
あそびにこ

川は釣り人みんなの
ものじゃから
おたがいに
ゆずりあって
なかよくたのしく
釣りをすること
じゃ・・
それで
文句は
あるめえ


じいちゃん
いい
あんばいに
焼けてるじゃ
ねえか

ジュー

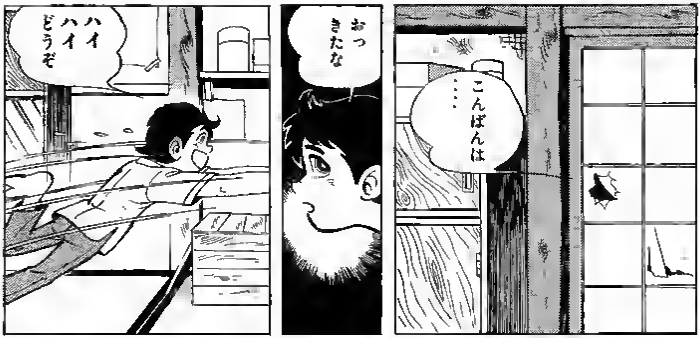
ウ～～～ン
いいにおい
じゃ・・・

じいちゃん
つまみ食い
なんか
しちゃ
ずるいぞ

もう
すっかり
準備ができた
というのに
みんな
おそいなあ
ハハハ
そんなに
あわてるな
もうじき
くるさ

こいつて
グイッと
・・・か
たのしみ
だなあ
フフフ

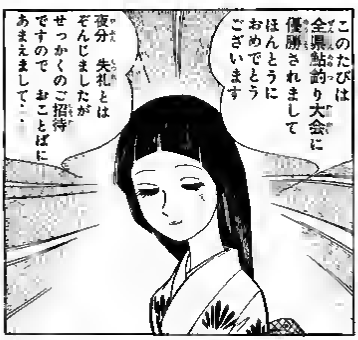
ジュースで
やるん
じやぞ
おめえは


こんばんは……
おっきたな
ハイハイどうぞ

ガラガラ

三平さん
おひさしぶりでございます

ン!?
おひさしぶり……?


このたびは全県鮎釣り大会に優勝されましてほんとうにおめでとうございます
失礼とは存じましたがせっかくのご招待ですのでおことばにあまえまして……

ハテ!?
いまだ見たこともないような顔であり
しょっちゅう見てるような顔でもあるなあ
三ちゃんなーにねぼけているだ
おらだよ
ン!?
なーんだとなりのユリッペかあんましバリソとめかしこんでるもんだからおら てっきり人ちがいだと思っただ
それにようとなりどうしでしょっちゅうツラあわせているくせしておひさしぶりだなんてケヘヘッ
ンマア!!

そうそう それで ユリッペらしいじゃねえか・・あんまし つかいつけねえ ことばを しゃべるから 調子がくるうのさ

まあ いつもの 調子で ドタバタと あがれや

ゴゥ

イ〜〜〜ッだ せっかく お祝いにきて あげたのに

一平じいさん こんばんは

ホ——イテ くくくくっ

おう ユリちゃんか よくきて くれた

マア 鮎の 塩焼きね・・ おいしそう だわ

矢口釣りコーナー

今回の釣りコーナーは鮎の食べかたについてだ

(一)塩焼き

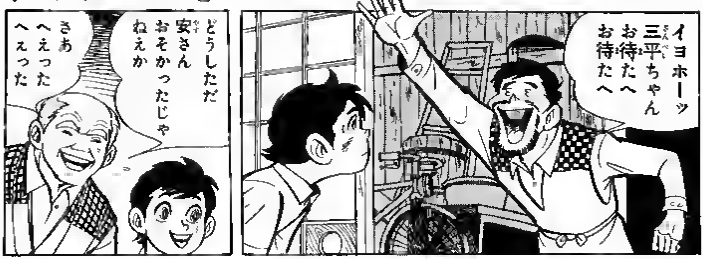
なんかって鮎を一ぴきまるごと塩をつけて焼いたのが最高だ!! これでつめたいビールなんかやったらウヒョ〜〜〜ノたまらん!!

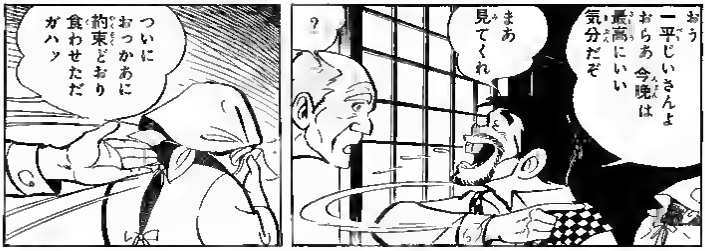
(二)味噌でんがく

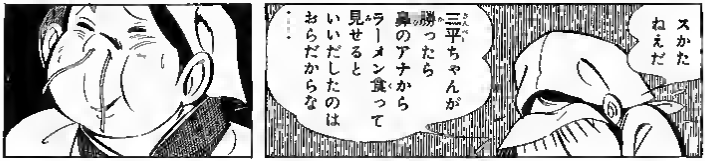
こいつもわるくはないが味噌のにおいで鮎のかおりが消されるきらいがあるな・・・

(三)青竹焼き

青竹の筒に塩と酢を入れてその中に生きたままの鮎を入れ竹筒ごと焼く これは釣りキチどもが川原でやる方法だがおいしさグンバツだぞ


イヨホーッ
三平ちゃん
お待たへ
お待たへ
どうしただ
安さん
おそかったじゃ
ねえか
さあ
へえった
へえった


おう
一平じいさんよ
おらあ 今晩は
最高にいい
気分だぞ
まあ
見てくれ
ついに
おっかあに
約束どおり
食わせただ
ガハハ


スかた
ねえだ
三平ちゃんが
勝ったら
鼻のアナから
ラーメン食って
見せると
いいだしたのは
おらだからな
……

(四)おすいもの
コアユ(小さい鮎)の
うちは シラウオと
おなじようにして
おすいものを
つくると
かなり イケるぜ
(五)鮎ずし
サバずしなどのように
鮎をつかったおすしだが
けっこう オツな味がするんだ
まあ
塩焼きでも
なんでも
鮎を焼くときは
腹わたを
とらないで
焼くことだ
(六)鮎の腹わたの塩辛
腹わたを
とっちまったら
味が半分おちて
しまうからな
こいつは とにかく かなり高級な食べもの
のだ 味はホロニガくて とくに お酒の
サカナとしては極上品だ ウイ～～ノ
BACHI

この夜 三平の家では
鮎釣り大会の
優勝と準優勝を
祝って ささやかな
宴がもたれた

三平ちゃん
一平じいさんの
優勝と準優勝を
祝して
カン
パーイ
ゴクゴクゴク
ハーハーハー
ゴクゴクゴク
ウップ

ウ〜〜ッ
こいつで
のんだら
えれえ
気分に
なったぜ
フーッ
まったく
じゃ
じゃが三平
じいちゃんも
来年は
きっと勝って
みせるぞ
なーにいうだ
じいちゃん
こいつは 来年も
おらのもんさ
ぜったい
だれにも
わたさねえて
へへへ ヒック
三ちゃん
どうしたの
いちいち
うるせえな
ユリッペ
なにさ
子どもの
くせに
でかい口を
たたいて
子ども
子どもって
いうけどな
ユリッペ
おめえだって
子どもじゃ
ねえか
おらより
二つしか年上で
ねえべ
ユリッペも
三平ちゃんも
ケンカは
やめろて
人一倍
なかよしの
くせして
ツラあわせれば
イガミあって
けつかる‥
だって

ところでよ
一平じいさん
例のイチャモン
つけた三人組は
あれから
どうしただ

へへへ

ホウ
昔から
釣りキチに
悪人はいねえと
よくいうだが
まったくだな

フフフ
あいつらか
ジックリ
話しあって
みれば なかなか
にくめねえ
人のいい
れんじゅう
だった…

三平のとった
水あびと昼寝作戦の
手のうちをあかしたら
びっくらこいて
かえっていっただ

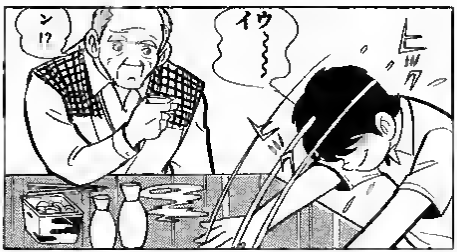
それだば
目ン玉とびだす
ぐれえ びっくら
こいてたべ
いい
気味だ
ガハハ
うめえのう
あぶりたての
鮎は

おらも
ごちそうに
なるだ

ン～～～ん
いいにおいだ
これ
三ちゃんが
釣ったんじゃ
ねえかな

おう
そのでかいのは
まちがいなく
三平が釣った
もんじゃ
うわあ
うれしい
わあ
おめえ
三平ちゃん
がすきなんだべ

ガヒッ
ハハハ
親の出る
幕で
ねえな
ケヘヘ


ンマあ
おいしい
わあ
イウ〜〜〜
ン!?

あら
三ちゃん
どうしたの

あらよっ
三ちゃん
うっ このにおい
三平のやつ わしの目をごまかして酒をのんだな、、
こりゃあいかん 完全によっぱらってるぜ
三ちゃん
あらよう あらよっと 目がまわる
マルツーのトラックはキイロイよっトウガラシとコシマキあマッカッカ
ユリッペのおしりもマッカッカ
ンマア
矢口高雄のバチヘビはケッサクだあ

あーあ
よっぱらった
あげく
寝ちまった
わい
ユリちゃん
そんなもん
かまわねえで
寝っころがして
おけ
だって

三ちゃん
苦しく
ねえか
ウ〜〜〜イ
ムニャ
ムニャ
三ちゃんの
かわいい顔が
蚊に食われねえ
ように うちわで
あおいであげる
わ フフフ

ユリちゃんは
まったく
気だての
いい子じゃて
おめえたちの
子どもとは
思えんな…
トンビが
鷹を
生んだとは
このことじゃ

だれかきたんでねえか
!?
だれだべこんな夜中にくるなんて
よいしょっと
ガラガラ
なんだおめえたちか
まだかえらないでいたのか
ケヘヘヘ
おばんでやす
こ こいつらまーたイチャモンつけにきたんだな
かえれかえれっ

とんでもねえ
そ そんなつもりできたんじゃねえだ
そ そうですおれたちは三平くんにひとことお祝いのことばをのべたくてとちゅうからひっかえしてきただ
そうかそれはありがてえ
まどうぞあがってくだされ
はあ ではえんりょなく…
これはおれたちのささやかなお祝いとおわびのしるしです
どうぞおおさめくださいい

これは
これは
ありがとう
おい
おめえたち
こっちさきて
グーッと
いっぱい
やってくれ
頭
ハア
ありがとう
ございます
ところで
三平くんの
すがたが
見えん
ようですが
ハハハ
祝い酒に
よっぱ
らって
ホレ
あのとおり
ですよ
こんばんは
・・・・
寝て
しまったん
ですか
ざん
ねんだ
なあ
・・・
いえね
おれたちは
釣りの天才児
三平くんに
うってつけの
ニュースを
もってきたん
ですよ

われわれは
その天才児
三平三平くんに
ぜひとも
アタックして
もらいたい
魚が
あるのです

!!
ほう
そりゃまた
なんじゃな

青鯰です
青鯰
!?
チリーン
チリーン

ここに地図がありますが
M町より約二十キロのところに見沼という沼があります
この沼は大昔に火山の爆発したところに水がたまってできた沼で
いってみれば小型のカルデラ湖ですが…
地元の人びとの話によるとこの沼に全身が青味をおびた正体不明の鮒がすんでいて青鮒とよばれているんです
もちろん青鮒というのは土地のよび名で正式のよび名ではありませんがなにしろ釣りあげて現物を確認した人はひとりもいないのです
われわれもその正体をあばこうとなんども挑戦してみたんですが…だめでした
なるほどカルデラ湖にすむ青鮒か
ナゾの鮒じゃな

おじさんたち
その話
なかなか
おもしろそう
じゃねえか…
!?
三平くん
さ 三平
おめえ
寝てると
思ってたに
聞いて
いたのか
フフフ…
カルデラの
青銅だって
な…
フフフ
水のプリンセスの巻　おわり

■ボクの「釣り漫画」

その数千五百万人とも、二千万人ともいわれる釣りブームの昨今である。さらに、釣りをしたいという願望をもっている、いわゆる潜在的釣り人口を加えると、その数はたいへんなものになるだろう。

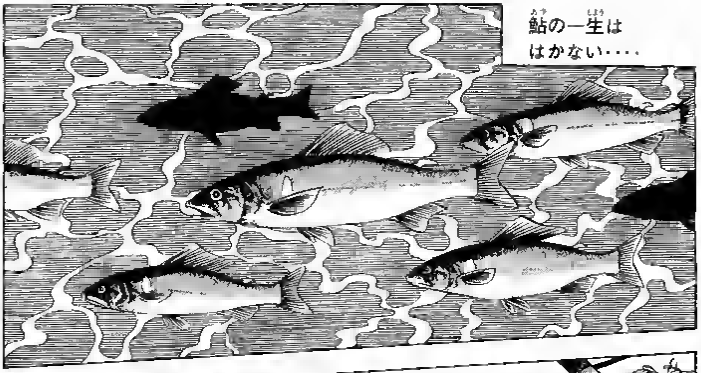
ボクが「釣りキチ三平」や「釣りバカたち」などの釣りをテーマとした漫画を描くようになった動機は、べつにこうしたブームに便乗したものではなく、ボク自身がガキのころからスーパー釣りキチであり、ウルトラ釣りバカであったからにほかならない。

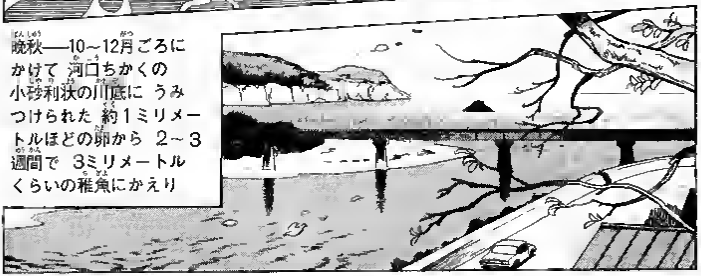
これまで、映画やテレビ、あるいは漫画などにも釣りのシーンがしばしばあつかわれてきた。しかしボクは、これらのシーンに多くの不満をいだいていた。それは、釣りといえば、きまって水面に浮かんだウキをノンビリながめる……といった、常識的で観念的なあつかいでしかなかったからだ。

ボクは、これらの不満を解消するため、自らの釣り体験をとおし、釣りのホンモノの姿と、人間ドラマを、リアルにドッキングさせてみたいと考えた。こうして描きだしたのがボクの「釣り漫画」だったのである。

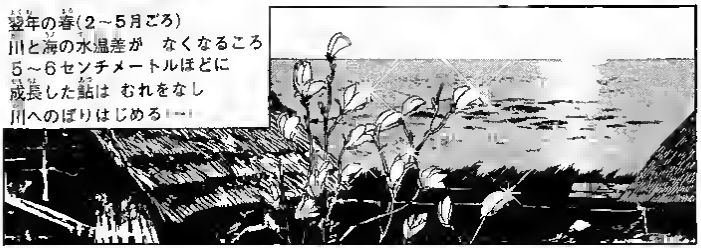
ゴロ引きゴンベの巻

釣り三平
さんぺい

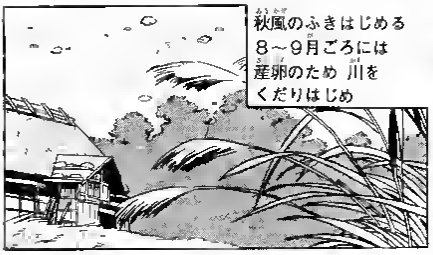

鮎の一生は
はかない・・・・


晩秋――10～12月ごろに
かけて 河口ちかくの
小砂利状の川底に うみ
つけられた 約1ミリメー
トルほどの卵から 2～3
週間で 3ミリメートル
くらいの稚魚にかえり

川よりも水温のたかい
海へくだって 冬をすごす


翌年の春(2～5月ごろ)
川と海の水温差が なくなるころ
5～6センチメートルほどに
成長した鮎は むれをなし
川へのぼりはじめる!!

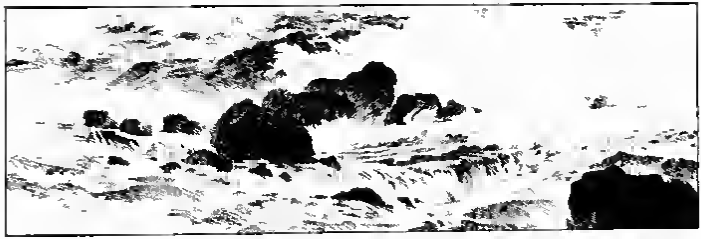
理学博士 谷崎鯖海さんの研究によると
川の水温が 16度C のとき 時速6キロメートルのはやさで のぼり
この時期の鮎は "のぼり鮎"とよばれ 水面にうかぶ昆虫や 水中の川虫などを 食べながら いきおいよく 上流へ上流へと のぼりつづけ
17度Cになると のぼるのをやめて 食性も 川底の石についた ケイ藻・ラン藻類などの水藻を 食べるようになる
鮎が ほかの魚と もっともちがった 特異なる習性である "なわばり"を形成するのが この時期(5～7月)である
鮎のトモ釣りは この習性を利用して オトリ鮎をつかっ 釣る釣りかたである
なわばりの習性とは 鮎のエサである 水藻が たくさんついている石を 中心に 自分の領域をきめて ほかの鮎が 侵入してきた ばあい 体あたりをくわせ おいはらう習性である
こら――っ ここはオレのなわばりだぞ――っ
うひゃ～～っ



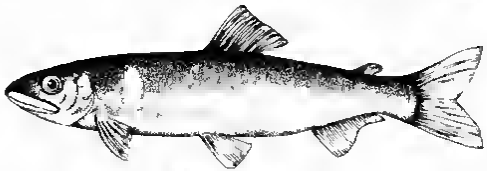
秋風のふきはじめる
8～9月ごろには
産卵のため 川を
くだりはじめ

成魚となった鮎(15
～25センチメートル)
は ひと夏 清流で
くらし やがて

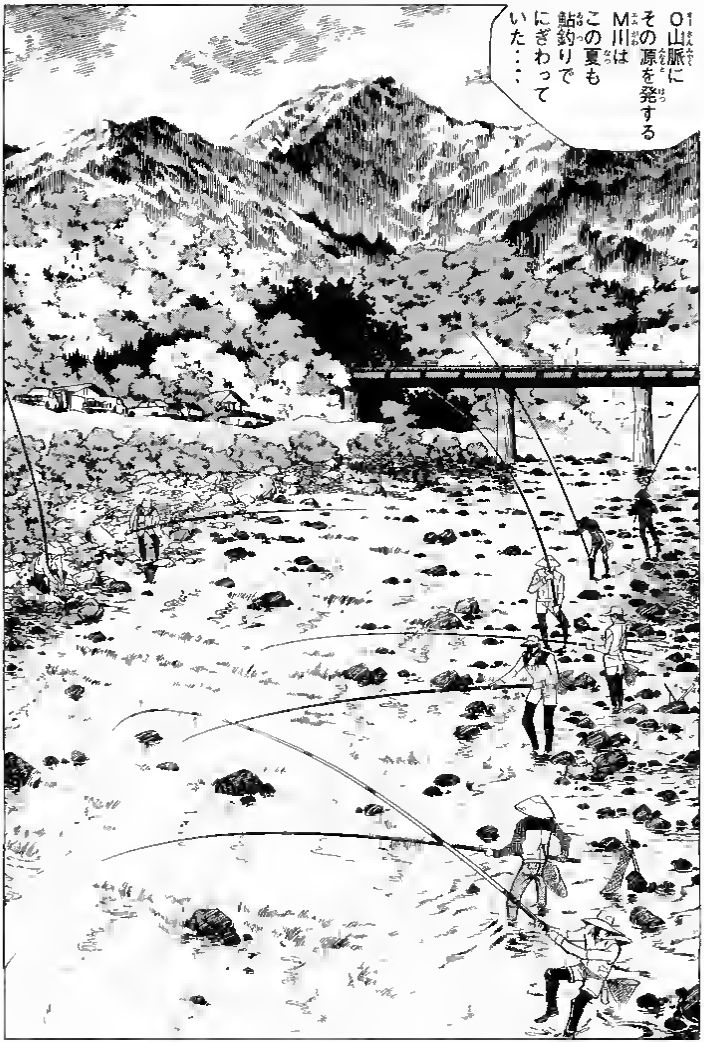
河口ちかくの
小砂利状の川底に
卵をうんで
その一生をおわる



鮎は その一生が
1年かぎりであること
から またの名を
"年魚"とも よばれて
いる



鮎は むかしより夏の風物詩として愛され
また そのかぐわしい香りから"香魚"と
よばれて あおくの人々に賞味されてきた。

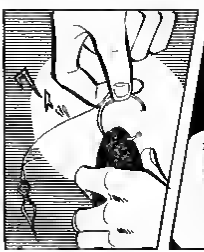

O山脈に
その源を発する
M川は
この夏も
鮎釣りで
にぎわって
いた……

オトリ鮎をつけるときにはまずこうやって…

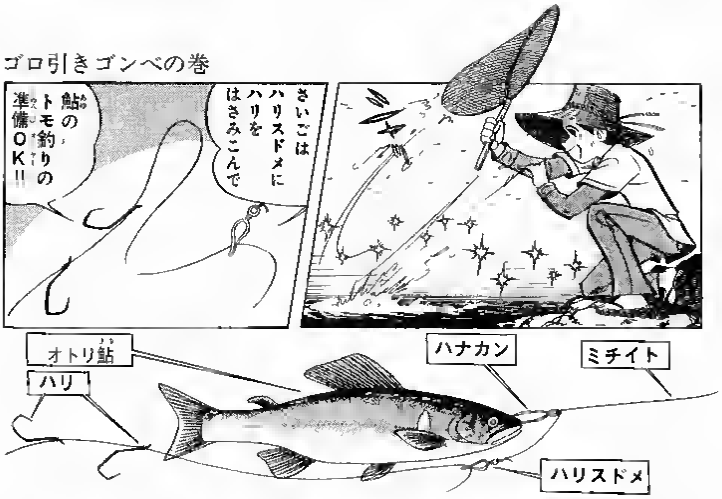
手を水でひたして手のぬくみをとってから

かるーく親指と人さし指で目かくしするようににぎるんだ
そうすりゃあオトリ鮎がよわらねえ

そんでもってこのハナカンを…



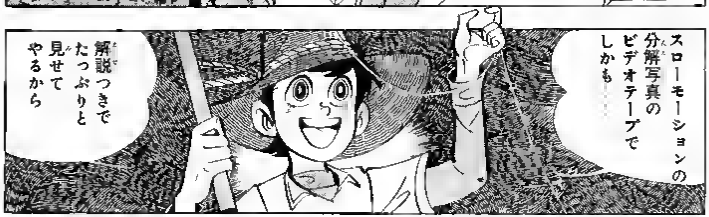
オーットトトトなかなかいきのいいオトリだぞ


さいごは
ハリスドメに
ハリを
はさみこんで
鮎の
トモ釣りの
準備OK!!
オトリ鮎
ハリ
ハナカン
ミチイト
ハリスドメ

あとは
このオトリ鮎を
うめえこと
ポイントさ いれて
およが
せれば
いいのさ!!
ところで
おねえちゃん
どっから
きたんだ
どうも
そのことばの
あんべえだと
東京だべ

フフフッ
まあそんなとこよ……
それよりもはやく一ぴき釣ってみせて!!

そんただあわてなさんなって
生まれてはじめて鮎のトモ釣りを見る東京のおねえちゃんならば


スローモーションの分解写真のビデオテープでしかも……
解説つきでたっぷりと見せてやるから

ンマア
子どものくせにナマいっちゃって……

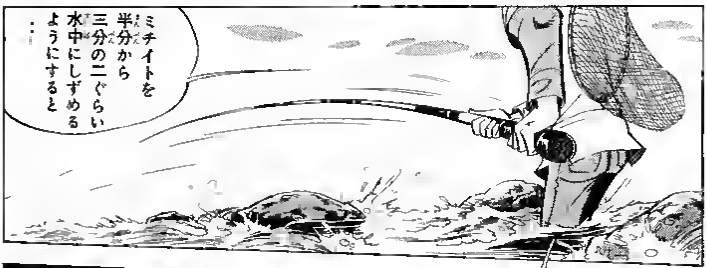
オヨヨ〜〜

でもそこがとってもかわいくってよ……

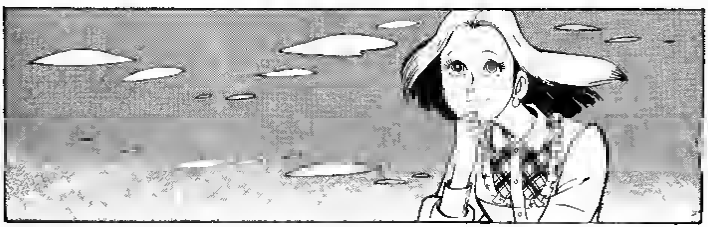
バハ

いいけえ
こうやって
竿を立てて
鮎の鼻ノツラを
水面さ 出すように
しながら
……
流れさ のせて
ポイントへ
おくりこんで
やるんだ

そんでもって
立てた竿を
横に ねかせて

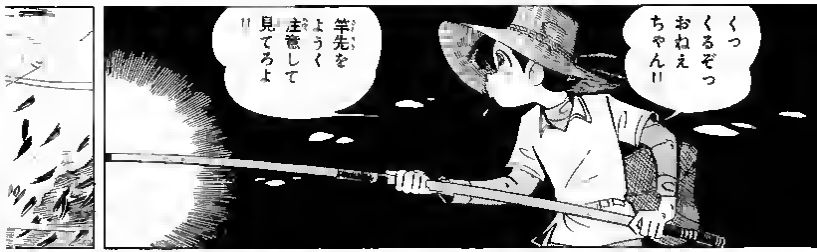

ミチイトを
半分から
三分の二ぐらい
水中にしずめる
ようにすると
……

オトリ鮎が
川底の
ちょうどいい
あんべぇの
ところを
およぐんだ

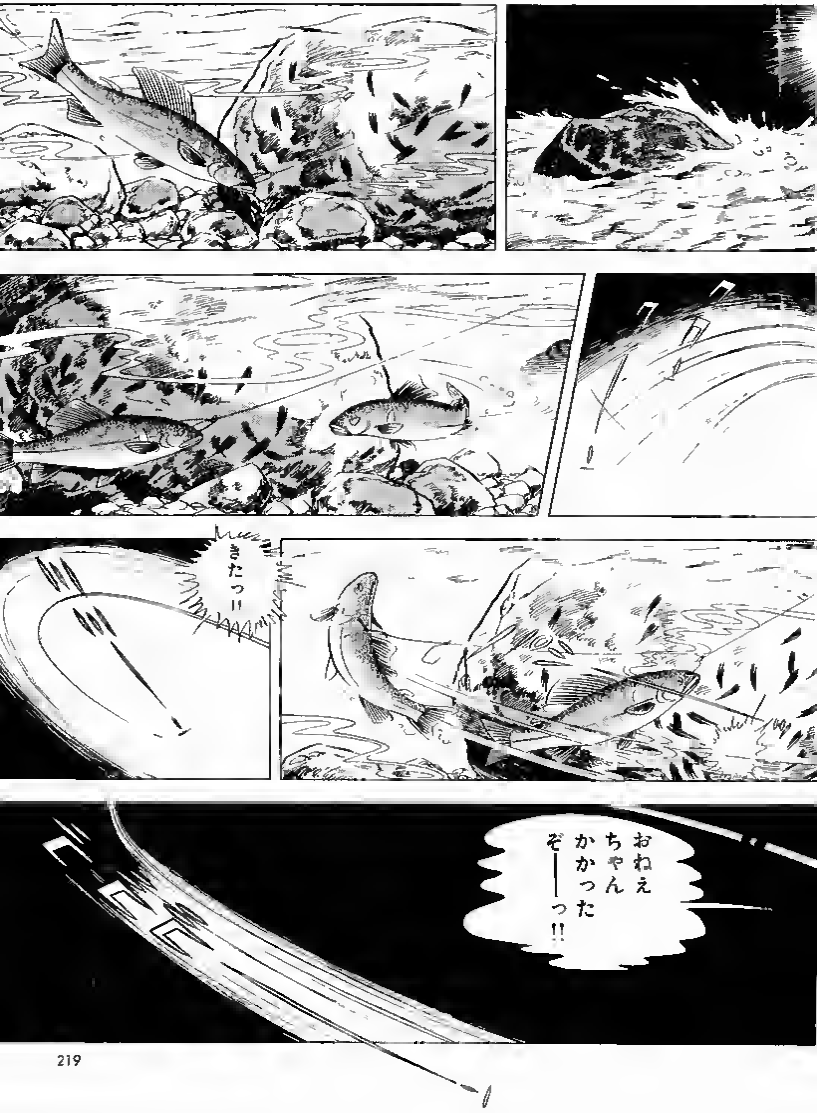


もしあの大石のポイントに
なわばりをもった鮎がすみついていればたちまちオトリ鮎につっかかってくるはずだ

ンッ!?
おねえちゃん見ろ!! 竿の穂先が前後にうごきだしたべ
ということはあの大石になわばりをもつ鮎がオトリ鮎の侵入に気づいておっぱらいにかかってる証拠だっ!!


くっくるぞっおねえちゃん!!
竿先をようく注意して見てろよ!!

ああっ
そーれ見ろかかったぞ!!

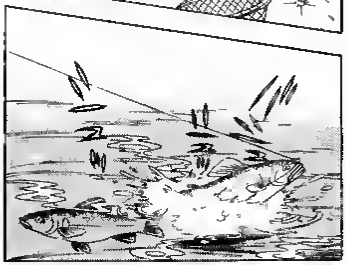

きたっ!!
おねえちゃん
かかったぞ――っ!!

ワッ!!
ホント
ひいてる
ひいてる
!!
おねえちゃん
あわてるなって
ここまでは
あんがい
かんたんだが
かかって
からとりこみ
までがたいせつ
ところなんだ
鮎かけバリは
かえしのない
ハリだから
矢島型
糸をゆるめると
バレるし
ひっぱりすぎると
身がきれて
にげられて
しまう
糸をゆるめず
ひきすぎず
……
かかった位置に
竿先を
のこすような
気持ちで
自分のほうから下流に
くだっていくんだ……

ヤッコラショッ……と
竿をかついで

ミチイトをつかみ

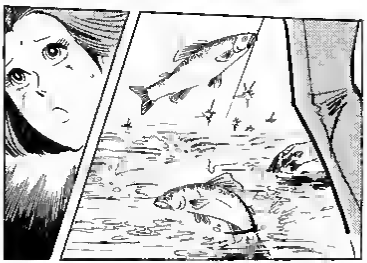
そんでもって
波のよわい
岸のほうさ
よせて
きて



しずかに
手もとに
たぐりよせ
……

ホイッ
!!

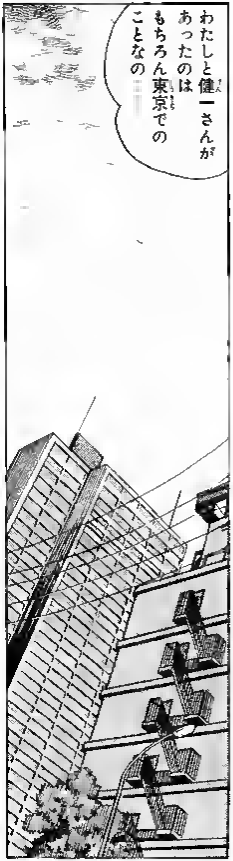
すばやく
玉網を
とって



おねえちゃ――ん
わっ!!
おっじょうず!!

なあに
二 三個は
いつも
おおめに
にぎって
きてるから
えんりょは
いらねえ
食った
食った
アラ!
なかに
ウメボシが
ウン
おらあ
夏のあいだは
ウメボシを
毎日 食って
いるんだ
こいつさえ
食ってれば
食あたり
しねえで
すむからな
ヒ〜〜ッ
スッパ
ホホホホ
ちゅーん
そんでよう
その 健一さん
とか いう人は
この川ぞいの
村の人だ
ちゅうのけ!!
モグ
モグ
ひょっと
したら
その
健一さん
おねえ
ちゃんの
コレ
だべえ!!
んまあ

カ――ッ
見――ちゃった
見――ちゃった
マノカなツラを
見――ちゃった
そうけえ
いとしい彼を
たずねて
わざわざ
東京から
きたって
わけかあ
ア～～～ッ
やけるう!!
健一さんって
いう人も
きっと
いい男
だろうなあ
おねえちゃん
みてえな
ペッピンさんに
すきに
なられるん
だからなあ
ヒソ
どうした
おねえ
ちゃん?
でも
その人
死んじ
じゃった
の
エエッ


わたしと健一さんがあったのはもちろん東京でのことなの

健一さんはいなかから出てきて東京の大学で勉強中だったしわたしも おなじ大学で 彼の 二年後輩だったわ
地方出身の健一さんは口かずもすくなくすべてにひかえめなかたで……

それでいてとてもしっかりした かんがえと行動力をもっていたの
わたしはひとめですきになった

やがてふたりは自分たちの将来のことなどかたりあううちに……

いつしかおたがいに愛しあうようになり……

結婚をちかいあうようになったのです!!

心臓マヒだったそうなの！
春休みにいなかへかえって裏山へでたとき発作が…
散歩にきゅうに
ちかいうちにかならず わたしを両親にあわせるから…
といっていたのに…
ンマアごめんね
こんなことはじめてあった
三平くんにべらべらとしゃべったりしちゃって…
でもね わたしどうしても健一さんのそだった村や山や川をこの目で見
健一さんのお墓にお花でもおそなえしたいと思って
ヘエーッほんじゃあこのあたりさきたのははじめてけえ…
こうして川の景色をながめているとはじめてきたところのような気がしないわ…
ええ…
でも この川のことは健一さんからよくきかされていたから

ン!?
アラなにかしら……!?
そりゃーっ
トトトトトーッ
どいたどいたどいたーっ!
クッ
釣りのれんじゅうどけっどけーっ
クソオ!!
ちくしょうめ!!

ホッ
ホ――ッ
ムヒョッ
!!
ガッハ――ッ
そりゃ――っ
どんどん
いけ――っ

そりゃーーっ
ナッ
もっと
しっかり
ひかん
けえーっ
オウッ
!!
クソオ
こいつら
川を
自分の
もん
みてえな
ツラして
けつかる
そりゃーっ
!!

ンマア
おもしろいわ
ねえ 網で
どんどん
すくいとってる
わ!!

お魚は
鮎じゃないの
なんという
やりかた
かしら……!?

ゴロ引き
さ……

ゴロ引き
……!?

うん
むかしから
この川に
つたわる
鮎漁の
一種なんだ

川巾くらいの
長さの縄を
十数本たばね
石のおもりと
キラキラ光る
カンズメの
アキカンや
ヤナギの葉を
むすびつけ

両はしを
もって
川底を
引きながら
あるくんだ

鮎たちは そのゴロ縄に びっくらこいて

水面に
とびあがって
にげようと
するところを
……

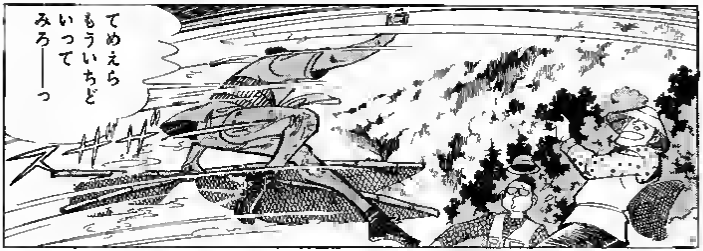
うしろからきた
受け網に
すくい
とられるって
やつさ

どうしたの三平くん…？
なんかおもしろくないことでもあるの
おねえちゃんかんがえてもみろってゴロ引きはおらたち釣り人にとっちゃあまったくめいわくなことだべ
川底をけちらしせっかくいついた鮎をおっぱらってしまうんだから
そういえばそうねぇ…
健一さんからきいた話とはだいぶちがうわねえ
というとその健一さんという人もゴロ引きをやったことあるのけえ
そうかあ健一さんという人はゴロ引きがとくいだったのけえ
大とくいだといっていつもじまんしていたわ
でも健一さんの村にはゴンベというゴロ引きの名人がいてその人にはとてもかなわないともいっていたわ
ええっゴロ引きゴンベ!?
おねえちゃんゴンベならほら!
あの男だよ!!

ガ
大漁じゃ大漁じゃーい!!
しっかりせんかい!!
こらあゴロ縄が石さひっかかってとまってるど!
ホイ!!

ンーーッ!!
このあんべえだと今晩はひさしぶりに鮎の塩焼きでうまい酒がのめるぞーっ
ハッ
ホイッ
およよっ!!
だだいじょうぶけえ
なーにいっとるかーっ
あんましぬくいんで行水したままじゃーーっ!
ガハハハハ

ギヒヒヒ
負けおしみ
いってらあ
ヒヒヒ
いいきみだ
おらたちの
釣りのじゃまを
するからきっと
バチが
あたったんだ
なんじゃ
とお


てめえら
もういちど
いって
みろ——っ

なっ！
ゴンベって
あんな
男だ

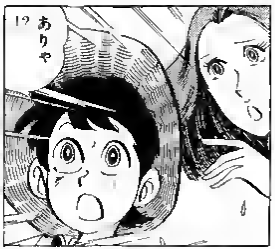
たしかに
ゴロ引きの
名人には
ちげえねえども
気があらくて
マナーも
へったくれも
つうじねえから
釣りの
れんじゅうは
みんな きらって
いるんだ

そうねえ
わけをきくと
どうしても
釣り人にとっては
敵ねえ
なんとかうまく
いかないのかしら
釣りの人たちと
ゴロ引きのなかが
……

どうにもならねえべ
この川にゴンベのような男がいるかぎり…
だいたいゴンベってのはあくたれのゴロ引きちゅうことでいつのまにか釣り人につけられたあだ名だから
おらあ知らねえけどれっきとした本名はあるらしいだ…
ン!?
まてよおねえちゃん!

なくなった健一さんはゴンベとおなじ村の人で
ゴンベのことを知ってたとすると
ゴンベにきいたら
健一さんの家がわかるかもしれねえぞ

そうねえ!!
ようしほんじゃあさっそくきいてみるべ


ありゃ!?

あほんだら――っ!!
つべこべぬかすなーっ!!
アウッ

あっ
クソオ!!
やりやがったな!!
わしをおこらせねえでくれ!!
きょうはなんといわれたってゆずるわけにゃいかねえ!!
しかしこの川はあんただけの川ではないだろう
そうだっおれたち釣り人にも釣る権利はあるはずだ
そんなことはわかってるだ
釣りてえやつはどうぞご自由に……
なーにいってるんだ!おめえたちのゴロ引きのおかげで魚はにげてしまうし……
川底はめっちゃくちゃ!
こんなこって釣りができるわけがないだろう!!

そんだけ
わかってたら
竿をたたんで
さっさと
家さ
かえったら
いいべっ！

オウノ
そういう
おめえたちこそ
ゴロ棒を
たたんで
家に
かえって
もらいたいな

おいっ
てめえ
どっから
釣りにきたのか
知らねえが
ずいぶんと
でけえ口を
たたくじゃ
ねえか

いいけえ
このゴロ引きは
てめえらの
釣りなんか
より
ずーっと
むかしから
この川で
おこなわれてきた
伝統ある漁法
なんじゃい

その伝統ある
漁を
てめえら
よそもんに
やめろと
いわれるスジは
ねえっ!!
ヒイ〜〜〜

し
しかし
じっさい
このごろじゃあ
釣り人も
ふえてるし
おたがいに
ゆずりあって
やれば…

おめえ
ボケーッと
した
ツラ
してるが
なかなか
いいこというで
ねえか
わしも
ゴロ引き
ゴンベなんて
あだ名されとるが
そのくれえの
りくつは
わかるぜ

だがなっ！
きょうという
きょうは
!!
ゆずれねえ
わけが
あるんじゃ——っ
さあ
野郎ども
——っ
てっていの的に
引きまくる
ぞ——っ
!
まで——っ
こうなったら
決着を
つけようじゃ
ねえかーっ
おも
しれえっ
!!
いつでも
相手に
なるぜっ

ケンカは
やめて
くれー
なんでえ
ガキけえ
うるせえ!
ガキゃあ
すっこんで
ろ!!

やめろーっ
やめて
くれ!っ

あなたたちは
美しい山に
かこまれ
きれいな空気が
いっぱいあって
清らかな
水が流れ
元気のよい鮎が
およぎまわって
いるというのに

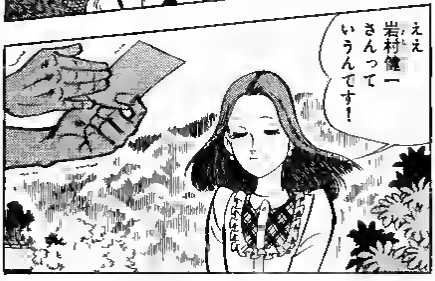
あぁ
ウッ
やめて〜〜っ
ケンカは
やめて——っ
わたし
ケンカなんか
見にきたんじゃ
ないのよ——っ

なぜいがみあわなくてはいけないの…!?
話しあえばわかるじゃないの…
おねがいわたしの夢をこわさないで…

夢…!?
なんでえいきなり

死んじまった
ちゅう
男けえ…
これが
おめえさんと
結婚の
やくそくを
したまんま

!!

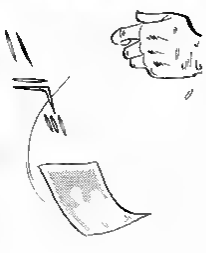

ええ
岩村健一
さんって
いうんです!

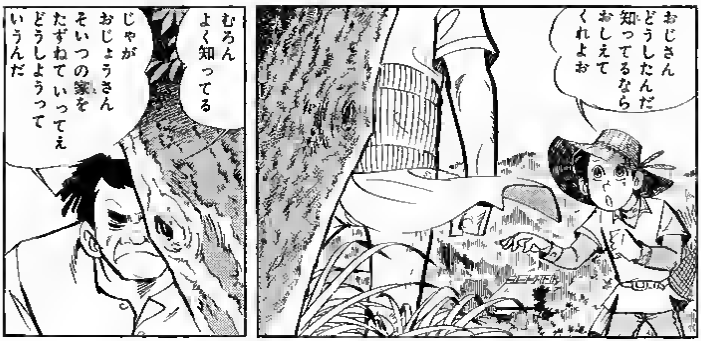
おとうさんや
おかあさんの
名まえは
知らねえんだ
な…!?

ええ…
もうすぐ
紹介してもらう
やさきの
死だったので

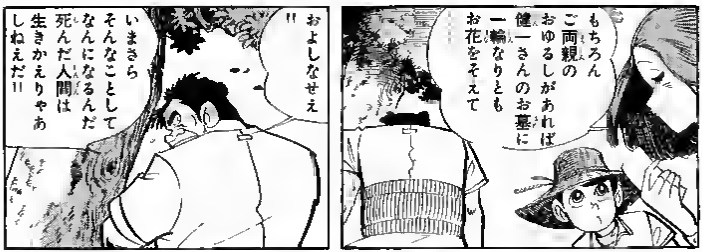
なあ
おじさん
知ってるよ
なあ…
この写真の
岩村健一と
いう人
おじさんの
村の人だべ

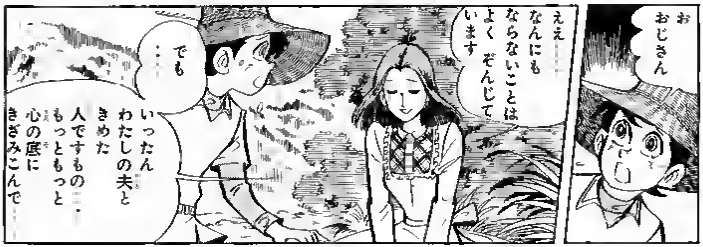
フーッ
!?




おじさん
どうしたんだ
知ってるなら
おしえて
くれよお
むろん
よく知ってる
じゃが
おじょうさん
そいつの家を
たずねていって
どうしようって
いうんだ

べつに……
どうと
いうことでは
ないのです
けど……
健一
さんが
そだった
家が
見たいん
です……
健一さんが
つかった
お部屋も
読んだ本
なんかも
見てみたいわ


もちろん
ご両親の
おゆるしがあれば
健一さんのお墓に
一輪なりとも
お花をそえて
およしなせえ
!!
いまさら
そんなことして
なんになるんだ
死んだ人間は
生きかえりゃあ
しねえだ!!


おじさん
ええ……
なんにも
ならないことは
よく
ぞんじて
います
でも
……
いったん
わたしの夫と
きめた
人ですもの……
もっともっと
心の底に
きざみこんで

気持ちは
わからんでも
ねえが…
それだったら
なおさらのこと
いますぐにでも
東京さ
かえるこった!

一生 きれいな
思い出として
おきたい
のです…

おじさん
わざわざ東京から
きた
おねえちゃんに
なんちゅうこと
いうんだ!

三平くん
ガタガタ
わめくで
ねえ
子どもは
だまって
きいとれば
いい

いいけえ
おじょうさん
!
もし
おじょうさんに
のこのこ
たずねられた
その息子の
おやじや おふくろの
身になってみろ!!

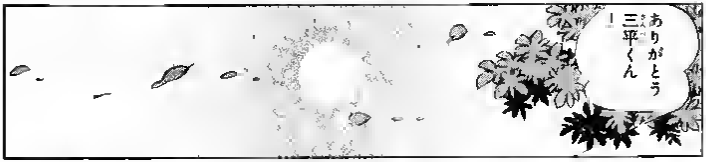
いちばん
てえじな息子を
うしなった
かなしみを
やっと わすれ
かけてるのが…
また
もとさ
もどって
しまうで
ねえか
ますます
かなしませる
結果に
なっちまうん
じゃ
ねえのけえ
…

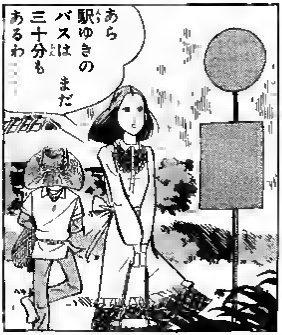
ナールホド
ぜったいゆうことも聞くな
ここまできたってことだけでおめえさんのまごころはじゅうぶん仏さんにつうじたじゃろ!
わりいことはいわねえつぎのバスで東京さかえんな
そんで かえったら 死んだ人間のことなんか きっぱりと わすれるんじゃ
いつまでも ジメジメ してねえで カラッと あかるく なるこった
そんでもって 仏さんよりも いい相手を 見つけて いい嫁さんに なることだ…
ガハハハ おめえさんは きっと いい嫁さんに なれるって ガハハハ…
ベッピンだもんな…
ゴ ゴンベって 見かけによらず まともなことを いう人だなや
おねぇちゃん

そうね…
たしかにそうね…
あの人のいうことがほんとうかもしれないわ

じゃあおねえちゃんは…!?
ええかえるわ…

この川で三平くんとあえただけでとってもいい思い出になれそう…


ありがとう三平くん!

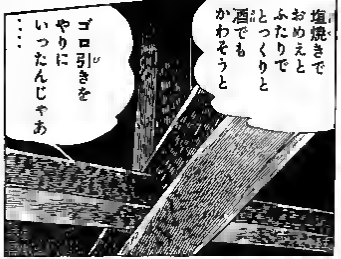

あら駅ゆきのバスは まだ三十分もあるわ…

三平くんどこへいくの!?

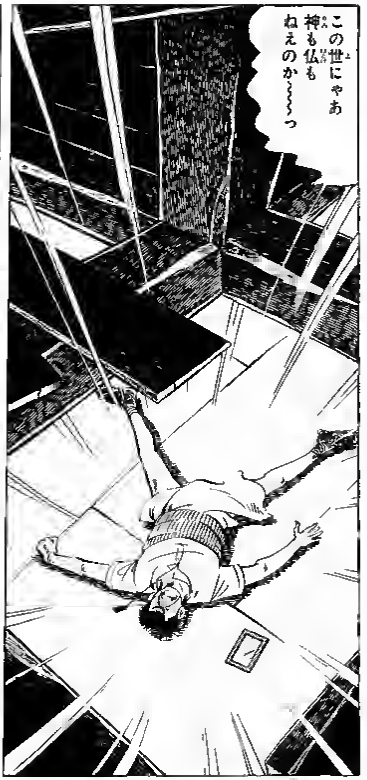
ウウ
ダ
ゴッ
けっ
健一〜〜〜
！
な なして
死んだ〜〜〜っ
なして
死におっただ〜〜〜
健一〜〜〜っ
ああ
〜〜〜っ！

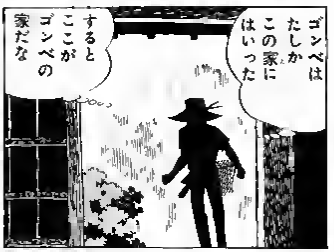
あんただ
ベッピンな
娘さんと
結婚のや～そ～を
してた
なんて～～～っ
なんちゅう
こっちゃあ
～～～っ
健一が…
なにを…
わるいことを
したってんだ
なんで
こんただ
不幸なめに
あわなきゃあ
なんねえだ
あんただ
ベッピンな
娘さんが
なんで かなしい
思いをせにゃあ
なんねえ
だ～～～っ
健一～～～っ…
おめえって
やつあ
よくよく
なさけねえ星の
もとさ 生まれて
きたんだなあ
こーんただ
わかさで
親よりもさきに
逝ってしまうだ
なんて
かわいそうに…
かわいそう
に～～～っ
健――っ

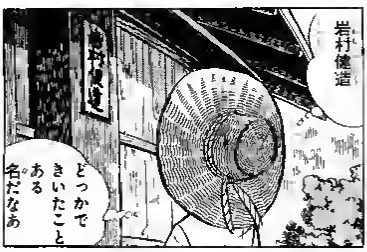
健一〜〜〜っ
きょうは
おめえの
命日だから
おめえの
大すきな鮎を
しこたま
とってきて
・・・ウウッ


塩焼きで
おめえと
ふたりで
とっくりと
酒でも
かわそうと
ゴロ引きを
やりに
いったんじゃあ
・・・

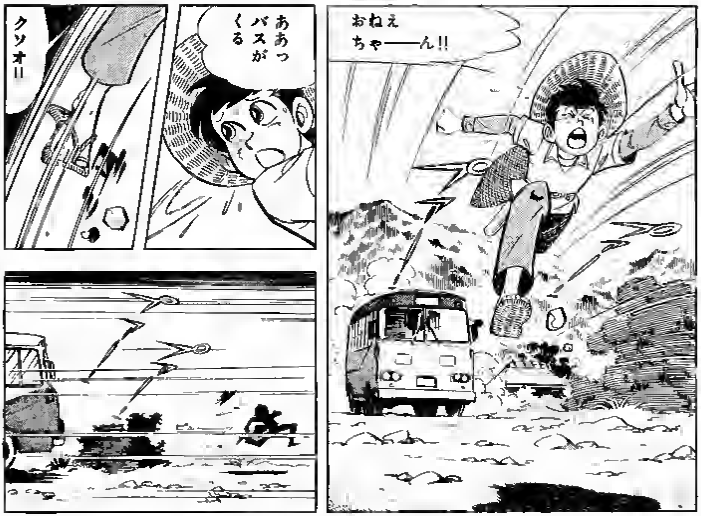
そうしたら
釣りのれんじゅう
たちと
みょうなことに
なりおって
みょうなことに
なったと
思ったら
ウウッ・・・
あの娘さんが
あらわれて・・・

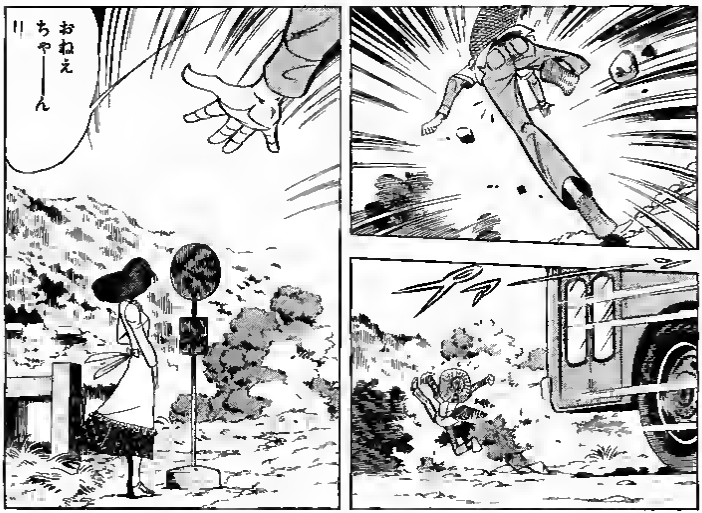


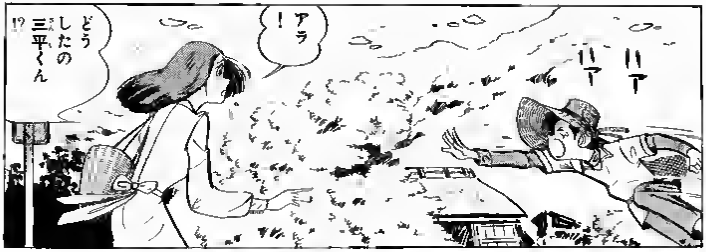

ゴンベは
たしか
この家に
はいった
すると
ここが
ゴンベの
家だな


岩村健造
どっかで
きいたこと
ある
名だなあ

健一――っ
健一～～～っ
なして死んだ～～～っ
ああっ!!
やっぱし……
ゴンベの本名は岩村健造……
い 岩村健一のおとうさん
そ そんなバカな……
おねえちゃ～～～ん!!


おねえ
ちゃ――ん!!
あっ
バスが
くる
クソオ!!

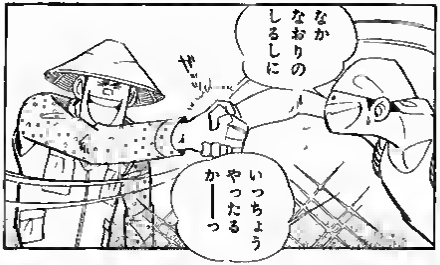

おねえ
ちゃ――ん
!!


ハア
ハア
アラ！
どうしたの三平くん!?

どうしたもこうしたもねえもういちど川きもどってくれ～～っ
だってバスが！

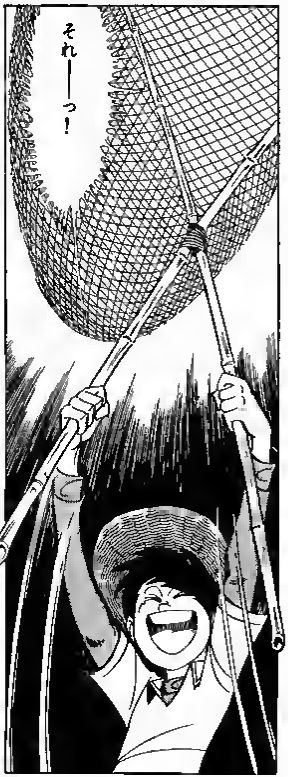
もうひとバスおそくしたっていいべ――っ
どうしたのよお三平くん
おねえちゃんおらあこれからおねえちゃんにあった配念にゴロ引きをやってみせるだ
ぜひ見てくれ!!
ポー
ハア

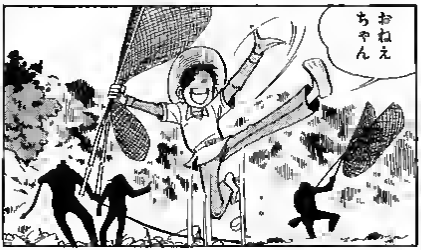
さ
三平くん
!!
お――い
みんな
――っ
このおねえちゃんは
わざわざ
東京から
この川の
ゴロ引き漁を
見にきたんだ――っ
ゴロ引きの
人たちも
釣りの人たちも
おたがいに
協力して
いっちょう
いいとこを
見せて
やろうじゃ
ねえか～～～っ


なかなおりのしるしに
いっちょうやったるか――っ

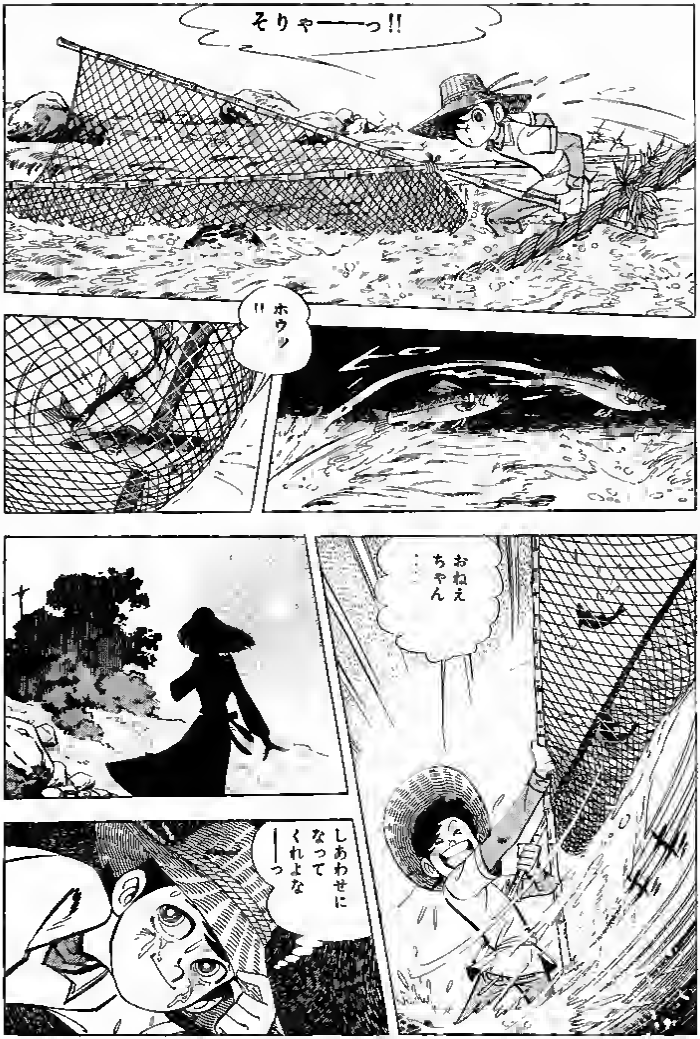
どうする……
なんかおもしれえぞっ！

おう!!


それ――っ！


おねえちゃん

三平くん


そりゃ――っ!!
ホウ
!!
おねえちゃん……
しあわせになってくれよな――っ

そこは
美しい山に
かこまれて
きれいな空気が
いっぱいあって
清らかな
水が流れ
元気のよい鮎と
鮎よりも元気な
少年が躍動して
いたことを
わたしは
わすれない、、

ゴロ引きゴンベの巻　おわり

■ゴロ引きのあとで

ゴロ引き漁は、ボクのホームグラウンドの一つ皆瀬川でよくおこなわれていた。屈強な男たちが川いっぱいにゴロ縄を引き、それにおどろいてジャンプする鮎を網手がうけとめる。見ているだけでたのしく、勇壮な漁であった。しかし、同時にそれは釣り人にとってははなはだ迷惑なことでもあった。なにしろ、せっかく静かに釣っているポイントを、荒馬のようにけちらしてとおりすぎていくから……。

ある日の釣りで、ゴロ引きの一団がボクの釣り座をとおりすぎたのは午後四時ごろであった。ポイントを荒らされたボクは、もうすっかりふてくされて、草ムラにねころんだ。とおりすぎた一団の奇声が、下流でやけに高い。ボクの釣り座より百メートルほど下流がいいらしく、そこをくりかえし引いている。

三十分ほどして、荒れたポイントもいくぶん回復しただろうと、ボクは再び釣りを開始した。ところが、おどろいたことに竿を差すや入れがかりが続き、なんと三十分間に十八匹もの鮎を釣りあげる結果となった。一匹釣るのに二分と要しなかったのである。おそらく、ゴロ縄におどろいた鮎の群れが、ごっそりボクのポイントになだれこんできたためであろう。

鮎の夏

PART 1
土用がくれの巻

例年ならば もう とうに おわって いるはずの S川の 釣り 大会では あったが この年は 二週 雨にたたられ にわたって ：
やっと開催の はこびとなったのは 三週間おくれの 七月も下旬の 日曜日のことで あった…

ひさしぶりにもどってきた真夏の日ざしに……
この日をまちわびた腕におぼえの鮎キチどもがドッとくりだしたことは いうまでもなかったが……

号砲一発!!
大会開始をつげる花火の合図で釣り座にちった鮎キチどもの竿には……
開始二時間を経過するもアタリらしいアタリは ほとんどみられなかった

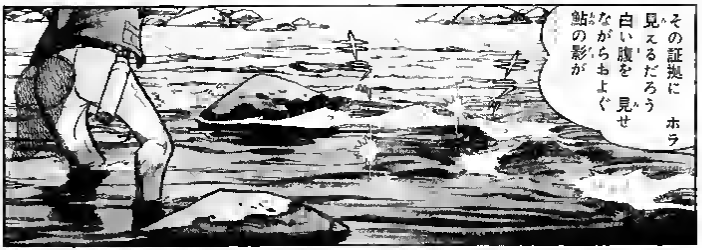
ファ〜〜〜
まいったなあ
こりゃあ
いってえ
どうなって
いるんだ
もう十時半だと
いうのに
こんな状態じゃあ
大会もクソも
あったもんじゃ
ねえぜ!!

なーにいってるだ
おめぇなんか
開始そうそう
いい型を
あげたじゃ
ねえか
こっちなんか
けさから ウンとも
スンとも
いわないんだぜ
ホラ 見ろ!!
おかげで
オトリ鮎が
すっかり
ヨタって
やがる
ク〜〜〜ァ
まったくだ
これじゃあ
一ぴき釣って
優勝なんて
こともあるかも
しれんなあ……

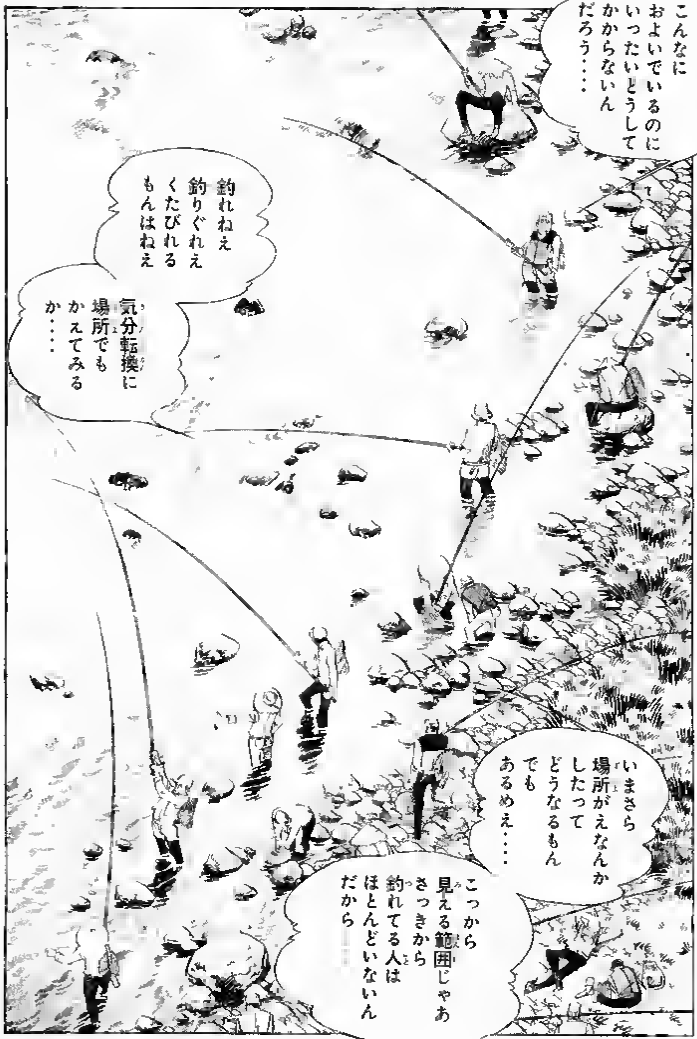
それにしても
釣れんなあ…
漁業組合じゃあ
今年の稚アユの
放流数は…
海産十万
湖産二十万
なんていってたけど
はなはだあやしい
もんだぜ!!

まさか
じょうだんが
きついぜ
…
もしも
そんなことにでも
なったら 数ある
釣り大会のなかでも
全国はじめてのケース
だろうな…

いや
そんなことは
ないよ…
先週
会社をやすんで
きたときにゃあ
四十八ぴきも
かけたんだぜ


その証拠に
見えるだろう
白い腹を 見せ
ながらおよぐ
鮎の影が

ああっ
ホントだ
あそこにも
…
あそこでも
ひかったぞ
ありゃっ
こんとは
とびはねた
…!!


こんなにおよいでいるのにいったいどうしてかからないんだろう……
釣れねえ釣りぐれえくたびれるもんはねえ
気分転換に場所でもかえてみるか……
いまさら場所がえなんかしたってどうなるもんでもあるめえ……
こっから見える範囲じゃあさっきから釣れてる人はほとんどいないんだから

よオよォ
監視員さん
よォ!!
いかが
ですかとは
こっちのいう
セリフだぜ

みなさん
いかがですか
…
監視

いってえ
きょうは
どうなって
るんだ!
けさ
から
ただ
竿の
あげおろし
ばっかりで
まるっきり
型を
見てないんだぜ

上流や
下流の
れんじゅうは
どんな
あんばい
かね!?
監視

いやあ
どこも
にたりよったり
で…
ここより
上流では
四ひきちゅうのが
最高だ
そうな…

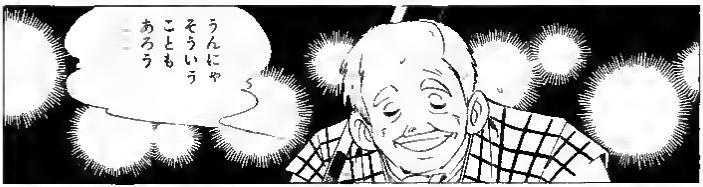
ええっ
四ひきが
最高…
!?
たったの
四ひき
かい…!?
監視

こいつあサギだぜ
漁業組合のりっぱなサギだぜ!!
高い釣り券を買わせたうえに大会参加料までとりおって一ぴきも釣らせねえなんて……
すまんです
……といってわびてすむってもんでもなかろうがこればっかりは漁業組合の力をもってしてもどうしようもありません
運がわるかったんですよ
雨でのびのびとなって三週間もおくれてやっと本日の開催となったわけですが……
二、三日まえから鮎のやつが……
土用がくれにはいっちまったもんですから……
土用がくれ……!?
土用がくれ……!?
土用がくれ……!?

じいちゃん
いってえ どう
いうこと
なんだ…
その
土用がくれって…

フフフ
まさに
土用がくれ
これじゃあ
なんぼ腕のたつ
トモ師といえども
五ひきとは
かけられめえて…

まさか
土用の
この
暑さの
ために…
鮎たちが
とっかさ
かくれちまった
ちゅう意味じゃあ
ねえべなや…

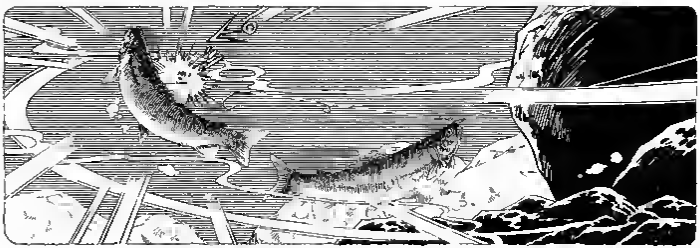

うんにゃ
そういう
ことも
あろう…

しかし
土用がくれを
かんがえる
まえに…
鮎のトモ釣り
ちゅうやつが
どういう理屈で
釣れるかを
かんがえて
みるんじゃな…

そんただこと
簡単で
ねえけえ!!
ようするに
鮎ちゅうやつは
川底の石について
水垢（ケイ藻やラン藻）をたべる
食性の魚で
あり……

盛期になると
この水垢の
よくついた石を
中心に
ナワバリを
つくって……
ほかの鮎が
侵入してくれば
猛然と体あたりを
かまして
おいはらうという
独得の習性をしめす
魚だから……

トモ釣りは
その習性を
利用して
オトリ鮎を
およがせ
攻撃を
さそって……



ヒョオッ!!
きたっ!!
ホイッ!!
…てな ぐあいに 釣りあげるって わけだべ!

ハハハハ
まさに そのとおりじゃが……

野鮎（天然の川のなかでくらしている鮎）が闘争心をかきたてる行為は 四六時ちゅうというわけではあるめえ

たとえば川底の水垢がどこさいってもいっぱいあって……

いつでも ふんだんに たべられる状態 だったら なにも ほかの鮎を おいはらうひつようも なくなるんじゃねえのけえ

ああ そうけえ……

そういえば いままでの おらの経験からしても……

水垢がよくついているときは オトリ鮎の おいかたも弱く あんまし釣れねえことが よくあったし……

ぎゃくに 雨で増水して 水垢がきれいに あらいながされた あとには はげしく おって バカ釣りしたことも あった。

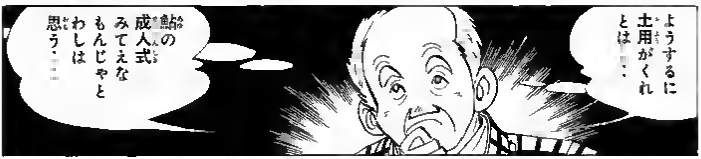
そこじゃよ 三平……

つまり 鮎の ナワバリ行為は 水量と川底の 水垢の状態に よって 強弱が あるわけで……

今年のばあいは 日曜ごとに 雨に たたられれば したものの そのほかは 好天つづきで 水垢もくさりかけて いるから

トモ釣りの条件としては けしてよいとは いえねえ……

すると じいちゃん 土用がくれ ちゅうやつは……
水温が高くて 水垢がつきすぎて ナワバリをはる 行為が 極端に 弱くなったときの ことを いうのけえ!?
うんにゃ そういう条件も かさなれば 最悪のケースと いえるが
土用がくれ そのものの 意味はちがう……


ようするに 土用がくれとは……
鮎の成人式 みてえな もんじゃと わしは 思う……

うん つまり 鮎にも 人間の ように その 成長過程に おうじて……
幼年期 少年期 成年期 老年期 ちゅうぐあいに 成長するわけ じゃろ……

各地の 漁業組合が 河川に放流する 鮎は この稚鮎を 捕獲したもので あることは おまえも 知っとる じゃろ……

鮎の成人式……!?
幼年期とは いうまでもなく 春さきに 海から 川へと遡上して くる時期の 稚アユのことで……

うん　しかも稚鮎のころは…
水垢ではなく水生昆虫をたべる習性があるだ…
そのとおりじゃがその幼年期の鮎も水嵩の上昇とともに　元気よく川をさかのぼり…

初夏の日ざしにみちがえるほど成長し…
食性も石底についた　水垢を主食にするようにかわりナワバリをつくるようになる時期が少年期ちゅうわけじゃ…
なるほどするとおらたちがトモ釣りをはじめる時期は…
鮎が少年期さはいった時期からちゅうことになるなや

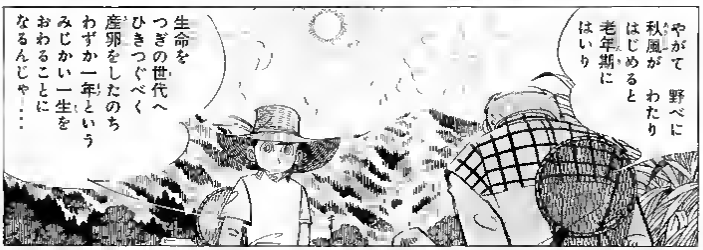
そうじゃ!!しかも　その鮎も…
やがて少年期から一人まえのおとな…つまり成年期へと　成長してるわけじゃが…

この少年期から成年期にかわる時期の　ほんの一二週間ぐれえのあいだ…
ピタッと釣れなくなる　時期があるだ…

そ　それが土用がくれけえ…!?

そうじゃ…
七月下旬から
八月のお盆に
かけたあたりが
ちょうど その
土用がくれの
時期で
みごとに
成長した魚体を
ほこらしげに
見せながら
ゾロゾロと
およぎまわる
が…

ナワバリも
闘争心も
ほとんど
きえて…
なんぼ
オトリ鮎を
おくりこんても
みむきも
しねえで
とおりすぎる
だけなんじゃ
ヘエ～～～ッ
それが 鮎の
土用がくれって
やつけえ…
不思議な
もんじゃのう
習性ってやつ
は…
もっとも
その時期を
すぎると ふたたび
ナワバリ行為を
しめし また
釣れだすが…

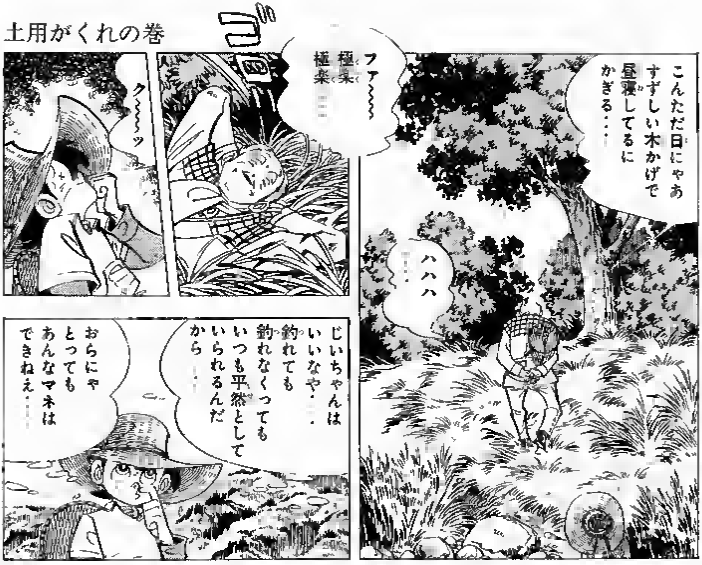

やがて 野べに
秋風が わたり
はじめると
老年期に
はいり
生命を
つぎの世代へ
ひきつぐべく
産卵をしたのち
わずか一年という
みじかい一生を
おわることに
なるんじゃ…

ウ〜〜〜ン　すると
土用がくれに
はいっちもうたら
……
もう
なにさまの手にも
おえねえって
わけか……
あいさ
なんぼ腕のたつ
やつでも　日中は
ほとんどバンザイ
き……
しいて
釣ろうとするなら
朝夕のまずめを
ねらえば　わずか
ながら　釣れねえ
こともねえがな……

朝夕のまずめ……!?

あいさ
土用がくれの鮎を
釣るにゃあ
それしかねえ……
とにかく
きょうは
せっかくの
年に一度の
大会じゃが
……
あいにくの
土用がくれと
かさなっちまった
ちゅうことは
そらく……
オデコをくらう
れんじゅうが　続出
することうけあい
じゃて　フフフ……

じいちゃん
ひとごとみてえに
のん気なことを
いってるばあいで
ねえべ!
おらだって
大会に参加
してるんだぞ!!
ハハハハ
なんぼ
あせっても
しょうが
あるめえ!!


こんだ日にゃあすずしい木かげで昼寝してるにかぎる…
ハハハ…
ファ～～～
極楽極楽…
ク～～～ッ
じいちゃんはいいなや…釣れても釣れなくてもいつも平然としていられるんだから…
おらにゃとってもあんなマネはできねえ…

それはそうと大会ののこり時間もあと一時間半ぐれえしかねえし…
このままいったらそれこそオデコをくらいかねんだけに…
ポイントでもかえてやるだけやってみなきゃあ気がおさまらん…!!
クッソオ
今年の大会はなんちゅう大会なんだ…!!
それにしてもきょうの川はひでえなや

水垢はくさってはげおちる寸前だし
水温もあがってまるでぬるま湯みてえだ
これじゃあ鮎でなくたってかくれたくなるなや……

まったくだア!!
骨折り損のくたびれもうけとは このことだア……!!

ファ～～～ダメだこりゃあ……

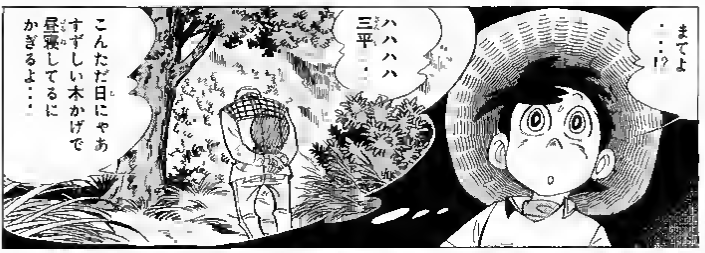
お――いこんただ大会なんかけっとばして……
メシでも食おうメシでも……!!

メシなんてどうでもいいとにかく寝かせてくれ……
なにしろゆんべは一睡もしねえで参加したんだからな……
それがなんでえこのザマは……!!

そうけぇ……
沢水がせきになってながれこんでいるわけけぇ……

やれやれいすこもおなじかっ……

ン!?
きゅうに水がつめたくなったぞ……!?


までよ……!?
ハハハハ三平……
こんただ日にゃあすずしい木かげで昼寝してるにかぎるよ……

おらのじいちゃんじゃねえがひょっとしたら鮎のやつも
本流の水があんましぬるいんですずしい場所をもとめてこのせきさ もぐりこんでるやつもいるかもしれねえぞ……!?

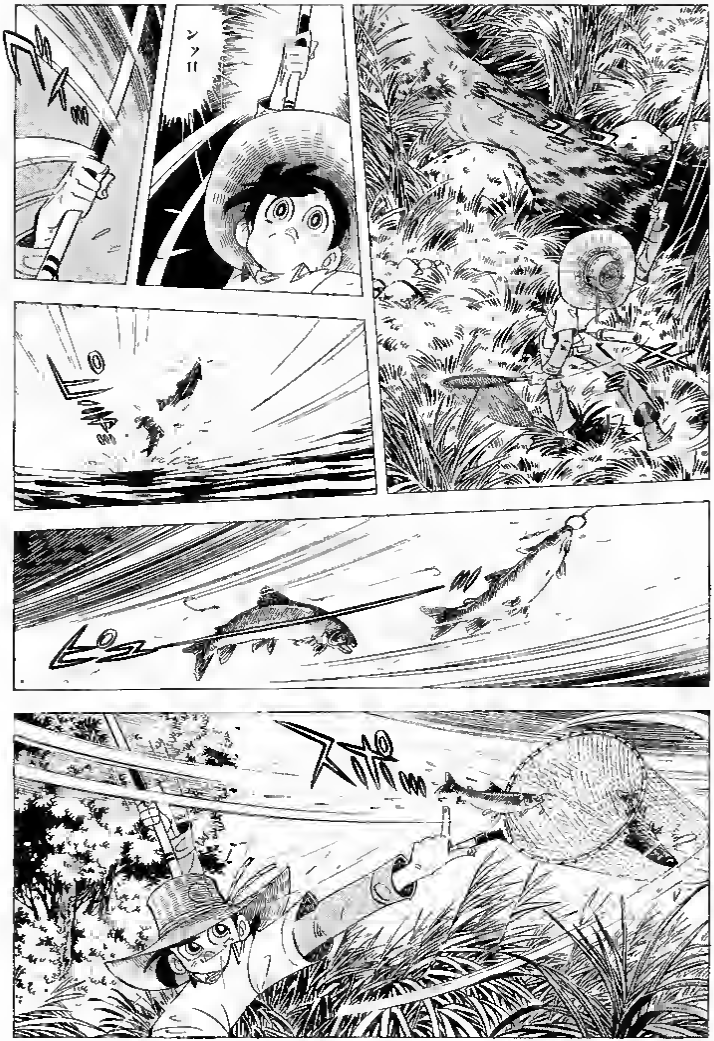
よ――し
ものはためし
だ……!!
いっちょう
オトリを
ぶちこんで
みるか……!!
どうせ
釣れなくたって
もともとだから
な……
ヨッ!!
フェ～～～ッ
こりゃあ
ひでえや
ながれのはばが
せまく おまけに
両岸がボサで
おおわれて
いるので……
そうとう
慎重に
誘導しねえと
オトリを
ひっかけち
まいそうだ
竿を
みじかめに
もって
やって
みよう!!

ぬわっ!!!
き
きたっ!
ま、まさかと
思ったが
イッパツで
かかりおった
かっ!!
フエ〜〜ッ!!

クッ!!
ピン
ヒョオッ!!
やった!!
どっから
見ても
バッチリした
鮎てねえけえ!!
そ そういえば
じいちゃんは
さっき…
土用がくれの鮎を
しいて釣ろうと思う
なら 朝夕のまずめを
ねらえば わずかだが
釣れねえことも
ねえ…

まずめといえば
とうぜん日中より
水温が低下する
…とすれば
土用がくれの鮎も
ひょっとしたら
ほどよい水温の低下が
ナワバリ行動を
よびおこすかも
しれねぇ…
しかも
このせきは
沢水だけに
水温も
ひくく
垢も
くさって
いねえ
…
こいつあ
めっけもんだ
ぜ!!
まさか こんただせきで
鮎が釣れるなんて
かんがえる人が
いねえとみえて
だれも竿を
いれたあとが
ねえが…
どうやら
かなりの鮎が
はいりこんでる
ようだ…
ホラ きたっ!!
フエ～～～ッ
思ったとおり
だぜ!!

ケッヘッヘ
こいつあ
すげえや
ハッ!?
まさか ほかの
れんじゅうに
気づかれねえ
だろうな…
ヒョッ!!
なにしろ
きょうは
優勝カップも
賞品も かかって
るから
だれにも
気づかれずに
釣って釣って
釣りまくらね
ば…
ガハッ な
なんちゅう
こった
こりゃあ
…
このせきは
まさに
土用がくれの
かくれ場所
だあ!!


ンァ!!

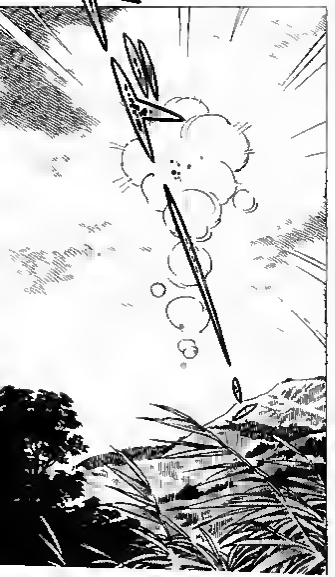
ケッヘッヘ
あんまし
いれがかりで
ついかぞえるのを
わすれてたが
・・・
十二
三びきは
いったべ
ン!?
だ
だれだっ
!?
フフフ
わしじゃよ
三平・・・
な
なんだ
じいちゃん
けえ・・・
とうとう
ポイントを
つきとめた
ようじゃな
じ
じいちゃんは
ここの
ポイントを
知ってたの
けえ・・・!?

いやあ…以前
土用がくれで
本流がまったく
釣れなくて…
やけっぱちで
支流のちいさな
沢にはいってみたら
ベカ釣りした
ことがあったが
…

そのことを
昼寝してるうちに
ひょいと思いついた
もんで きてみたの
じゃが…
どうやら
おめえに先を
こされたよう
じゃ…

ホホウ
こりゃあ
すごい
ぜんぶここで
釣ったのけえ

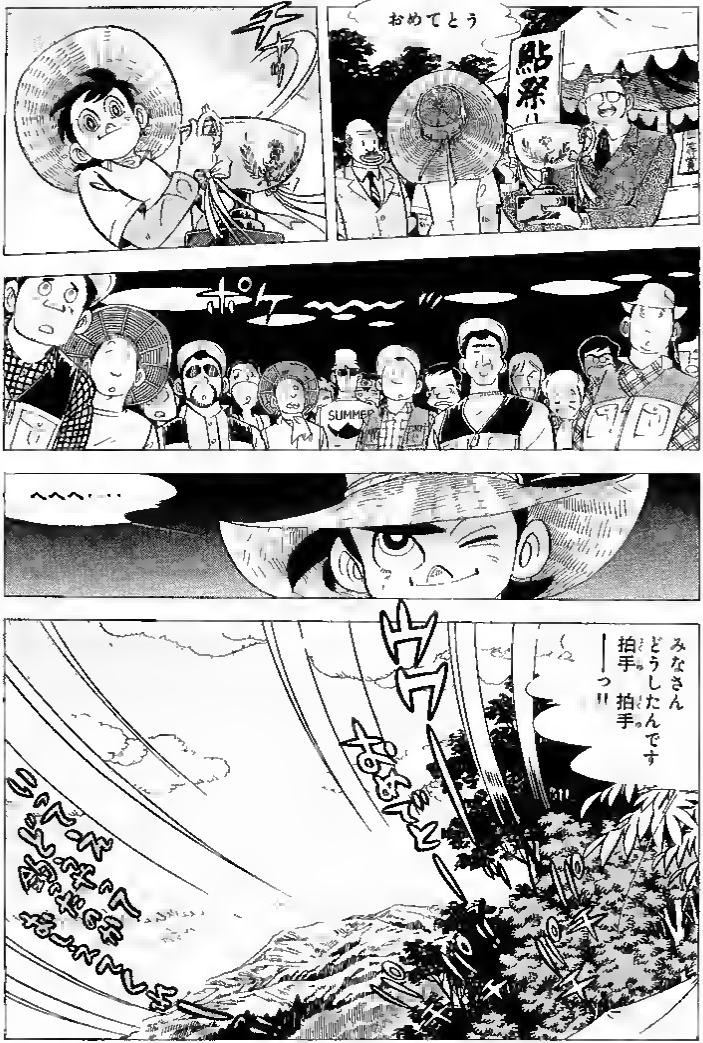
うん
とにかく
このとおり
ながれのはばが
せまいから
ポイントが
どうのこうの
ということなく
オトリをいれる
だけで たちまち
ググンなんだ!!



どうでぇ
じいちゃんも
やってみねえ
か…!!

いやあ
そんただ
時間も
あるめえ
大会も もう
おわりじゃて
…

それではただいまより成績発表にうつりまーす
本年度の優勝者ー
釣りあげひき数十六ぴきー
三平三平くーん!!
ええっ!?
じゅ十六ぴき……!?
こんな日にいってえどこで釣ったというだ・・
オデコをくらったれんじゅうもかなりいるというのに
へへへ・・



土用がくれの巻　おわり

PART 2
驟雨のオトリアユの巻

好ポイントの連続で
毎年良型の鮎が
よく釣れることで
知られるN川は
べつに
土用がくれの
時期というわけ
でもなかったが
この四 五日
不満の日が
つづいていた
フエ〜〜〜ッ
まいった
なや……
いってえ
どうなってる
だ……
朝がた
パタパタッと 二
三びき釣れたと
思ったら……
ピタッと
とまって
それっきり
ウンともスンとも
いいやがらねえだ
ハハハハ
なにしろ
ここんとこ
好天つづき
で
渇水状態だし
水垢もだいぶ
くさりかけとる
からな……

な――にいってるだ
さっきから
じいちゃんを
見てると……
ほとんど竿も
もたねえで
そうやって
すわりこんで
タバコばっかし
すってるで
ねえけえ!!

しょうが
あんめえ
どこを
みわたしても
釣れてる人が
おらんもん

ほんじゃあ
じいちゃんは
ほかの
れんじゅうが
釣れだしたら
その機を
みはからって
釣ろうちゅう
こんたんで
いるのけえ!?

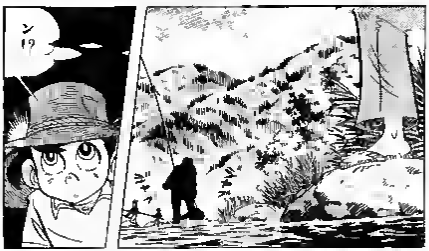
ハハハ……まあ
どうでもいいけど
おめえもあんまし
しゃかりきに
ならんと……
ひとやすみして
つめてえ麦茶
でも　のむべ……

ハハハハ
そういうこと
わしみてえな
年よりはなるべく
ムダな体力を
つかわんことが
わけえれんじゅうに
負けねえコツさ

クゥ～～ッ
とかなんとか
いっちゃって
まるで　人の
フンドシで相撲を
とるようなもん
じゃねえけえ!!

それにしても
ひと雨ほしい
ところじゃのう
三平

フェ～～～ッ
うめえ!!
どうじゃ
生きかえった
心地しゃろ

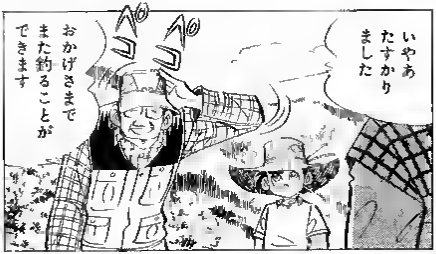

ンゆ

ウ～～～ン
まったくだ
ザ――ッとふって
ふるい水垢を
あらいながして
くれたら
バンバン釣れだす
だろうなあ…

あのう
おやすみのところ
まことに
あいすみません
が
もし余分に
ありましたら
オトリを一ぴき
ゆずっていただけ
ませんでしょうか

おや
おめえさんは
けさはやく
から……
あの潮頭で
ず――っと
ねばってた
方じゃ
ねえけえ
……!?
イヤイヤ
見てたん
ですか
おはずかしい
……
なにしろ
腕なもん
ですから
けさから一ぴきも
釣れず……
ごらんください
準備してきた
オトリがすべて
白い腹を
うえにむけて
……
ひっくりかえっち
まってるんです
ハハハハ
それじゃあ
釣りには
なりません
なあ……
三平!!
わしの
オトリカンから
てごろなやつを
わけてやって
くれ
背がかりの
イキのいいのが
四五ひきは
いるはす
じゃから……
よっしゃ!!

背カカリとは　背なかにハリがかかって釣れた鮎のことである　まえにももうしあげたが　鮎のトモ釣りで釣果をあげるには　なんといっても「イキのいいオトリ」をつかうことが条件であるから　釣れたての元気のいいものを　どんどんあらたなオトリとして交換して釣るのがコツである　しかし　トモ釣りは　スレでひっかけるわけだから　からだのどこにかかるかわからない　たとえは　やわらかい腹部にハリがかかりしたばあいは　内臓がはみだしてつかいものにならないこともあるし　目から頭にかかったばあいはたちまち弱って　これもダメ　そこへいくと　脂肪の厚い背すじを中心にかかったばあいは　じつにイキがよく　オトリ鮎とするには最適の鮎といえる



おめえさん
ことばのようすから
するとこの土地のもんじゃ
ねえな…
ハイ
東京からきたものですが…
四年まえからすっかり鮎にこっちゃいまして
会社から三日も
有給休暇をいただいてきたんです

すると
おじさんはこの川にきてきょうで三日めちゅうわけけえ!?
ハイ
毎月定期購入している釣り雑誌にたびたびこの川の情報がでてきますので
去年から計画をたてて今回の釣行におよんだわけですが…

なにせはじめての川ですし
腕も腕ですから
きのうもおとといもほとんどオデコ同然の
みじめな釣果でして…
最後のきょうこそはいい釣りをしたいとねがっていたんですが…

いやあ
腕がわるいんじゃなくって…
運のわるい日にこられたっちゅうことですよ…

なにしろここんとこ連日の日照りつづきじゃからのう…

ごらんのとおり
すっかり増水状態だし
水垢もくさりかけてる
時期にぶつかったんじゃから
釣れるほうが不思議というもんじゃよ
ハア…しかしそうはいってもわたしの休暇もきょうでおしまいですから
最後のひとふんばりといかないことには心のこりとなりますから…

ではごめんください

ヘエ〜〜〜ッ
熱心な人だなや…
東京からわざわざ三日も休暇をとってきたなんて…

フフフそれよりもええスタミナじゃよ あの人は…
なにしろ三日間やすみっこなしに川んなかさいりびたっていられるんじゃから…

よくよく釣りがすきなんだなや…
ケッおめえにそんただことがいえる口かい

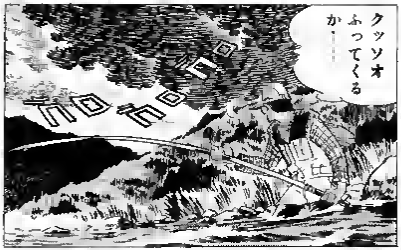
ケッヘッヘ
でしたでした…!!

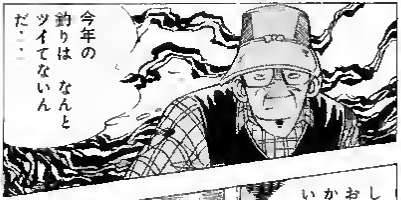
ゴロゴロ
ン!?
いまたしか遠くでカミナリの音が…
ウ～～～ン
まちげえなくカミナリの音じゃったが
くるのかなあひと雨…

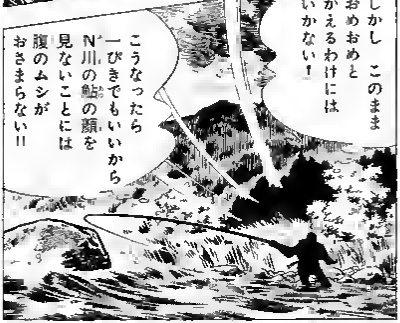
くればいいけど…
けさの天気予報ではそんただことはいってなかったぞ…

いやあ天気予報なんてはすれることが多いさ…
予想はあくまでも予想じゃからのう…
まさに予想はあくまで予想でしかなかった…

遠山に発達した
黒雲が雷鳴を
ともなって 炎天を
わたいつくすのに
さしたる時間は
ひつようと
しなかった……


クッソオ
ふってくるか……
ゴロゴロ


今年の
釣りは なんと
ツイてないんだ……


しかし このまま
おめおめと
かえるわけには
いかない！
こうなったら
一ぴきでもいいから
N川の鮎の顔を
見ないことには
腹のムシが
おさまらない!!

遠山の雷鳴が
しだいに頭上に
近づいた！
と
そのときで
あった!!
ゴロゴロ

き きたっ!!
うおっ!!
や やっと きたかっ!!
そ そうだ この感触だっ
おれは この感触を あじわうために 年が年じゅう はたらいて いるんだっ!!
あれっ じいちゃん あの人に きてるよ!!
ホホウ ねばった かいがあったと いうもんじゃ な……
クソ!
ふたりが 見てるっ!
見てるまえで バラしたら カノコがつかん

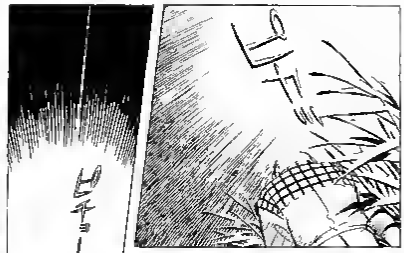
おちつけ
おちつけ
あわっ
バ バレたかっ……!?
ああっ まだかかってるっ!!
やばいやばい……
ヒョッ!!
ンッ!!

フ〜〜ッ
やった〜〜ッ!!
ングッ!!
おめてとう!!
ハア
ありがとう
ございます
・・・・
どうやら
一ぴき
釣ることが
できました
・・・・

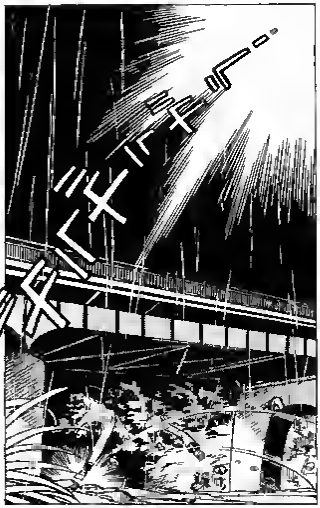
ンッ!!
また きたっ !!
ハリャッ!?
ホイッ まただっ!!
チャ!!!
じいちゃん どうなってる んだ こりゃあ!?
たてつづけに 四つも かけ おったぞ!!

あの雲のおかげじゃよ……
さっきまでカンカン照りだった空がにわかにかきくもったため
水温が微妙に変化し鮎のナワバリ行動が急に活発化したんじゃよ!!
ほんじゃあじいちゃんおらたちもボチボチ釣りはじめるべ!!
あわてるな三平……!!
釣れだしたといってもまだはしりじゃ!!
本格的にかかりだすのはこの黒雲がひとしきり雨をふらせてとおりすぎた直後じゃよ!!
それまではひとまずあの橋の下に退避してじっくりチャンスをまつんじゃ!!

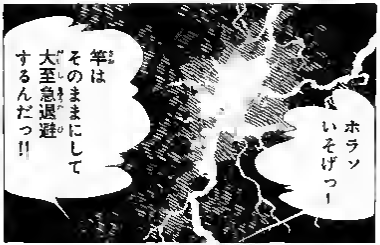
ホーラ
やってきたぞ
いそげ 三平!!


ピチョ!
ハロハロ〜

じいちゃん
おらあ雨なんか
へっちゃらさ
シャワーを
あびたつもりで
このまま
釣ってるだ!!


ザーザー

バカソ!
雨だけなら
たいしたことは
ねえが カミナリを
あなどっちゃあ
いかーん!!


ホラソ
いそげっー
竿は
そのままにして
大至急退避
するんだっ!!

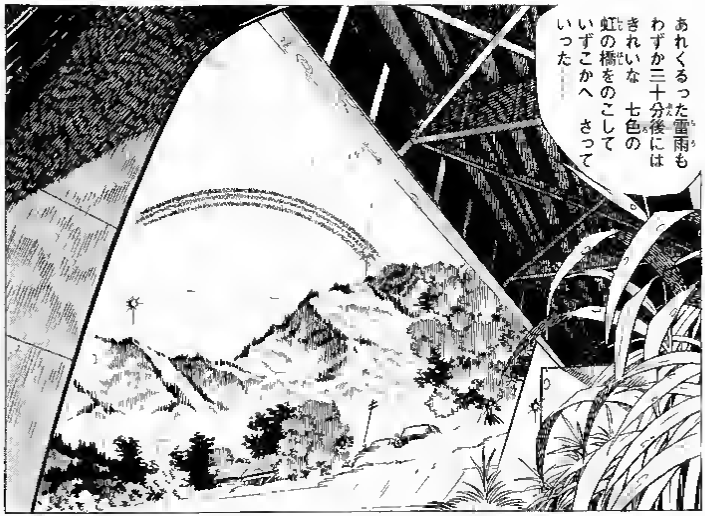
フェーッ
あっというまに
本ぶりになって
きやがったか
いわんこっちゃ
ねえだろう
まるで滝のような雨じゃねえけえ
もっとこっちさはいらねえとぬれるぞ!!
それよかじいちゃん
あの人まーだ釣ってるだ……!!
ウッ
いいかん
こんたとき長竿をふりまわしたらえれえことになりかねん!!
お――い
はやくあがれ――っ!!
竿は河原さほうってすぐにあがるんだ～～っ!!

フフフ なにをわめいているんだ!!
オトリをゆずっていい気分になってこのオレにさしずをしようっていうのかい
わらわせるんじゃない!!
そんなものもうすこしで倍にしてかえしてやるぜ
やっとめぐりきたこのチャンスにおめおめ竿なんかひけるかいっ!!
雨でも槍でもふってきやがれっ!!
そらきたっ!!
これでも竿をひけというのかっ
ギッヒヒどんなもんだい!!
どうやらとんづまりにきて やっと運がむいてきたぜ!!

ギヒヒ
鮎釣りってやつはこうでなくちゃあいかん!!
これで帰って心おきなく仕事にうちこめるというもの
フフフ

うわっ!!

ゴゴゴゴゴ
ら
落雷だっ!!
いかん!!
いっとう
心配してた
ことが 現実に
おきたかっ
!!
じいちゃん
あぶねえ!!
いま
でていったら
じいちゃんも
カミナリに
うたれるっ!!
バカモン
そんなたことは
いってるばあいじゃ
ねえ!!
ことは
人命にかかわる
事態じゃ
ねえけえっ!!
あぁ……
し
死んでる
竿を
つたわって
オトリカンが
直撃された
ようじゃ……

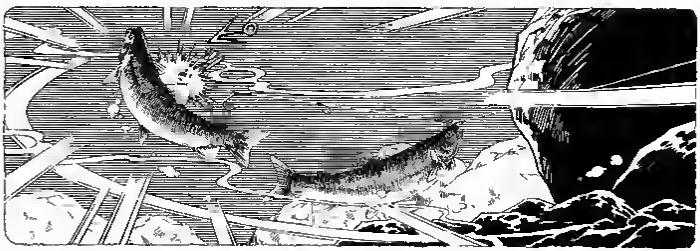


夏になると 例年 かならずといっていいほど カミナリにうたれて死亡した人のニュースが テレビや新聞で報道される 農夫が田んぼで作業中の かなしい事故だったり プレー中のゴルファーのクラブにおちたりという例などである こんな事故がおこるたびに鮎釣りのすきなぼく(矢口)は 鮎師たちが駆使する長竿に落雷したらたいへんだと思っていたところ 昨年の夏 いっしょに竿をまじえた 千曲川の名人鮎師 高橋澄雄氏が——数年前オトリを交換しようと オトリカンにちかづいたときわずか2メートル前方のオトリカンに落雷し そのショックで 2 3メートルふっとばされた——という話をしてくれた さいわい高橋氏は 命に別状はなかったが なんと直撃をうけたオトリカンの鮎は なんの支障もなくピンピンしていたという 近年 カーボンを素材とした軽量で アタリがじつに敏感につたわってくる すばらしいロッドが開発され ぼくも愛用している しかしそうした竿としての優秀さとはべつに このカーボンロッドは 伝導性がたかく メーカーは 高圧線や落雷に注意と表示したシールをはっている カーボンロッドにかぎらず こうした天変地異や 自動車事故等には十分注意しながら たのしい釣りをしたいものです (矢口)

驟雨のオトリアユの巻 おわり

■釣りのおもしろさは……？

「釣りのおもしろさは何ですか？」という質問を受けることがよくある。おもしろさとは感じだから、その人その人によってさまざまであろう。しかしボクは、釣りのおもしろさやたのしさは推理だと思う。なかでも鮎釣りは、推理する釣りの最たるジャンルである。波頭や流れの強弱、たるみなどを見ながら水底の様相を推理する。その推理は同時に、どこからオトリを入れ、どこを泳がせながら野鮎を誘うかの設計でもある。設計どおりに事が進行しているかどうかは、手元に伝わるオトリの動きにたよるしかない。大石のたるみから瀬わきの石底に、今オトリは頭を下げて……そう、こんなスタイルで泳いでいるにちがいない……水底のようすを直接見ることのできないボクは、さかんにそのもようを頭の中のスクリーンに描きながら推理する。オトリがにわかにあわただしい動きをする。頭のスクリーンには、たちまち野鮎に攻撃されて右往左往するオトリの画面が映しだされる。とたんに、竿に衝撃が走る。推理どおりのアタリだ！　もう、ボクは満足。ボクは納得。



少年の夏
しょうねんのなつ

ヒュ!!
ドゴ
ゴゴゴゴ
!?
こら――
ユリっ!!
それが
母親(ハハオヤ)さ
むかって
いうことば
か～～～っ!!

アバ(かあさん)なんか
大きらいだ〜〜っ!!
なんだとオ
このガキゃあ!!
死んじまえ〜〜っ!!

ユ ユリ
どこさいくだ…
どこさいこうと
おらのかってだべ〜〜っ!!
お おいユリのやつおこってどっかさいっちまったぞ…
ほっとけ!
あんただききわけのねえ娘(こ)はどっかさいっちまえばいいだ〜〜っ!!

そ そんただこと いったっておめえ……
ユリの身にもしものことがあったらどうするだ……!?
もしものことってなにさ……
いやホラちかごろテレビや新聞で話題になってるべ
少年少女の自殺のことが……

ええっ!?
じ 自殺……!?
おいおいどうしただ……
ひるひなかからあんましおだやかな話じゃねえな
ああ…一平じいさん
きこえたのけえ……

いってぇ
どうしたと
いうだ
ユリちゃんが
だいぶおこって
とびだして
いったみてぇ
だったけど・

そりゃあ
きこえんほうが
おかしいべ
おめえんとこと
わしんとこは
目と鼻の
となりとうし
だもん……

それが
そのう
どうしたも
こうしたも
ねえだ!!

一平じいさん
とにかく
きいてけれ
…!
おらの
ユリときたら
まったく
このごろ
なまいきに
なりおって
理屈ばっかし
こねまわして
親を親とも
思わねえだ!!

赤ん坊のときは
クソ ションベンを
とって…
夜もねむらんと
オッパイをのませ
一生懸命に
そだてきたと
いうのに…

まるで
てめえ一人で
でかくなった
ようなツラして
けつかる!!

ほんとにまあなしてあんただワラシになったのかと思うと……
なさけねえてなさけねえて……
んだからなにがどうしたというだ……

ワンピースとクツを買ってくれだと……!!

あ～～～ん!?
ワンピースとクツ……!?

なんでえたったそれだけのことで あんただ大さわぎしてたのかい
買ってやればいいでねえけえ

まさかワンピースの一着やクツの一足も買ってやれねえってこともあるめえ
目のなかにいれてもいたくねえかわいい一人娘じゃねえか……

ほら みろ!!
一平じいさんも
おらとおんなじ
ことを
いってるて
ねえけえ
な――に
のん気なこと
いってるだ
そりゃあ
おらだって
貰って よろこばして
やりてえことは
ヤマヤマだけど
んだども
ユリのほしいのは
ただのワンピースや
クツじゃなく
いろいろと
注文が
多すぎるだ!!
たとえば
ワンピースは
白地にピンクの
水玉模様で
胸元が
ひろーくあいた
ノースリーブで
なきゃあ
ダメっちゅうし
クツも白で
カカトの高い
サンダル風て
なけりゃあ
いらねえ――と
こうだよ!!

こんだこと
いってえどっから
おぼえてくるのか
わからねえが
ガキのくせして
色気づいたような
ことをいうなって
いってやったのよオ
…そしたら
あのありさまさ!!
色気づいた
……!?
んだ!!
胸元の
ひろーくあいた
ワンピースだの
カカトの高いクツ
だのっていうのは
色気づいた
証拠だべ!!
な——んだ
そんただこと
だったのけえ
そ そんただ
ことは
なんちゅう
ことを
いうだ……
いやあ
こりゃあ
失敬
失敬!!
しかし
胸元の広く
あいたワンピースも
カカトの高いクツも
けっこうなことじゃ
ねえか…

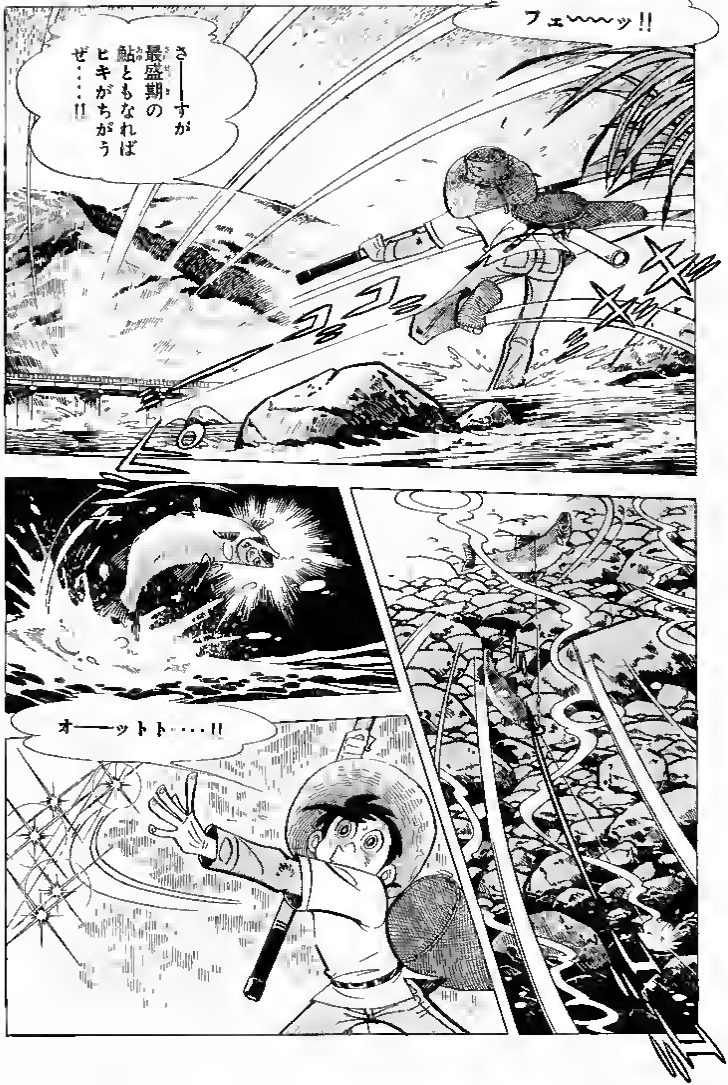
けっこうなこと…!?
フフフ そうじゃよ こんなにけっこうなことがあるかい
ユリちゃんはおとなになってるんじゃよ…
お おとなに…!?
フフフ 考えてみろこのひまわりだってタネからでた芽がしだいに葉をひろげ背たけもズンズンのばしこのような大輪の花をさかせるんじゃねえか
それとおなじように子どもたちだっていつまでも子どもでいるわけじゃあるめえ
ましてやユリちゃんはあのとおり生まれついての器量よし
そのユリちゃんが女の子から女らしい娘に成長してるんじゃよ
こんなにけっこうなことがあるかい…!!

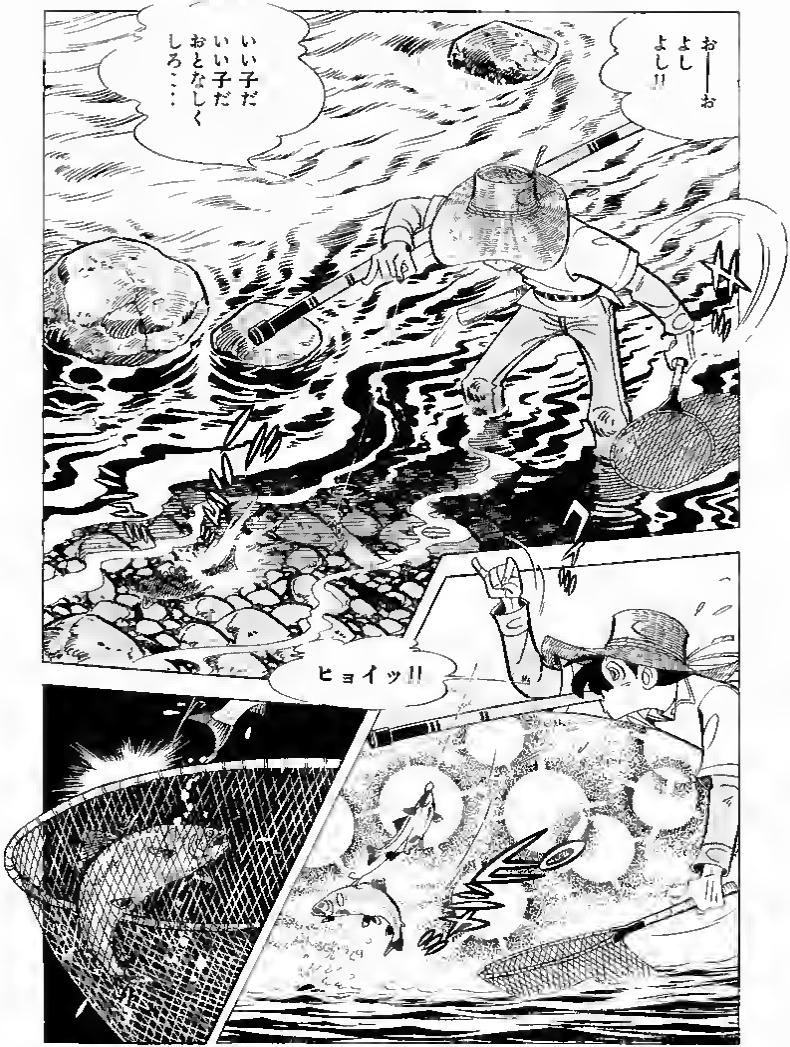
二人の親がガン首を
そろえて ガタガタ
わめくほどの問題
でも あるめえ
むしろ
よろこぶべき
ことじゃ
ねぇかい…
あや〜〜っ!!
ユ ユリが…
女らしい
娘に
…
ゴロゴロゴロ
ン!?
ひと雨
きそうじゃな
…

ゴゴゴゴゴゴゴ
ヒョッ!!

きた
きたっ
!!

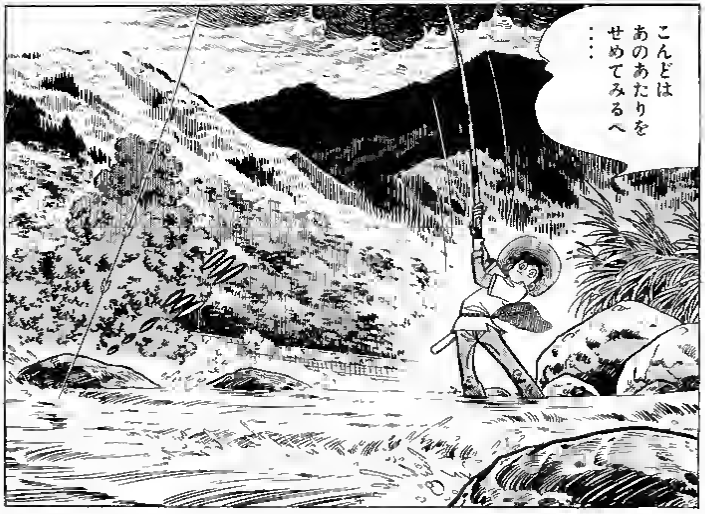
きた
きたっ
!!


フェ〜〜ッ!!
さ——すが最盛期の触ともなればヒキがちがうぜ……!!
オ——ットト……!!


お――おし
よし!!
いい子だ
いい子だ
おとなしく
しろ・・・
ヒョイッ!!

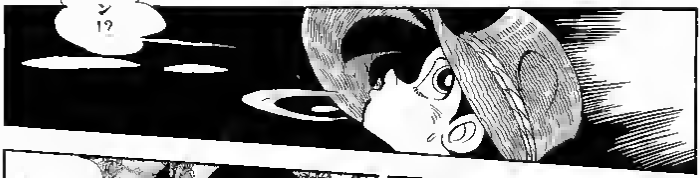
フェ～～～ッ
こいつあでっけえ
メス鮎だ
腹んなかが卵で
だいぶふくらんで
きとる……
じいちゃん
よろこぶ
だろうなあ
こんただ
腹ボテ鮎を
釣ってったら
なにしろ
じいちゃんと
きたら
腹ボテ鮎から
とった
ウルカが
大好物と
きてるから
なあ
ウルカ
鮎の内臓や卵でつくった塩辛のことで　ほろにがい味がするがそれがお酒のつまみとして極上の逸品といわれる
ホイッ
!
さてと
!!
もう
いっちょう
いくか!!

ホイッ!!
よーし よし!
その調子でたのむぜ!!


こんどは あのあたりを せめてみるへ……

ウッヒョ〰〰ッ!!
一発だア!!

フェ〜〜ッ
ま——た
腹ボテ鮎
だぞオ!!
もう
いっちょう!!
最高
最高!!


ン!?

ついさっき……

な なんてえユリッペじゃねえけえ
いつきただ……!?

どうしただ……
おらがここにいるってことがどうしてわかっただ

けさ でかけるとこ 見てたから
だいたいの見当はついてたの

いつものユリッペらしくねえぜ……!!
いってえどうしただシケたツラして

三ちゃん
きのう約束したことだども…あれいけそうもねえだ…
きのうの約束…!?
もうわすれたの…!?
こんどの日曜日に宇宙戦艦ヤマトを見にいくって約束したでねえけえ!!
あああれかい
あれならわすれちゃあいねえよ…!!
エエト…
たしか八時十五分発の二番バスでいくってことにしたんだったな…
ウン…それがいけなくなっちゃったの…

どうして
なんか
あったのけえ
!?
でも
いけねえの
べつに なんか
あったってほどの
こともねえけど
ほんじゃあ
いけるで
ねえけえ !!
おっかしな
ことをいう
やつだなや
だいたい
この話は
おめえのほうから
もちだした
話じゃ
ねえけえ!!
おらから
もちだした
話だけど
いけなくなったと
いってるじゃ
ないっ!!
んだから
なんかあった
のかって
きいてるべ

なんにも
ねえって
いってるべ!!
ほんじゃあ
いけるで
ねえか!!
いけねえ
もんは
いけねえ
だ!!
いけねえもんは
いけねえちゅう
たって
なんて
いけねえのか
いけねえ理由っ
てもんが
あるべ!!

んだから
いけなくなった
ちゅう理由で
いけなくなった
ちゅうてるべ!!
わからん
やつだな
わからねえのは
三ちゃんのほう
だべ!!
あ〜〜〜ん!?
いっけねえ
どうも雲ゆきが
よくねえと思ったら
ふってきやがった
……!!

ドドドドド
ドドドドド
ドドドドド
フェ〜〜ッ
まいったな
あっというまに
本ぶりになって
きやがったか！
ユリッペ
おめえまさか
カサなんか
もってこなかっ
たよな…！
くるわけ
ねえべ!!

しょうがねぇ
とにかく このまま
じゃあ ズブぬれに
なっちまう
ちかくの
木かげで
雨やどり
するしか
ねぇ!!
はやく
はやく
……!!
ああ〜〜〜
せっかくの
洗濯物が
ぬれちまう
ホイッ!!
あぁ

オ オドな――にボケーッとつったってるだア！
は はやくのこりの洗濯物をいれてけれ!!
ハ ハア
フェ～～ッ!!
あ～～～ん!?
ユ ユリのやつどこでどうしてるべ
こんただ雨んなかで……
オ オドな――にしてるだ……!!

さ 三ちゃん
そんなに
ひっぱらなくて
いいだ
う 腕が
ぬけるで
ねえけえ!!
フェ〜〜〜ッ
びっしょぬれ
よっ!!
な〜〜〜に
いってるだ
おらだって
ホラ!
びっしょ
びっしょさ!!
こりゃあ
はやいとこ家さ
かえって きがえ
しねえと カゼ
ひくかもしれんぞ

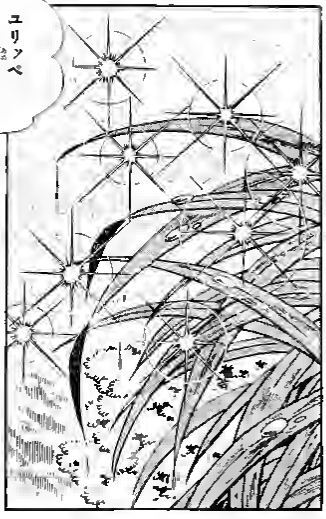
それにしても
すんごい雨
だなや……!!
むかい山が
あんなに
かすんで
やがる
といっても
まあ
とおり雨だから
じきに晴れる
だろうけど
そうね
おい ユリッペ
おめえ なーに
してるだ
そんただ
とこさいたら
ますます
ぬれるべ!!
ホラホラ
もっとおくの
雨のあたらぬ
とこさはいれ!!

キャッ
三ちゃんの
エッチ!!
あぁ・・
・・・
ユリッペ
ごめん
ごめん
おらあ
そんただ
つもりじゃあ
・・・・
ちょっくら
手がすべった
だけなんだ

イヤッ!!
こっちを見ないで!!
ハッ!!
ウウッ‥‥!!
ユ ユリッペのシャツが雨にぬれて‥‥
か からだがすけて見えるウ‥‥
い いつのまにかむ 胸がふくらんで‥
こ 腰のあたりがやたらとくびれて‥

ミト
ミト

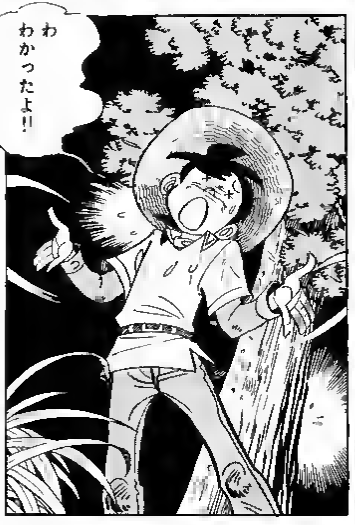
ユリノベ
もう雨は
あがったよ
そろそろ
家さかえって
きがえたほうが
いいで
ねぇけぇ



そうするから
先にいって
てっ!!

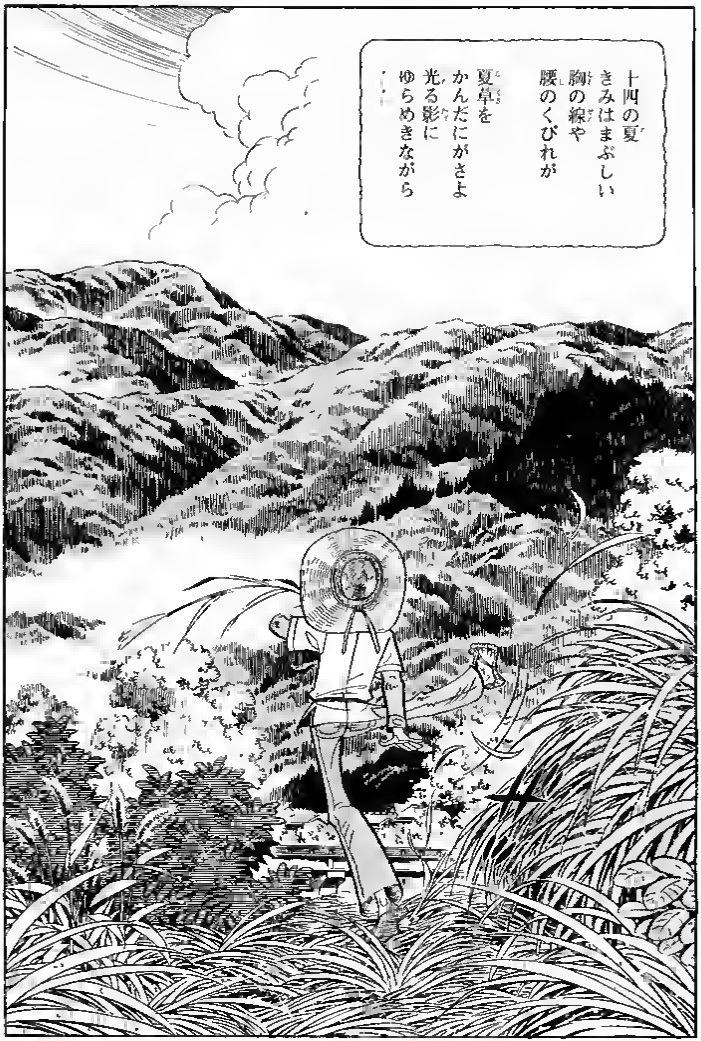
先に
いってて
おめぇ

こっち
見ないで
いってるべ!!


わ
わかったよ!!

フア〜〜ッ
まいった
まいった
雨やどりして
こんただつかれた
ことはねえ…
クソッ!!
に　にげえ
……
見ないてって
いってるべ!!
ク〜〜ッ

ひとしきり
雨がふりそそぎ
きみとぼくは
ぬれた
ンヤソのまま
夏草を
ふんで歩いた
なぜか無口に
なったまま
……


十四の夏
きみはまぶしい
胸の線や
腰のくびれが
夏草を
かんだにがさよ
光る影に
ゆらめきながら

ユリのやつ 三平くんと映画にいく約束してただなんて……
ウム きっとそのとき きていく予定だったんじゃろ ワンピースもクツも
買ってやるか……
ウン そうするべ……!!
うわあ!!
ユリッペ あれを見ろ!
虹だ!
すんごい虹がかかってる!!
うわあ ホント!!

三ちゃん
いって
みるべ!!
いいって
みるって
どこさ
…!!
あの
虹の橋の
真下さ
いって
みるのよオ!!
おらあ
ずーっとまえから
虹の橋を真下から
ながめたら
どんな形をしてる
だろうって
考えてただ

バッカだなあ！
そんただことできるわけねえべ!!
そりゃあわかってるどもおらあいってみてえだ!!
よ——しなんかおもしれえからいってみるか…!!
ウンいこう!!

愛だとか
恋とよべない
胸に痛い
少年の夏

みなみらんぼう
作詞作曲
「少年の夏」より

日本音楽著作権協会(出)
許諾8550625号

少年の夏　おわり

■少年の夏

仕事がら音楽をきく時間が多い。テレビだと、つい画面に目がいって画業がおろそかになるからだ。音楽のなかでも、ボクはニューミュージックファンである。

ある日、スタッフの一人が、みなみらんぼうのLP「途上にて」を買ってきた。当然、全員がそれをききながら仕事をしたわけだが、そのなかにボクの胸にツンとつきささる曲があった。「少年の夏」というタイトルの歌である。うまくは言いあらわせないが、なんかその歌をきいているうちに、少年時代の淡い初恋の思い出がよみがえってきた。思いをよせた女は、ちょうど、少し胸がふくらみかけていて、何だかやたらとまぶしい感じで、とても正面からはみつめることができなかった。

ボクの作品には、とくに「釣りキチ三平」には、あまりこうした愛や、恋のドラマはない。そのてのドラマをつくるのが、ボク自身大のにがてということでもある。そんななかで「少年の夏」は、シリーズのなかでも一味ちがったドラマとして、らんぼう氏の歌をそのまま引用し、大いにてれながら描いたものだった。

あとがき

矢口高雄

「釣りキチ三平」が、週刊少年マガジン誌上に連載開始されたのは、昭和四十八年六月のことである。その第一章に何を描くべきか……？　今、思い出すと「そのこと」でずいぶん思いをめぐらした記憶がある。そのこととは、どんなジャンルの釣りにするのかということであった。連載の第一回めだから、ごくポピュラーなフナ釣りなんかにしようか？　いや、それだったら静かすぎてパンチに欠ける。いっそ巨大な大物釣りのストーリーは……？　いや、そうするとはでではあるが、つくり話めいて釣りの真実味に欠けるきらいがある。いろいろと思いをめぐらしたあげく、「これだ！」と選んだのが「鮎」であった。

その理由は、大きくわけて三つあった。その一つは、鮎釣りはアクティブ（攻撃的）な釣りであること。当時、釣りは（マニアをのぞけば）一般的には静かで退屈なイメージでしか受けとめられていなかった。釣りに興味のない人のほとんどが、釣りといえば一日じゅうウキをながめている「のんびり」したものであり、「退屈」なものと考えていた。おそらくこうしたイメージは、びょうぶ絵や掛け軸

▼矢口先生のデビュー作「鮎」より。

に描かれた——老人が終日ポツネンと釣り糸を垂れる姿——などからつくられたものだろう。だから釣りには、「のんびり」「退屈」のほかに「老人的」イメージももたれていた。しかし実際の釣りには、魚種により、釣り場によりさまざまのジャンルがあるし、なかでも鮎のトモ釣りはじつにアクティブな釣りの一つである。

二つめは、鮎のトモ釣りのメカニズムのおもしろさだった。一般に釣りといえば、ハリにエサをつけ、それに魚が食いつけば釣れる……というのが常識であろう。しかし鮎のトモ釣りは、そんな常識を吹きとばす意外性があり、しかもそれが科学的で、世界に類例のない釣りであることをアピールしたかった。

そして三つめは、何よりもボク自身が、超・ウルトラ・スーパー鮎キチであることだった。ボクが鮎にとりつかれたのは、銀行員になって間もなくのことである。その年ボクは、ひそかにトモ釣りをマスターしようと、教本を買い求めて研究をしていた。しかし、教本を読んだだけではいまひとつピンとこない。

そうこうしているうちに鮎シーズンがやってきた。いうまでもなく、サラリーマンにとって釣行日は日曜祭日以外にない。しかしこの年は雨が多く、二度の日曜日が雨に流れ、ようやく三度めで初挑戦となった。

だがこの日は、その川に県下の鮎党を集めての「全県釣りコンクール」の日であった。腕に自慢の出場選手はおよそ三百名。やむなくボクもそのなかの一人として参加したわけだが、なにしろこれまで一尾の鮎も釣ったことがないばかりか、オトリ鮎にハナカンさえ通したことがない。

大会本部前の河原に全員が集結、会長や来賓のあいさつ、審判部のルール説明などがあって、大会が開始された。

午前八時三十分、開始を告げる花火が轟きわたった。と、本部前に集結していた釣り師たちが、すごい勢いで上・下流に散っていく。あぜんと見送るボク。やっとそれが、それぞれに決めておいた釣り座に走り去ったのだと理解したときには、本部前の広い河原にボク一人ポツンととりのこされていた。

おそらく本部前の流れは、いいポイントではなかったのだろう。だが初心者のボクは、そこまで研究が進んでおらず、だれもいないことを幸いに、無欲でそこに竿をだした。

ボクの竿に初めて衝撃が走ったのは、それから一時間あまりあとのことだった。ツンという軽い振幅が竿先をはじいたとたん、グンと重量が加わった。妙に竿が重く、オトリ鮎がどんどん下流に流されていくのである。不審に思ったボクは、とにかく竿を立ててオトリを引きよせようとした。と、その瞬間、ボクのオトリが一尾の白い魚体をひきつれて水面に舞った。とたんにボクの心臓は、轟音を発してバクハツした。「やった！」

無我夢中のボクの頭に、教本のページがうかんだ。心はさかんに

「おちつけ！」を連発している。教本の教えどおりに竿をため、道糸をつかんだまではおぼえているが、腰にさした玉網がなかなかぬけなくて、あとはメチャクチャ。おそらく本部のテントに陣どった役員たちは、大笑いで見ていたにちがいない。とにかく神が味方したのかホッと我にかえったとき、何をどうしたのかボクの玉網にはまぎれもない野鮎がおさまっていたというわけ。

すっかり気をよくしたボク。しかもそれから五分もたたないうちに、ベテラン釣り師から見すてられたはずの本部前のポイントが猛烈にアタリだしたのである。もちろん未熟なボクは、何尾バラしたかしれない。しかし三時間の制限タイムでボクは十一尾をものにし、終わってみたらなんと！　四位入賞という快挙となっていたのである。

「釣りキチ三平」の第一章は、そんな想い出もあって、「鮎」をかかげることになったしだいであるが、それから十年にもわたって連載がつづき、単行本（ＫＣ）の数も番外編をふくめて六十七巻をかぞえようとは、夢にも思わなかったことである。

このたび、その六十七巻から「ＫＣスペシャル」として新たな本をつくりたいと、編集部よりお話があった。編集部の意向は、魚種別、釣り別に収録し、まったく新しい本にしたい……だった。この方針にはボクも大賛成で、大いにのってラインアップを組んでみた。そして、その第一巻めを「アユ釣り編」としたことは、前述の経緯からもご理解いただけると思う。

とにかく、フレッシュな編成で生まれ変わった「釣りキチ三平」の愛読をお願い申しあげるとともに、続刊にご期待くださいませ。

昭和六十年七月十四日　記す。

あなたは、この本を読んで、どんな感想をおもちになりましたか。

編集部では、この本についての読者のみなさまのご意見をおまちしています。

このつぎには、どんな作家のどんな漫画を読みたいと、お考えですか。「KCスペシャル」にしてほしいと思う作品がありましたら、「読後の感想」とあわせて、左記あてに、どしどしお知らせください。

東京都文京区音羽二丁目十二番二十一号
〈郵便番号一一二―〇一〉
「講談社コミックス」編集部
KCスペシャル係

KCスペシャル―157
釣りキチ三平―第一集
一九八五年八月六日第一刷発行
一九九五年十二月十五日第二十一刷発行
定価はカバーに表示してあります。

著者 矢口高雄
発行者 山野勝
発行所 株式会社講談社
東京都文京区音羽二―一二―二一
郵便番号一一二―〇一
電話 編集部(〇三)五三九五―三四五九
販売部(〇三)五三九五―三六〇八
印刷所 廣済堂印刷株式会社
製本所 誠和製本株式会社

©矢口高雄 一九八五年

落丁本・乱丁本は、小社雑誌業務部宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えします。
電話(〇三)五三九五―三六〇三
なお、この本についてのお問い合わせは「週刊少年マガジン」編集部宛にお願いいたします。
本書の無断複写(コピー)は著作権法上での例外を除き、禁じられています。

ISBN4-06-101157-X (マ) Printed in Japan